

青森県埋蔵文化財調査報告書 第221集

津 山 遺 跡

— 国道101号道路改良事業に伴う遺跡発掘調査報告 —

1 9 9 7 年 3 月

青森県教育委員会



第6号土坑出土遺物



石匙(黒曜石製)



土偶(弥生時代)

序

西に日本海を望み、東に世界遺産の白神山地を頂く深浦町には、一本松遺跡をはじめとして多くの遺跡・文化遺産が所在します。

この報告書は、国道101号道路改良事業（通称追良瀬バイパス建設）に先立ち、路線内に所在する深浦町津山遺跡を発掘調査した結果をまとめたものです。調査では、縄文時代前期から中期にかけての竪穴住居跡や貯蔵用の穴、弥生時代の竪穴住居跡、平安時代の竪穴住居跡等の遺構が多数検出され、遺物も縄文式土器をはじめ石器、土製品、石製品、弥生式土器、土師器、須恵器等が多数出土しました。

この度の調査によって、当時の人々の生活を復元するうえで貴重な資料を得ることができました。特に北海道産と思われる黒曜石で作られた石匙は縄文時代の交易を考えるうえでも注目されるものです。

今後、この調査によって得られた成果が、地域社会の文化財として、広く活用されるところがあれば幸いに思います。

ここに、調査の実施及び報告書の刊行にあたって種々御指導、御協力をいただいた調査指導員をはじめ、関係各位に対しまして厚くお礼申し上げます。

1997年3月

青森県教育委員会

教育長 松森 永祐

例 言

- 1 本報告書は、平成7年度に実施した深浦町に所在する津山遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本遺跡は、平成4年3月に青森県教育委員会が編集発行した『青森県遺跡地図』に遺跡番号65229として登録されている。
- 3 本報告書の執筆者は、依頼原稿については文頭に記載し、その他は文末に記してある。
- 4 試料の分析、鑑定については、次の方々に依頼した（順不同、敬称略）。

遺跡周辺の地形と地質	青森県立板柳高等学校教諭	山口 義伸
火山灰および須恵器の蛍光X線分析	奈良教育大学教授	三辻 利一
石器の石質鑑定	八戸市文化財審議委員	松山 力
放射性炭素年代測定	学習院大学教授	木越 邦彦
- 5 本書に掲載した地形図（遺跡位置図）は、建設省国土地理院発行の2万5千分の1の地形図「轟木」・「北金ヶ沢」を複写したものである。
- 6 挿図の縮尺は、各図ごとにスケールを付してある。なお、写真の縮尺は統一していない。
- 7 遺構・遺物の文・図中での表現は、原則として次の様式・基準による。
 - (1) 遺構内外堆積土の注記には、「新版標準土色帖」（小山、竹原；1994）を用いた。
 - (2) 平安時代竪穴住居跡の主軸方向は、カマドの主軸方向による。
 - (3) 竪穴住居跡においてピット番号脇又は直下に－（マイナス）で記した数値は、床面からの深さを示す。
 - (4) 遺構関係のスクリーントーンは、炉、カマド燃焼部などに用いた。
 - (5) 白頭山火山灰の略称はB-Tmで表した。
 - (6) 石器には観察表・計測値を付し、出土地点、分量及び諸特徴の欄からなり、計測値の単位はmm、重量はgである。
 - (7) 遺物実測図で使用したスクリーントーンは、アスファルト、須恵器断面、石器使用面等に用いた。
- 8 引用・参考文献については本文末に納めた。
- 9 発掘調査における出土遺物・実測図・写真等は、現在、青森県埋蔵文化財調査センターで保管している。
- 10 発掘調査及び本報告書作成にあたって、下記の諸氏から御協力・御助言を得た（順不同、敬称略）
飯島伸一、遠藤正夫、小野貴之、喜多裕明、北林八洲晴、斉野裕彦、櫻田隆、高谷英一、西崎正孝、林田俊之、三宅徹也

目 次

口 絵	
序	
例 言	
目 次	
第Ⅰ章 調査概要	1
第1節 調査要項	1
第2節 調査方法	2
第3節 調査の経過	2
第Ⅱ章 遺跡周辺の地形及び地質	5
第Ⅲ章 検出遺構と出土遺物	15
第1節 縄文時代の検出遺構と出土遺物	15
1 竪穴住居跡	15
2 土 坑	65
3 溝状土坑	159
4 土器埋設遺構	164
第2節 弥生時代の検出遺構と出土遺物	167
1 竪穴住居跡	167
2 土 坑	182
3 柱穴群	184
第3節 平安時代の検出遺構と出土遺物	187
1 竪穴住居跡	187
第4節 遺構外出土遺物	192
第Ⅳ章 分析と考察	221
第1節 検出遺構について	221
第2節 出土した石器について	224
第Ⅴ章 自然科学的分析	227
第1節 出土火山灰の蛍光X線分析 (奈良教育大学 三辻 利一)	227
第2節 出土須恵器の蛍光X線分析 (奈良教育大学 三辻 利一)	229
第3節 出土炭化材の放射性炭素年代測定 (学習院大学 木越 邦彦)	231
第Ⅵ章 まとめ	232
石器観察表	233
写真図版	245
報告書抄録	304

挿 図 目 次

図 1	遺跡の位置	3
図 2	遺跡の地形と調査区	4
図 3	深浦周辺の等高線図	7
図 4	深浦周辺の地形分類図	8
図 5	遺跡周辺のローム層及び土層の柱状模式図	9
図 6	遺構配置図	13
図 7	第 3 号・第 12 号竪穴住居跡	23
図 8	第 3 号・第 4 号・第 12 号竪穴住居跡出土遺物 (1)	25
図 9	第 3 号・第 4 号・第 12 号竪穴住居跡出土遺物 (2)	26
図 10	第 4 号竪穴住居跡	27
図 11	第 5 号・第 7 号竪穴住居跡	28
図 12	第 7 号竪穴住居跡出土遺物	29
図 13	第 8 号竪穴住居跡	30
図 14	第 8 号竪穴住居跡出土遺物 (1)	31
図 15	第 8 号竪穴住居跡出土遺物 (2)	32
図 16	第 8 号竪穴住居跡出土遺物 (3)	33
図 17	第 8 号竪穴住居跡出土遺物 (4)	34
図 18	第 8 号竪穴住居跡出土遺物 (5)	35
図 19	第 8 号竪穴住居跡出土遺物 (6)	36
図 20	第 8 号竪穴住居跡出土遺物 (7)	37
図 21	第 8 号竪穴住居跡出土遺物 (8)	38
図 22	第 9 号竪穴住居跡	39
図 23	第 9 号竪穴住居跡出土遺物 (1)	41
図 24	第 9 号竪穴住居跡出土遺物 (2)	42
図 25	第 9 号竪穴住居跡出土遺物 (3)	43
図 26	第 9 号竪穴住居跡出土遺物 (4)	44
図 27	第 9 号竪穴住居跡出土遺物 (5)	45
図 28	第 9 号竪穴住居跡出土遺物 (6)	46
図 29	第 9 号竪穴住居跡出土遺物 (7)	47
図 30	第 9 号竪穴住居跡出土遺物 (8)	48
図 31	第 9 号竪穴住居跡出土遺物 (9)	49
図 32	第 9 号・第 10 号・第 18 号竪穴住居跡出土遺物	50
図 33	第 10 号・第 18 号竪穴住居跡	51
図 34	第 18 号竪穴住居跡出土遺物	52
図 35	第 13 号竪穴住居跡	53

图36	第13号竖穴住居跡出土遺物	54
图37	第14号竖穴住居跡	55
图38	第14号竖穴住居跡出土遺物	56
图39	第15号竖穴住居跡	57
图40	第15号竖穴住居跡出土遺物	57
图41	第16号竖穴住居跡	58
图42	第16号竖穴住居跡出土遺物	58
图43	第17号竖穴住居跡	59
图44	第17号竖穴住居跡出土遺物 (1)	60
图45	第17号竖穴住居跡出土遺物 (2)	61
图46	第17号竖穴住居跡出土遺物 (3)	62
图47	第19号竖穴住居跡	63
图48	第19号竖穴住居跡出土遺物	64
图49	第1号·第6号土坑	87
图50	第8号·第10号土坑	88
图51	第11号土坑	89
图52	第12号·第33号土坑	90
图53	第13号土坑	91
图54	第14号土坑	92
图55	第15号土坑	93
图56	第16号土坑	94
图57	第17号土坑	95
图58	第19号土坑	96
图59	第21号土坑	97
图60	第22号·第23号土坑	98
图61	第24号·第25号土坑	99
图62	第26号土坑	100
图63	第27号土坑	101
图64	第28号·第29号土坑	102
图65	第31号·第32号·第34号土坑	103
图66	第35号·第36号土坑	104
图67	第39号土坑	105
图68	第40号·第41号土坑	106
图69	第42号·第45号土坑	107
图70	第46号·第47号·第48号土坑	108
图71	第51号·第52号土坑	109
图72	第53号·第54号土坑	110

图73	第57号土坑	111
图74	第58号土坑	112
图75	第60号土坑	113
图76	第61号·第63号土坑	114
图77	第65号·第66号土坑	115
图78	第67号·第68号·第69号土坑	116
图79	第71号·第73号土坑	117
图80	第74号·第75号·第76号土坑	118
图81	第77号·第78号土坑	119
图82	第82号土坑	120
图83	第87号·第88号土坑	121
图84	第20号竖穴住居迹·第83号·第85号·第86号土坑	123
图85	第92号·第93号土坑	125
图86	第94号·第95号土坑	126
图87	第96号土坑	127
图88	第6号土坑出土遗物(1)	128
图89	第6号土坑出土遗物(2)	129
图90	第6号土坑出土遗物(3)	130
图91	第8号·第13~19号·第22号土坑出土遗物	131
图92	第22号~第25号土坑出土遗物	132
图93	第25号土坑出土遗物	133
图94	第28号·第39号土坑出土遗物	134
图95	第39号·第40号·第46号·第48号土坑出土遗物	135
图96	第51号土坑出土遗物	136
图97	第53号土坑出土遗物	137
图98	第58号土坑出土遗物(1)	138
图99	第58号土坑出土遗物(2)	139
图100	第60号土坑出土遗物	140
图101	第63号·第64号·第73号·第82号土坑出土遗物	141
图102	第85号·第86号·第87号·第93号·第95号土坑出土遗物	142
图103	第6号·第11号·第13号·第18号·第19号·第22号土坑出土遗物	143
图104	第11号·第14号·第16号·第17号土坑出土遗物	144
图105	第24号·第25号土坑出土遗物	145
图106	第29号·第32号土坑出土遗物	146
图107	第39号土坑出土遗物	147
图108	第40号·第46号土坑出土遗物	148
图109	第52号·第82号·第85号土坑出土遗物	149

図110	第57号土坑出土遺物 (1)	150
図111	第57号土坑出土遺物 (2)	151
図112	第57号土坑出土遺物 (3)	152
図113	第57号土坑出土遺物 (4)	153
図114	第58号土坑出土遺物 (1)	154
図115	第58号土坑出土遺物 (2)	155
図116	第90号・第94号土坑出土遺物	156
図117	第67号・第68号土坑出土遺物	157
図118	第72号・第73号土坑出土遺物	158
図119	第1号・第2号溝状土坑	161
図120	第3号・第4号溝状土坑	162
図121	第5号・第6号溝状土坑	163
図122	第1号竪穴住居跡	169
図123	第1号竪穴住居跡出土遺物 (1)	171
図124	第1号竪穴住居跡出土遺物 (2)	172
図125	第1号竪穴住居跡出土遺物 (3)	173
図126	第1号竪穴住居跡出土遺物 (4)	174
図127	第2号竪穴住居跡	175
図128	第2号竪穴住居跡出土遺物 (1)	177
図129	第2号竪穴住居跡出土遺物 (2)	178
図130	第2号竪穴住居跡出土遺物 (3)	179
図131	第2号竪穴住居跡出土遺物 (4)	180
図132	第2号竪穴住居跡出土遺物 (5)	181
図133	第4号土坑	182
図134	第4号土坑出土遺物	183
図135	弥生時代柱穴群出土遺物 (1)	185
図136	弥生時代柱穴群出土遺物 (2)	186
図137	第6号竪穴住居跡	188
図138	第6号竪穴住居跡出土遺物	189
図139	第11号竪穴住居跡	191
図140	第11号竪穴住居跡出土遺物	191
図141	遺構外出石器 (1)	196
図142	遺構外出石器 (2)	197
図143	遺構外出石器 (3)	198
図144	遺構外出石器 (4)	199
図145	遺構外出石器 (5)	200
図146	遺構外出石器 (6)	201

図147	遺構外出土石器 (7)	202
図148	遺構外出土石器 (8)	203
図149	遺構外出土石器 (9)	204
図150	遺構外出土石器 (10)	205
図151	遺構外出土石器 (11)	206
図152	遺構外出土石器 (12)	207
図153	遺構外出土石器 (13)	208
図154	遺構外出土石器 (14)	209
図155	遺構外出土石器 (15)	210
図156	遺構外出土石器 (16)	211
図157	遺構外出土石器 (17)	212
図158	遺構外出土石器 (18)	213
図159	遺構外出土石器 (19)	214
図160	遺構外出土石器 (20)	215
図161	遺構外出土石器 (21)	216
図162	遺構外出土石器 (22)	217
図163	遺構外出土石器 (23)	218
図164	遺構外出土石器 (24)	219
図165	遺構外出土石器 (25)	220
図166	K - Ca 分布図	228
図167	Rb - Sr 分布図	228
図168	Fe 因子の比較	228
図169	K - Ca 分布図	230
図170	Rb - Sr 分布図	230

図 版 目 次

図版1	調査風景・竪穴住居跡(1)……………	245	図版31	第8号竪穴住居跡出土土器……………	275
図版2	竪穴住居跡(2)……………	246	図版32	第8号竪穴住居跡出土土器……………	276
図版3	竪穴住居跡(3)……………	247	図版33	第8号・第9号竪穴住居跡出土土器……………	277
図版4	竪穴住居跡(4)……………	248	図版34	第17号・第18号竪穴住居跡出土土器……………	278
図版5	竪穴住居跡(5)……………	249	図版35	第19号竪穴住居跡出土土器……………	279
図版6	竪穴住居跡(6)……………	250	図版36	第6号土坑出土土器……………	280
図版7	竪穴住居跡(7)・調査風景……………	251	図版37	第6号土坑出土土器……………	281
図版8	土坑(1)……………	252	図版38	第6号土坑出土土器……………	282
図版9	土坑(2)……………	253	図版39	第19・22・28・39号土坑出土土器……………	283
図版10	土坑(3)……………	254	図版40	第51・53・58号土坑出土土器……………	284
図版11	土坑(4)……………	255	図版41	第58・第60号土坑出土土器……………	285
図版12	土坑(5)……………	256	図版42	第1号・第2号竪穴住居跡出土土器……………	286
図版13	土坑(6)……………	257	図版43	第2号・第4号竪穴住居跡出土土器……………	287
図版14	土坑(7)……………	258	図版44	第8号竪穴住居跡出土土器……………	288
図版15	土坑(8)……………	259	図版45	第9号竪穴住居跡出土土器(1)……………	289
図版16	土坑(9)……………	260	図版46	第9号竪穴住居跡出土土器(2)……………	290
図版17	土坑(10)……………	261	図版47	第13~16号竪穴住居跡出土土器……………	291
図版18	土坑(11)……………	262	図版48	第17号竪穴住居跡出土土器……………	292
図版19	土坑(12)……………	263	図版49	土坑内出土土器(1)……………	293
図版20	土坑(13)……………	264	図版50	土坑内出土土器(2)……………	294
図版21	土坑(14)・溝状土坑……………	265	図版51	土坑内出土土器(3)……………	295
図版22	溝状土坑・土器埋設遺構……………	266	図版52	遺構外出土土器(1)……………	296
図版23	土器埋設遺構……………	267	図版53	遺構外出土土器(2)……………	297
図版24	土器埋設遺構……………	268	図版54	遺構外出土土器(3)……………	298
図版25	第1号竪穴住居跡ほか……………	269	図版55	遺構外出土土器(4)……………	299
図版26	第1号・2号・4号竪穴住居跡……………	270	図版56	遺構外出土土器(5)……………	300
図版27	弥生時代柱穴群・平安時代の遺構……………	271	図版57	遺構外出土土器(6)……………	301
図版28	弥生時代柱穴群出土遺物……………	272	図版58	遺構外出土土器(7)……………	312
図版29	第8号竪穴住居跡出土土器……………	273	図版59	遺構外出土土器(8)……………	303
図版30	第8号竪穴住居跡出土土器……………	274			

第I章 調査概要

第1節 調査要項

1 調査目的

国道101号道路改良事業の実施に先立ち、当該地区に所在する津山遺跡の埋蔵文化財の発掘調査を行い、その記録保存を図り、地域社会の文化財の活用資する。

2 発掘調査期間

平成7年4月25日から同年11月9日まで

3 遺跡名及び所在地

津山遺跡 西津軽郡深浦町大字轟木字津山34番地、外

4 調査対象面積

11,000平方メートル

5 調査委託者

青森県土木部

6 調査受託者

青森県教育委員会

7 調査担当機関

青森県埋蔵文化財調査センター

8 調査協力機関

深浦町教育委員会、西北教育事務所

9 調査参加者

調査指導員	村越 潔	青森大学教授（考古学）
調査協力員	高橋 孝男	深浦町教育委員会教育長
調査員	市川 金丸	青森県考古学会会長（考古学）
	佐藤 仁	弘前市文化財審議委員（歴史学）
	山口 義伸	青森県立板柳高等学校教諭（地質学）

10 調査担当者

調査第四課	課 長	大湯 卓二（現調査第三課長）
	主 事	笹森 一朗
	主 事	七戸 将光（現平賀町立小国中学校教諭）
調査補助員		小川 次郎
		村川 緑
		三上 静香
		太田 文世

第2節 調査方法

調査区域のグリッドの設定は、遺跡内の道路建設用中心杭No.49を基準としてⅡL-20と称し、この点を基準に磁北方向に南北方向の基準線を設定し、調査区全体に4×4メートルのメッシュを組んだ。グリッド番号は南北ラインを北から南へローマ数字とアルファベットを組み合わせ、東西ラインは東から西へ算用数字の1から39までを付して用い、グリッドの名称は北西隅の交点を使用することとした。

測量原点は、道路建設用地脇にある二等三角点からレベル移動を行い、調査区域内に数カ所設置した。

調査は東西方向のトレンチを設定し、土層観察用のベルトを残しながら数地点を掘り下げ、順次拡幅していった。また、調査区南端のⅢE-7グリッドに深掘りのグリッドを設定し、土層の堆積状況を観察した。

自然堆積土層については、上位から下位に向かってローマ数字とアルファベット小文字の組み合わせを、遺構内の覆土については同じく上位から下位に向かって算用数字を付すこととした。

遺構の精査は、確認順に番号を付した後、原則として四分法を用い、規模の小さいものは二分法を用いた。遺構内出土遺物は必要に応じてポイント・レベル・出土層位を記載し、場合によっては微細図を作成した。

実測は遣り方測量を用い縮尺は20分の1を原則とし、土器埋設遺構・炉・カマドは10分の1とした。包含層出土物については、グリッド・層位を確認しながら取り上げた。写真撮影は、35ミリのモノクロームとカラーリバーサルの2種類のフィルムを使用して、作業の進展にともない必要に応じて行った。

第3節 調査の経過

4月25日、発掘調査器材を現地に搬入し、調査区内の環境整備を行うとともに、グリッド設定の杭打ちを行い、調査区南側から東西トレンチを設定し掘り下げを開始した。その結果、調査区南側では弥生時代の遺構・遺物が集中して検出された。

6月上旬、調査区中央部にかけては縄文時代前・中期の遺物が出土するようになり、それとともに堅穴住居跡、フラスコ状土坑、溝状土坑などの遺構が検出されはじめたが、遺構の集中する地点にある切り株の撤去にかなり時間を費やすこととなった。また、排土置き場も調査区内にしか確保できなかったため、排土を移動させながらの調査となった。

8月下旬、調査区中央東側から平安時代の堅穴住居跡が検出され、土師器・須恵器の出土もみられた。また、調査区北側に行くにしたがって遺構・遺物量が少なくなる傾向がみうけられた。

10月7日、地域住民を対象とした遺跡見学会を開催した。天候にも恵まれ11月初めまでに検出された遺構の精査を終了し、11月上旬には調査区全体の地形測量を行った。また、危険防止のため深掘りを行った地点やフラスコ状土坑等の埋め戻しを行い、11月9日、調査の全日程を終了した。

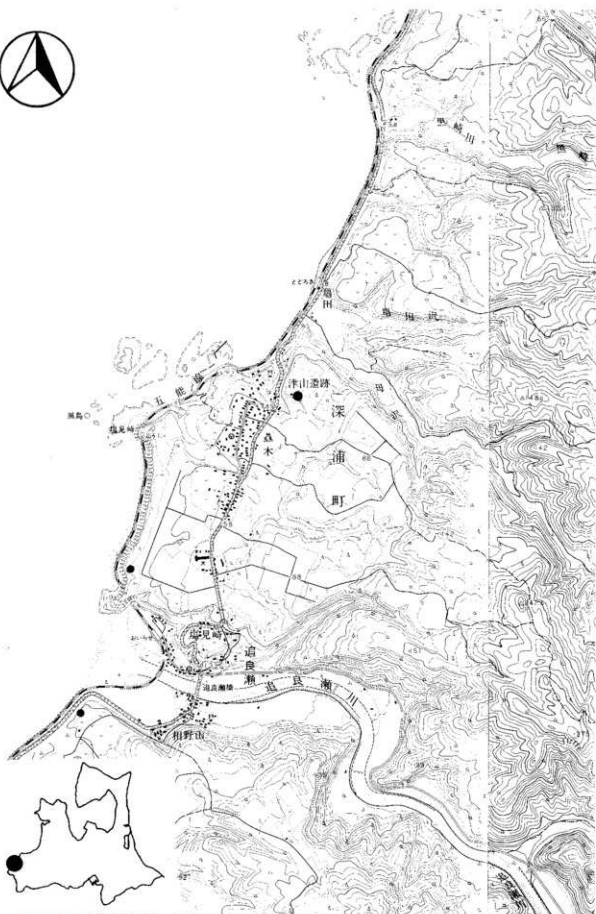


図1 遺跡の位置



図2 遺跡の地形と調査区

第Ⅱ章 遺跡の環境

第1節 遺跡周辺の地形及び地質

青森県立板柳高等学校教諭 山口 義 伸

津山遺跡は西津軽郡深浦町大字轟木に所在する。深浦町は主に日本海に面した海岸沿いに集落が点在する。夏の観光シーズンでにぎわう千疊敷海岸は陸起海食台で知られ、吾妻ヶ浜には石英や長石を多く含む白い砂浜が広がり、そして行合崎から深浦湾を経て入前崎にかけては「大通し岩」、「みさご岩」、「雨宿り岩」など奇岩を有する顕礁海岸として有名である。特に、深浦湾奥の深浦民俗資料館脇で見られる猿神鼻洞門はかつての海食洞であり深浦町の名称の1つとなっている。このように深浦周辺は波浪による浸食で形成された急崖と奇岩の多い岩礁からなるダイナミックな岩石海岸であり、「津軽西海岸」と呼ばれている。深浦町はこの「津軽西海岸」を夕日海岸のキャッチフレーズで観光化に努めている。ところで、理科年表（国立天文台編）によると、1793年2月8日（寛政4年12月28日）には西津軽沖を中心とするマグニチュード（M）6.9～7.1程度の地震が発生し、津沢及び深浦で激しく揺れている。この地震によって大戸瀬を中心に約21kmにわたる沿岸が最高3.5mも隆起している。

深浦周辺では白神山地の西～北西斜面にあたる西津軽山塊が海岸部まで迫り、この山地に源を発する追良瀬川などがこの地域を北西方に横断する形で流れ日本海に注いでいる。この地域における地形区分は大局的には地質構造を反映している。すなわち、西側から半島状に突き出た深浦台地区域、中央部の丘陵性山地の長慶平丘陵地区域、そして西津軽山塊にあたる白神背斜山地区域の3つに区分できる（盛谷, 1968）。各地形区分の境界は、本地域を南北に平行して走る2つの断層によるものであり、西側の岩崎断層と東側の大間越断層にほぼ一致する。中央部の長慶平丘陵地区域は、東西区域の相対的な隆起帯に対して東西幅約6mの南北に細長い沈降帯にあたる。

図3は本遺跡周辺の等高線図を示す。図からわかるように、東側の高度250mないし300m以上の等高線は間隔が狭くまた大きく入り組み起伏に富む地形を指すことから山地を示す。西津軽山塊にあたる山稜は海岸線から約5km以上内陸側にあつて、北から笹流山（733m）・飯森山（703.6m）・栴形山（820.3m）・塩見山（539.2m）・円行山（785.5m）・須立山（759.9m）・茶臼山（822m）などがほぼ南北に連なる。北の飯森山、栴形山及び塩見山を連ねる山稜の西側斜面では標高300～600m付近の等高線が最も密であり急斜面となっている。図のすぐ東側に位置する長慶平地区の東方には須立山と茶臼山を連ねた山稜があつて、同じく山稜西側斜面のうち標高400～700mの等高線が最も密である。北の飯森山から長慶平東方の須立山および茶臼山を経由して十二湖東方まで至る山稜の急傾斜面は上述の大間越断層による西落ちの断層崖として現れたものである。

一方、西側の深浦台地区域及び沿岸部にあつては高度約150～160m以下の等高線の間隔が広くかつその配列が海岸線にほぼ平行しているのがわかる。高度20m、40～60m間、80～100m間、130～160m間の等高線が粗く平坦面であり、30～40m、60～80m及び100～130mはその間隔が狭く比高20～30m

の急崖が認められる。このような等高線の配列は段丘地形であることを示す。ただ深浦台地地域のうち、半島端寄りの八森山 (201.9m) を含めた平頂丘は北東南西方に帯状な分布を示し、平頂丘東部には地質学的に東落ちの断層が認められる。このため八森山を含めた平頂丘及び入前崎、横磯、黄金崎間の沿岸部に面した段丘面は他地域に発達する段丘面と比して面の高度も高く海側（西側）への傾斜がやや大きい。

そして、中央部に位置する長慶平丘陵地区域では高度約350m以下の緩やかな地形をなし、等高線の間隔が粗く稜線部がやや平頂である。ただ、浸食谷流域では等高線の間隔が狭く大きく入り組んでいて開析度の大きさを示す。東側の白神背斜山地区域と比較すると緩やかな丘陵地をなし、西側の深浦台地区域ほど平坦ではない。西側の深浦台地区域との境界は吾妻川北方の行合崎の基部あたりから南方の笹内川河口に位置する岩崎を結ぶ付近に岩崎断層が存在する。途中、六角沢東方に位置する白土山と東方の三角点 (321.3m) 間を通り、この間には雁行状の断層群が認められる。全体的に見て、長慶平丘陵地区域の地形は深浦台地区域の八森山付近の平頂丘を除いて地形的な高低差は認めたいが、高度200～300m付近には最高位段丘としての船作電波段丘面が開析されているが分布する可能性がある（宮内,1988）。なお、笹内川以南十二湖の湖沼地形及び日本キャニオンに代表される崩壊地形は長慶平丘陵地区域の東端部に位置する。

次に、本地域における主な水系としては上述した追良瀬川があげられる。白神山地に源を發しほぼ北西流して日本海に注ぐ。下流部には幅広い低平な谷底平野が展開する。この他は小河川であって、北から大船川・浜館川・黒崎川・母沢・広戸川・吾妻川（東股沢と南股沢に分流）・六角沢・湯ノ沢などが流れる。追良瀬川以北を流れる大船川から母沢までは笹流山、飯森山、栴形山などを連ねた山稜に源を發し、以南の広戸川、吾妻川、六角沢、湯ノ沢などは須立山と茶白山を連ねた山稜に源を發する。いずれの河川も河口からの距離が5～6km未満と短く河床勾配も急であって、ほぼ北西流して日本海に注ぐ。各河川の流域は追良瀬川をも含めて、山地及び丘陵地内においては河床からの比高が100m以上もある急峻な浸食斜面となり、また段丘の発達する沿岸部及び河口付近においても30～50mの比高を有する急崖で接する。

図4はこの付近の地形分類を、特に海岸部に発達する段丘区分を中心にして示した。海岸線に平行して約3kmの幅で、高位から順に段丘Ⅰ面・段丘Ⅱ面・段丘Ⅲ面・段丘Ⅳ面の4段からなる海岸段丘が分布する。段丘の分布状況を見ると、表1に示したように八森山及び入前崎黄金崎間の段丘発達他地域と比して面の高度及び勾配などに相違点が認められる。全般的に、八森山周辺の段丘面は北西方へ大きく傾斜した八森山東縁に存在する東落ちの北東南西方の断層による影響があるものと思われる。

	深浦周辺の沿岸部	八森山周辺及びその沿岸部
海岸段丘Ⅰ面	130～130m	160～210m
海岸段丘Ⅱ面	80～100m	80～110m
海岸段丘Ⅲ面	40～60m	60～80m
海岸段丘Ⅳ面	20m	20～30m

表1 深浦周辺の海岸段丘区分



図3 深浦周辺の等高線図



図4 深浦周辺の地形分類図

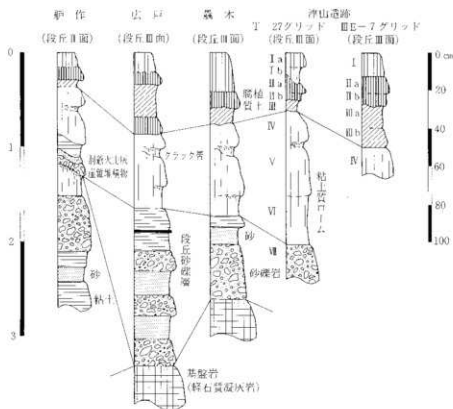


図5 遺跡周辺のローム層及び土層の模式柱状図

海岸段丘Ⅰ面は最高位段丘としての新作電波段丘(中川, 1972)に相当する。海岸線にほぼ平行して分布するが、段丘面の開析が大きく丘陵地外縁部に断片的に認められる。20~30/500とやや大きく海岸へ傾斜する面である。なお、段丘Ⅰ面の背後には長慶平丘陵地区域内の高度200~300mの平頂な丘陵地が分布する。丘陵地とは比高50m以上の急峻な段丘崖で接するが、段丘Ⅰ面からほぼ連続して発達しているものと思われる。なお、八森山は残丘状の地形を呈する。鯉ヶ沢-深浦間では厚さ3mの砂礫が堆積し、上位には厚さ2~3mの粘土質ローム層があってほぼ中部に洞爺火山灰が薄く堆積する(宮内, 1988)。

海岸段丘Ⅱ面は高位段丘としての上暗山段丘(中川, 1972)に相当する。上位のⅠ面前縁にあって海岸線にほぼ平行して分布するが、Ⅰ面同様に段丘面の開析が大きく断片的に認められる。10~15/500と段丘Ⅰ面よりは面の傾斜は緩く段丘Ⅰ面とは比高20~30mの段丘崖で接する。厚さ約5m程の淘汰良好な砂礫層から構成され、上位には約2m程の粘土質ロームが堆積する。なお、新作付近でローム層下部に洞爺火山灰が薄く堆積している。

海岸段丘Ⅲ面は高位段丘としての深浦段丘(中川, 1972)に相当する。中川, 1972は段丘面の高度差から高位から深浦段丘、轟木段丘、田野沢段丘の3段に区分しているが、今回の調査では深浦段丘、轟木段丘及び田野沢段丘の区分は確認できなかった。なお、2~3段の段差はあると思われるが、本地域において10/500と最も平坦で広範囲に分布する。調査区域内では厚さ1.5~2mの礫質砂層から構成され上位には約1m程の灰褐色の粘土質ロームが覆っている。ただ、中位段丘の指標である洞爺

火山灰を確認できなかったが、船作付近において本段丘を構成する粘土質ローム最下部に洞窟火山灰相当の薄層の黄灰色細粒火山灰を確認している。そして、海岸段丘Ⅳ面は低位段丘としての久田段丘(中川, 1972)に相当し、風合瀬付近及び深浦以西の入前崎付近で小規模に分布している。なお、風合瀬付近の浜館川手畔川間には扇状の山麓扇状地がみられ、段丘Ⅱ面及び段丘Ⅲ面が扇状地堆積物で被覆されている。

さて、本遺跡は追良瀬川と北側の母沢に挟まれた、標高約50~62mの海岸段丘Ⅲ面上立地する。調査区域は段丘Ⅱ面との境をなす比高20m程の段丘崖近くに位置している。西側には日本海が一望でき、東方には上位の段丘及び丘陵地が展開している。調査区域からは母沢河口まで約700~800mであって、河口付近及び海岸線では石器の素材となる礫を容易に採取することができる。また約2km南方には蛇行する追良瀬川が流れている。調査区域は段丘Ⅲ面をほぼ南北に縦走する形に設定されていて、南端にはこの面に谷頭をもつ小谷があり北端には母沢が流れている。このため調査区域内は中央部がやや凸状の地形であるが全体的には北側の母沢に大きく傾斜する斜面になっている。なお、耕作による削平が調査区中央部の凸状地形で認められる。

次に、深浦付近の地質概要について述べたい。概略的には先新第三紀の白神岳花崗岩類を基盤とし、これを不整合に覆う新第三紀の緑色凝灰岩類などが広く分布する。この特徴は東北日本のいわゆるグリーンタフ地域に共通するものである。なお、基盤を被覆する新第三紀の地層(新第三系)は下位から藤倉川層(新第三系下部~中部)・大戸瀬層・田野沢層・大童子層(以上が新第三系中部)・赤石層(新第三系上部)に区分される(宮内, 1988)。

白神背斜山地区域では基盤をなす白神岳花崗岩類、及び藤倉川層や大戸瀬層下部など新第三紀の地層など新第三系下部の安山岩質溶岩及び同火砕岩からなる火山岩類から構成されている。長慶平丘陵地区域では新第三系中部及び上部の堆積岩及び火山岩層から構成されている。各地層は南北方向の軸をもつ波状褶曲を繰り返しながら大局的には西方への単斜構造をなしている。千疊敷海岸付近に主に分布する安山岩質溶岩及び火砕岩(大戸瀬層中部の清滝沢安山岩部層)及び飯森山・笹流山などに広く分布する流紋岩溶岩及び同火砕岩(大戸瀬層上部の吾妻川流紋岩部層)などは比較的古い地層で北部に広く分布する。同区域南半には大間越断層以西に広く分布する田野沢層の砂岩及び泥岩、そして大童子層の珪質頁岩などが堆積している。十二湖周辺には流紋岩質凝灰岩が広く分布しているが、大童子層上位に重なる酸性凝灰岩である。なお、田野沢層の堆積中には *Miogyopsis*, *Operculina* の大型有孔虫など温暖で浅海性の環境を示す貝化石が多く含まれている。深浦台地区域では新第三系中部の火山岩層及び堆積岩層から構成され、ほぼ水平に堆積している。半島先端部には安山岩質溶岩及び同火砕岩(清滝沢安山岩部層)が広く分布し、行合崎深浦海岸間とその内陸部には流紋岩及び同火砕岩(吾妻川流紋岩部層)が広く分布している。そして、沿岸部では新第三紀の各地層を被覆する砂及び礫からなる第四紀の段丘堆積物が認められる。

ところで、津山遺跡周辺では西津軽山塊から丘陵地にかけては流紋岩及び同質火砕岩からなる吾妻川流紋岩部層が広く分布し、丘陵地西側には安山岩質溶岩及び同火砕岩からなる清滝沢安山岩部層が帯状に分布している。そして、沿岸部には砂岩・泥岩を主とする田野沢層及び珪質頁岩を主とする大童子層などの地層が主に分布している。なお、鳥居崎から塩見崎にかけては海岸線にはほぼ沿って鳥居崎断層がみられ、岩礁地帯には安山岩質溶岩及び火砕岩からなる清滝沢安山岩部層が分布している。

本遺跡の調査区域内で出土した石器の石材については剥片石器は大童子層、礫石器は清滝沢安山岩部層及び吾妻川流紋岩部層を素材とした可能性がある。

最後に、本遺跡の調査区域における基本層序について記述する。調査区域南端部のⅢE-7グリッドでは基本層序第Ⅲ層までの、北端のT-27グリッドでは主にローム層の特徴を把握した。調査区中央部のⅡJ-27グリッド付近で多少の攪乱を認められるが、ほぼ調査区全域で基本層序は確認できる。調査区域内で検出された遺構のうち、縄文時代前期～中期の遺構は基本層序第Ⅲ層で、弥生時代～平安時代の遺構は第Ⅱ～Ⅲ層で確認している。

- I 層 暗褐色土 (10YR3/3) 厚さ10～50cmの耕作土で畑地部分で特に厚い。粘性・湿性に乏しく、かたさはあるが締まりに欠け格子状に割れる。なお、斜面から低地にかけてI b層としてやや粘性のある黒褐色土が堆積する。乾くと黒灰色に変色し脆く崩れやすい。
- II 層 黒色土 (10YR2/1) 厚さ20～30cm。粘性・湿性があり全体的にかく締まる。本層中部にレンズ状の暗褐色細粒砂質土の堆積が認められることや層相の変化から2層に細分される。上部のⅡa層は腐植質土で乾くとクラックが発達する。下部のⅡb層は全体的に粘土質でカッティング面が常に湿っぽい。またローム粒及び炭化粒の混入が多少認められる。各分層とも平均的に10～15cm程の厚さを持つ。なお、深浦町広戸の海岸沿いでは本層中に飛砂が多く含まれ、特に中部にみられる暗褐色細粒砂質土が50～100cmと厚く堆積する。砂質土にはさらに多量のローム粒や少量の円礫(径5mm以下のシルト)なども認められる。
- III 層 暗褐色土 (10YR3/3) 厚さ20～30cmの漸移層である。粘性・湿性があるが、かたさ・締まりにやや欠け乾くと脆く崩れやすい。層相変化から2層に細分される。上部のⅢa層はロームブロックの混入が目立ち、ブロックの周囲が風化の輪郭が不明瞭である。下部のⅢb層は全体的によごれたローム質で色調も明るく(10YR4/4)、Ⅲa層よりもかたく締まる。
- IV 層 灰褐色ローム (7.7YR5/2) 厚さ30～50cmの粘土質ロームである。緻密堅固である。最上部には凹凸面が認められ暗色帯の要素を持つ。
- V 層 明黄褐色ローム (10YR6/8) 厚さ50～100cmの細粒砂混じりの粘土質ロームであり下部ほど砂の混入量が多くなる。なお、上位のIV層との境界には黄灰色粘土質ローム(厚さ10～20cm)がレンズ状に堆積して大きく波打っている。この粘土質ロームはレスの可能性がある。耕作付近に分布する段丘Ⅱ面上に堆積するローム層中で、本層相当層の最下部には洞爺火山灰(約10～12万年前の噴火による)と思われる黄灰色細粒軽石層(厚さ20～30cm)の堆積を確認した。
- VI 層 黄灰色中粒砂 (2.5Y5/1) 厚さ50～100cmであって、下位のVII層をも含めて海岸段丘Ⅲ面を構成する砂礫層である。第33号土坑で確認したところ、上半部はローム(粘土)質な砂であり、下半部は粗砂混じりの中粒砂質であり全体的に黄緑色を呈する。
- VII 層 砂礫層 厚さ100cm程で基盤岩を不整合に覆う段丘礫層である。海岸段丘Ⅲ面に堆積する砂礫層には2～3枚の礫層が確認され各50～100cm程の厚さを有する。

引用・参考文献

- 盛谷智之 1968 深浦地域の地質 地域地質研究報告 5 万分の 1 図幅及び同説明書
青森(5)第26号 地質調査所
- 西村嘉助編 1969 朝倉地理学講座 5 自然地理学Ⅱ 朝倉書店
- 中川久夫 1972 青森県の地質第二部 青森県の第四系 青森県
- 青森県地学教育研究会編 1975 日曜の地学 3 青森・日本海側をめぐる 築地書館
- 宮内尚裕 1988 東北日本北部における後期更新世海成面の対比と編年 地理学評論 Vol. 61
- 活断層研究会編 1991 新編 日本の活断層 分布図と資料 東京大学出版会
- 国立天文台編 1994 理科年表 机上版 丸善株式会社
- 根本直樹・若林秀嗣 1995 青森県深浦町北東部に分布する北金ヶ沢層(新称)の有孔虫群
地球科学 Vol. 49 No. 3
- 小池一之・太田陽子編 1996 変化する日本の海岸 最終間氷期から現在まで 古今書院

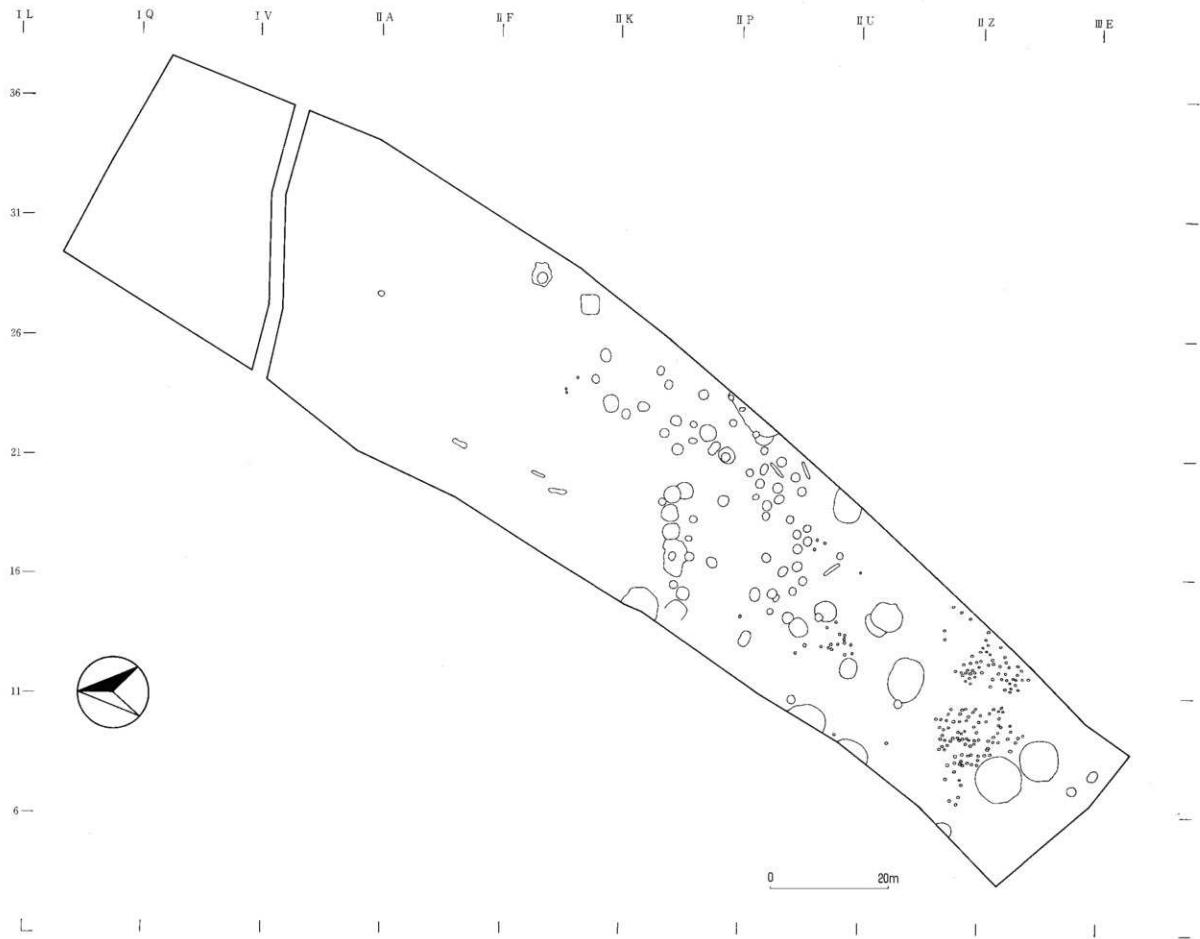


图6 透視配置圖

第三章 検出遺構と出土遺物

第1節 縄文時代の検出遺構と出土遺物

今回の調査では、竪穴住居跡16軒、土坑67基、溝状土坑6基、土器埋設遺構12基が検出された。以下遺構別に記述する。

1 竪穴住居跡

第3号竪穴住居跡（図7～9）

【位置】ⅡV-13・14、ⅡW-12・13・14グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】本址は第12号竪穴住居跡と切り合い関係にあり、新旧関係は本址の方が新しい。

【平面形・規模】長軸610cm、短軸420cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは55cmを計測する。

【壁・床面】作り出しによるテラスを有する。比高差は最大12cmを計測する。壁は底面から東壁ではやや急に、その他では緩やかに立ち上がり、テラス部を含む床面はほぼ平坦である。

【柱穴】柱穴と思われるピットは4個検出された。床面からの深さはP1が34cm、P2が52cm、P3が49cm、P4が53cmを計測する。

【炉】ほぼ中央部に1基検出された。地床炉で径46cmを計測する。

【特殊施設】周堤を有するピットが検出されている。

【堆積土】15層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】覆土中、床面より土器及び石器が出土している。石器類は総数36点。不定形剥片石器(1)、礫石器Ⅲ群b類1点(3)、Ⅵ群1点(2)、剥片類33点である。

【小結】出土した土器から縄文時代中期の竪穴住居跡と思われる。

第4号竪穴住居跡（図8～10）

【位置】ⅡT・U-18・19グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】一部調査区域外にかかるため全容はわからない。

【壁・床面】壁は底面からやや急に立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

【柱穴】柱穴と思われるピットは9個検出された。床面からの深さはP1が41cm、P2が68cm、P3が10cm、P4が46cm、P5が12cm、P6が67cm、P7が55cm、P8が17cm、P9が45cmを計測する。立て替えが行われた可能性が高い。

【炉】ほぼ中央部に2基検出された。地床炉でF1は径42cmを計測する。F2は一部調査区域外にかかる。

【特殊施設】西寄りに貯蔵用と思われるピットを検出した。

【堆積土】16層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】覆土中より土器、石器類が出土している。石器類は58点出土している。内訳は石鏃Ⅰ類b 1点(6)、Ⅱ類a 1点(8)、Ⅱ類b 1(7)、Ⅲ類a 1点(9)、両面加工石器Ⅲ類b 1点(5)、剥片類52点である。

【小結】出土遺物から縄文時代中期の竪穴住居跡と思われる。

第5号竪穴住居跡(図11)

【位置】ⅡP・Q-23・24グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】第7号住、第60土と切り合い関係にあり本址が一番古い。

【平面形・規模】第7号住、第60土に切られているため全容はわからないが、推定直径450cmの円形を呈するものと思われる。確認面からの深さは25cmを計測する。

【壁・床面】壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

【柱穴】検出されなかった。

【炉】中央部に若干の焼土を検出した。地床炉と思われる。

【特殊施設】なし。

【堆積土】4層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】遺物は出土していない。

【小結】第7号住より古いため縄文時代前期から中期にかけての竪穴住居跡と思われる。

第7号竪穴住居跡(図11・12)

【位置】ⅡO-23、ⅡP-23・24、ⅡQ-23グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】第5住、第37号土坑、第60号土坑と切り合い関係にあり、第5住より新しく37・60土より古い。

【平面形・規模】一部調査区域外にかかるため全容をうかがうことができないが、長軸20mの前後の楕円形を呈するものと思われる。確認面からの深さは70cmを計測する。

【壁・床面】作り出しによるテラスを有し比高差は最大25cmを計測する。壁は底面からやや急に立ち上がり、床面はほぼ平坦で、北側に行くにしたがってテラス部の比高差は少なくなる。

【柱穴・ビット】柱穴と思われるビットは1個検出された。

【炉】検出されなかった。調査区域外に存在するものと思われる。

【特殊施設】深さ20cmのビットが検出された。

【堆積土】13層に分層された。自然堆積の様相を呈するが第6層は第60号土坑土を構築した際の排土と思われる。

【出土遺物】図示し得るような土器は出土していない。石器類は床面直上より礫石器第V群が出土している(図12)。

【小結】縄文時代中期の大型竪穴住居跡と思われる。

第8号竪穴住居跡(図13~21)

〔位置〕ⅡR-9、ⅡS-8・9グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕一部調査区域外かかるため全容をうかがうことができないが、楕円形を呈するものと思われる。確認面からの深さは70cmを計測する。

〔壁・床面〕作り出しによるテラスを有する。壁は底面からやや急に立ち上がり、テラス面は平坦であるが床面は多少凸凹している。

〔柱穴・ピット〕ピットは8個検出された。床面からの深さはP1が72cm、P2が52cm、P3が24cm、P4が74cm、P5が31cm、P6が7cm、P7が5cm、P8が10cmを計測する。

〔炉〕検出されなかった。調査区域外に存在するものと思われる。

〔特殊施設〕なし。

〔堆積土〕15層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔出土遺物〕本址は遺構内捨て場を形成しており、覆土中より多数の土器・石器が出土している。完形及び略完形の土器は15点、石器類は92点出土している。内訳は石畿Ⅰ類b 4点(1~4)、Ⅱ類b 2点(5、6)、Ⅲ類a 1点(8)、Ⅲ類b 1点(7)、Ⅳ類1点(9)、両面加工石器Ⅰ類1点(10)、石匙Ⅱ類a 1点(11)、礫石器第Ⅰ群a類(12)、b 1類2点(13~14)、a 2類1点(15)、第Ⅱ群a類1点(16)、b 1類1点(18)、第Ⅱ群a類2点(17、19)、刺片類71点である。

〔小結〕覆土中の遺物はほとんどが円筒上層a式土器を主とした中期の土器であるが、床面から出土する土器は円筒下層d式土器であることから、縄文時代前期の竪穴住居跡と思われる。

第9号竪穴住居跡(図22~32)

〔位置〕ⅡV-10、ⅡW・X-9・10・11グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕長軸794cm、短軸608cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは74cmを計測する。

〔壁・床面〕本址は、壁の周囲に貼り床によるテラス状の段を有する。壁は底面からやや急に立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

〔柱穴・ピット〕ピットは総数22箇所検出された。床面からの深さはP1が58cm、P2が78cm、P3が10cm、P4が77cm、P5が60cm、P6が76cm、P7が64cm、P8が55cm、P9が64cm、P10が13cm、P11が10cm、P12が4cm、P13が5cm、P14が5cm、P15が8cm、P16が13cm、P17が7cm、P18が26cm、P19が10cm、P20が28cm、P21が14cm、P22が18cmを計測する。P5及びP6はテラス形成のための立て替え時に埋められたものと推察される。

〔炉〕2箇所検出された。F1はテラス形成前の炉と思われる。

〔特殊施設〕なし。

〔堆積土〕13層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔出土遺物〕本址も第8号住居跡同様遺構内捨て場を形成しており覆土中より多数の土器、石器が出

土しているが、土器は破片がほとんどである。石器類は604点出土している。内訳は石鏃Ⅰ類 a 7点(1～7)、Ⅰ類 b 3点、Ⅱ類 b 6点(12～15)、Ⅱ類 c 1点(11)、Ⅲ類 a 1点(18)、Ⅲ類 b 2点(19、20)、Ⅳ類 2点(21、20)。石器Ⅱ類 c 3点(23、24、26)、Ⅳ類 a 3点(27～29)、Ⅳ類 b 1点(31)、Ⅳ類 c 1点(30)、両面加工石器Ⅰ類 2点(32、33)、Ⅲ類 a 1点(34)、Ⅲ類 c 1点(35)。不定形剥片石器 9点(36～44)、異形石器 1点(52)、剥片・チップ類多数、礫石器第Ⅰ群 a 類 2点(53、54)、b 1類 5点(55～59)、d 類 2点(60、61)。第Ⅱ群 a 類 1点(62)、b 1類 1点(63)、d 類 2点(64、65)。第Ⅲ群 c 類 1点(66)。第Ⅴ群 1点(67)。瑛状耳飾り 1点(51)である。

石鏃は22点出土しているが、その形態は様々である。9号住居址には遺物の捨て場が形成されているが、下層から円筒下層 d 式、上層から円筒上層 a 式、弥生時代の土器が出土していることが発掘時に確認されている。本住居址の石器群を時期別に分類することは現時点では行えないが、(12)の石器等については弥生時代に帰属する可能性があると思われる。

【小結】 覆土中の遺物は円筒上層式の土器がほとんどであるが、覆土下層や床面直上の遺物は円筒下層 d 式の土器であることから縄文時代前期の竪穴住居跡と思われる。

第10号竪穴住居跡 (図32・33)

【位置】 ⅡM-19・20、ⅡN-19グリッドに位置する。

【確認】 Ⅲa層上面で確認した。

【重複】 第18住と一部切り合い関係にあるが明確な新旧関係は不明。

【平面形・規模】 推定長軸320cm、短軸240cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは42cmを計測する。

【壁・床面】 壁は底面からやや急に立ち上がり、床面は多少凸凹している。

【柱穴・ビット】 1個検出された。

【炉】 地床炉が検出された。

【特殊施設】 なし。

【堆積土】 8層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】 床面より礫石器第Ⅴ群 1点出土している(図32-68)。

【小結】 縄文時代前期の竪穴住居跡と思われる。

第12号竪穴住居跡 (図7～9)

【位置】 ⅡV-12・13、ⅡW-12グリッドに位置する。

【確認】 Ⅲa層上面で確認した。

【重複】 本址は第3号竪穴住居跡と切り合い関係にあり、新旧関係は本址の方が古い。

【平面形・規模】 推定長軸480cm、推定短軸340cmの楕円形を呈するものと思われ、確認面からの深さは18cmを計測する。

【壁・床面】 壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

【柱穴・ビット】 柱穴と思われるビットは5個検出された。床面からの深さはP5が40cm、P6が41cm、P14が55cm、P15が42cm、P13が31cmを計測する。

【炉】 検出されなかった。

【特殊施設】周堤を有するピットが検出されている。

【堆積土】8層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】覆土中より土器・石器が出土している。石器類は礫石器第1群b 1類が1点出土している(図9-4)。

【小結】出土土器より縄文時代前期の竪穴住居跡と思われる。

第13号竪穴住居跡(図35・36)

【位置】ⅡL・M-13・14グリッドに位置する。

【確認】Ⅲ層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】推定長軸420cm、短軸365cmの楕円形を呈するものと思われ、確認面からの深さは28cmを計測する。

【壁・床面】壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

【柱穴・ピット】柱穴と思われるピットは6個検出された。床面からの深さはP1が64cm、P2が12cm、P3が54cm、P4が52cm、P5が59cm、P6が37cmを計測する。

【炉】東寄りに楕円形の地床炉が検出された。

【特殊施設】なし。

【堆積土】7層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】覆土中より土器・石器が出土している。石器類は16点出土している。内訳は石匙Ⅱ類c 1点(11)、不定形剥片石器1点(2)、礫石器第1群b 1類1点Ⅲ群b 1点(4)、その他である。

【小結】出土土器より縄文時代前期の竪穴住居跡と思われる。

第14号竪穴住居跡(図37・38)

【位置】ⅡJ・K-14・15、ⅡL-13・14・15グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】一部調査区域外にかかるため全容をうかがうことはできない。楕円形を呈するものと思われ、確認面からの深さは28cmを計測する。

【壁・床面】作り出しによるテラスを有する。壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

【柱穴・ピット】柱穴と思われるピットは5個検出された。床面からの深さはP1が45cm、P3が80cm、P7が41cm、P9が60cm、P10が70cmを計測する。

【炉】東寄りにやや不整の地床炉が検出された。

【特殊施設】周堤を伴うピットが検出されている。

【堆積土】9層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】覆土中より土器・石器が出土している。石器類は52点出土している。内訳は両面加工石器Ⅲ類a 2点(1、3)、Ⅲ類c 2点(2)、礫石器第1群a 類1点(4)、Ⅰ類d 1点(5)。

【小結】 出土遺物より縄文時代前期の竪穴住居跡と思われる。

第15号竪穴住居跡（図39・40）

【位置】 II Y-3 グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 一部調査区域外にかかるため全容をうかがうことはできない。推定直径280cmの円形を呈するものと思われ、確認面からの深さは46cmを計測する。

【壁・床面】 壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

【柱穴・ビット】 ビットは3個検出された。床面からの深さはP1が15cm、P2が13cm、P3が21cmを計測する。

【炉】 明確な炉址は検出されなかった。調査区域外に存在するものと思われる。

【特殊施設】 なし。

【堆積土】 8層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】 覆土中より土器・石器が出土している。石器は礫石器第Ⅲ群 b 1類が1点出土している（図40-6）。

【小結】 出土遺物より縄文時代前期の竪穴住居跡と思われる。

第16号竪穴住居跡（図41・42）

【位置】 II S・T-13・14 グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 第48号土坑と切り合い関係にあり、新旧関係は本址の方が古い。

【平面形・規模】 長軸408cm、短軸336cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは32cmを計測する。

【壁・床面】 壁は底面からやや急に立ち上がり、床面は平坦である。

【柱穴・ビット】 柱穴と思われるビットは5個検出された。床面からの深さはP1が61cm、P2が57cm、P3が55cm、P4が60cm、P5が5cmを計測する。

【炉】 2基検出された。2基共に地床炉である。

【特殊施設】 なし。

【堆積土】 9層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】 覆土中より土器は出土していない。石器類は礫石器第Ⅰ群 a 類1点(1)、第Ⅲ群 a 類1点が出土している。

【小結】 土器が出土していないので断定はできないが形態的に13号住に近似しており、縄文時代前期の竪穴住居跡と思われる。

第17号竪穴住居跡（図43～46）

【位置】 II T・U-7・8 グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 一部調査区域外にかかるため全容をうかがうことはできない。

〔壁・床面〕 壁は底面からやや急に立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

〔柱穴・ピット〕 検出されなかった。

〔炉〕 明確な炉址は検出されなかった。

〔特殊施設〕 なし。

〔堆積土〕 11層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔出土遺物〕 覆土中より土器・石器が出土している。石器類は27点出土している。内訳は石鏃Ⅱ類c 1点(1)、石槍1点(2)、石匙Ⅱ類b 1点(3)、Ⅳ類b 1点(4)、磨製石斧1点(5)、礫石器第Ⅰ群a類2点(6、7)、b 1類2点(8)、b 2類1点(9)、第Ⅱ群a 1類1点(10)、b 2類1点(11)。

〔小結〕 縄文時代中期の竪穴住居跡と思われる。

第18号住居跡 (第32～34)

〔位置〕 ⅡL・M-19グリッドに位置する。

〔確認〕 Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕 本址は第10号住と一部切り合い関係にあり新旧関係は不明。

〔平面形・規模〕 にかかるため全容をうかがうことはできない。

〔壁・床面〕 壁は底面からやや急に立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

〔柱穴・ピット〕 検出されなかった。

〔炉〕 明確な炉址は検出されなかった。

〔特殊施設〕 なし。

〔堆積土〕 9層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔出土遺物〕 床面直上より円筒下層d式土器が1点出土している。石器類は礫石器第Ⅰ群b 1類1点(7)、第Ⅰ群d類1点(6)。

〔小結〕 出土遺物より縄文時代前期の竪穴住居跡と思われる。

第19号竪穴住居跡 (図47・48)

〔位置〕 ⅡT・U-10・11グリッドに位置する。

〔確認〕 Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 長軸365cm、短軸316cmの楕円形を呈する。確認面からの深さは16cmを計測する。

〔壁・床面〕 壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

〔柱穴・ピット〕 ピットが5個検出され。床面からの深さはP1が²26cm、P2が³30cm、P3が⁷7cm、P4が³30cm、P5が⁵5cmを計測する。

〔炉〕 ほぼ中央部に地床炉が検出されている。長軸37cm、短軸32cmの楕円形を呈し深さは7cmを計測する。

〔特殊施設〕 なし。

【堆積土】3層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】P1及びP2内よりほぼ完形の円筒下層d式土器が1点と底部を欠失する円筒下層d式土器が1点それぞれ出土している。石器類は礫石器第Ⅱ群d類1点が出土している(5)。

【小結】出土遺物より縄文時代前期の竪穴住居跡と思われる。

第20号竪穴住居跡(図84)

【位置】ⅡL・M-15・16、ⅡM-17グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】第85号土坑と切り合い関係にあり、明確な新旧関係は不明。

【平面形・規模】推定長軸460cm、短軸300cmの楕円形を呈する。確認面からの深さは22cmを計測する。

【壁・床面】壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

【柱穴・ピット】ピットが4個検出されている。床面からの深さはP1が12cm、P2が18cm、P3が25cm、P4が31cmを計測する。

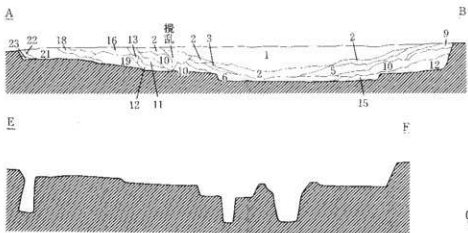
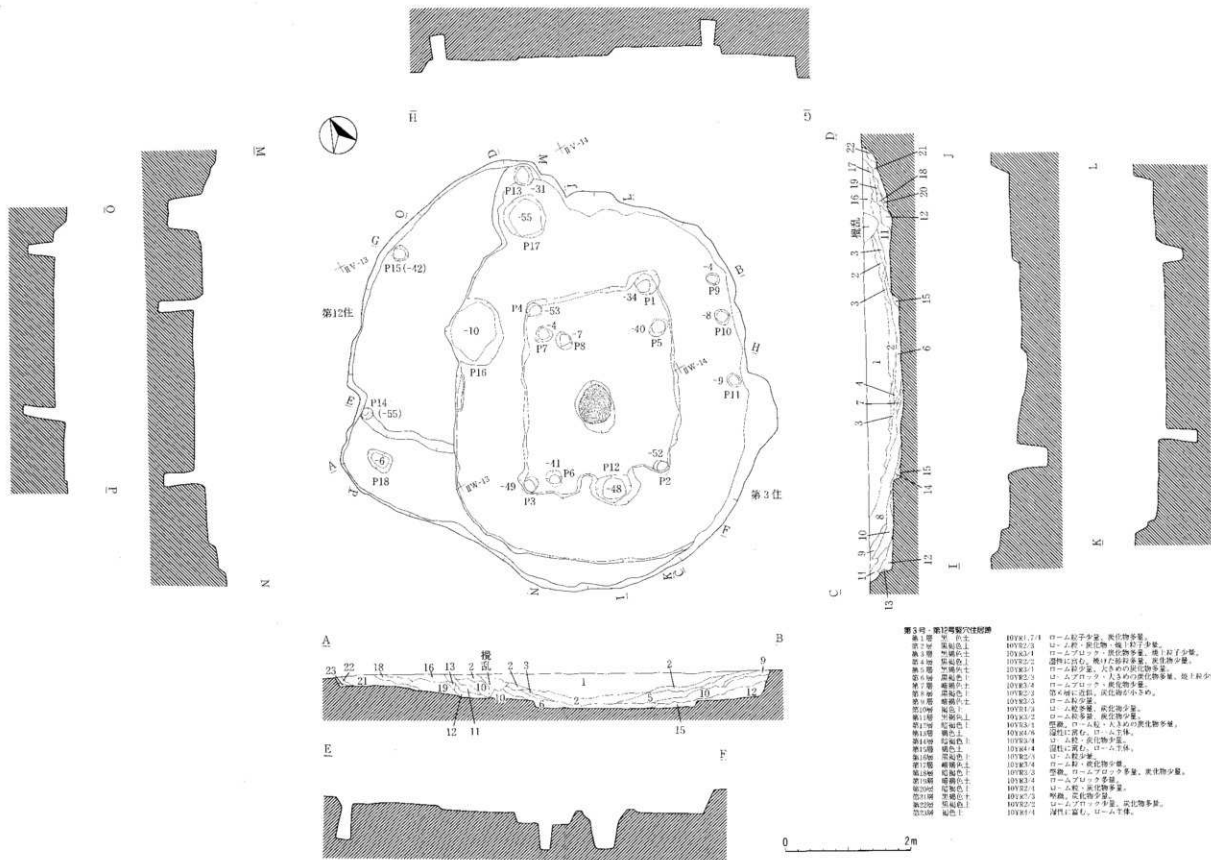
【炉】炉は中央やや西寄りに検出された。地床炉である。

【特殊施設】なし。

【堆積土】2層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】図示し得るような遺物は出土していない。

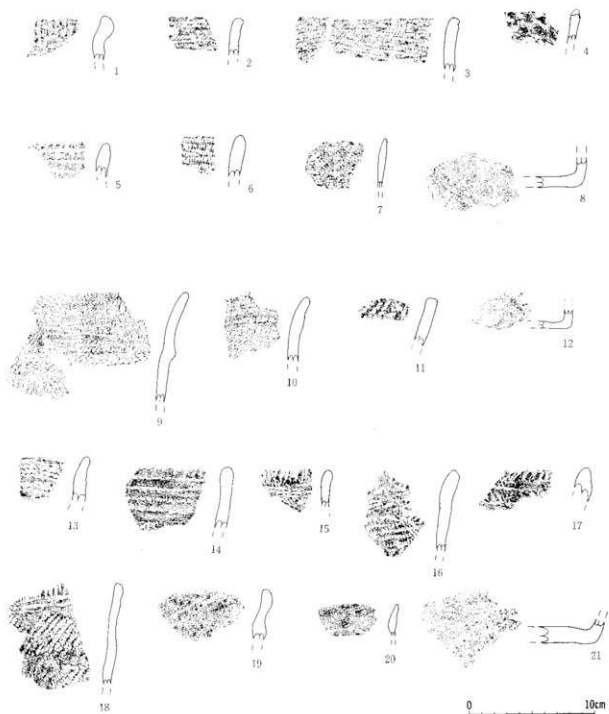
【小結】縄文時代の竪穴住居跡と思われる。



第3号・第12号竪穴住居跡

- | | | |
|-----|---------|--------------------|
| 竪穴跡 | 10701:1 | ローム状土層、炭化物多量。 |
| 竪穴跡 | 10702:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10703:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10704:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10705:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10706:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10707:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10708:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10709:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10710:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10711:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10712:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10713:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10714:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10715:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10716:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10717:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10718:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10719:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10720:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10721:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10722:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10723:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10724:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10725:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10726:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10727:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10728:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10729:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |
| 竪穴跡 | 10730:1 | ローム状土層、炭化物多量、焼土多量。 |

図7 第3号・第12号竪穴住居跡



1~8 3住

9~12 12住

13~21 4住

图8 第3号·第4号·第12号竖穴住居跡出土遺物(1)

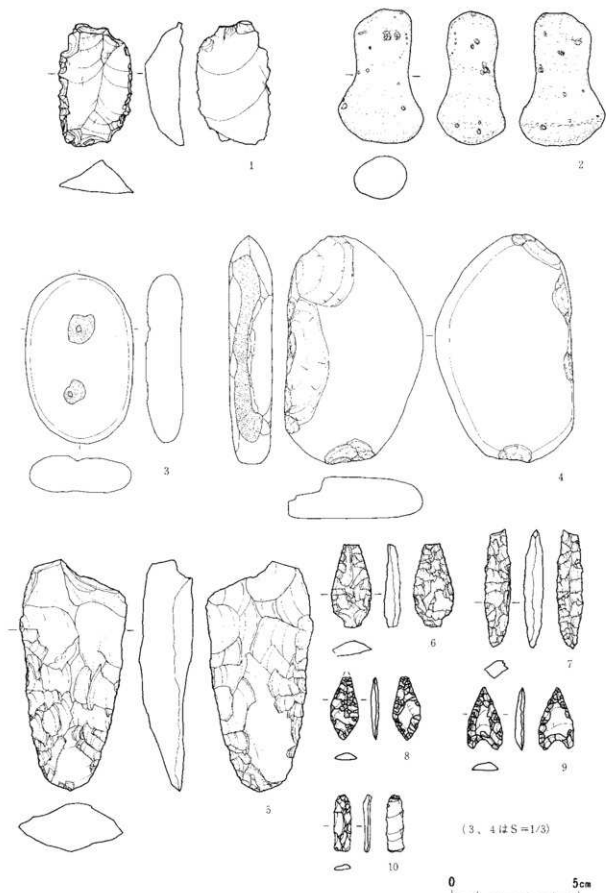
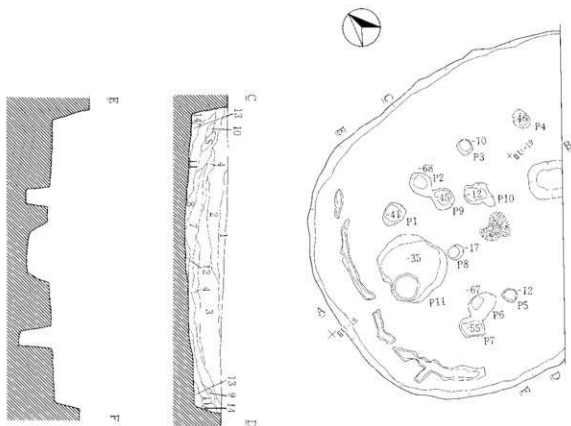


图9 第3号·第4号·第12号竖穴住居跡出土遺物(2)



第4号竖穴住居跡

第1層	赤色土	10YR2/1	ローム粒子少量。
第2層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒子、赤褐色、灰土粒子少量。
第3層	赤色土	10YR1/1	ローム粒子少量、灰化物少量。
第4層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒子少量。
第5層	赤褐色土	10YR2/2	炭燼、ローム粒、灰化物少量。
第6層	赤褐色土	10YR3/4	炭燼、ローム粒子、灰化物少量。
第7層	赤褐色土	10YR3/3	炭燼、ローム粒子、灰化物少量。
第8層	赤褐色土	10YR2/2	炭燼、ローム粒子、灰化物少量。
第9層	赤褐色土	10YR3/4	炭燼、ローム粒、灰化物少量。
第10層	褐色土	10YR4/4	炭燼、ローム粒少量、灰化物、焼土粒子少量。
第11層	褐色土	10YR3/4	焼土に包含、ローム粒少量。
第12層	土赤い黄褐色土	10YR5/4	焼土に包含、ローム土主体。
第13層	赤褐色土	10YR3/3	焼土に包含、ローム粒少量、灰化物少量。
第14層	褐色土	10YR4/6	ローム粒子少量。
第15層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒、灰化物少量。
第16層	赤褐色土	2.5YR3/3	灰化物、焼土粒子少量。

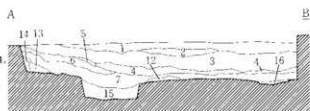


図10 第4号竖穴住居跡

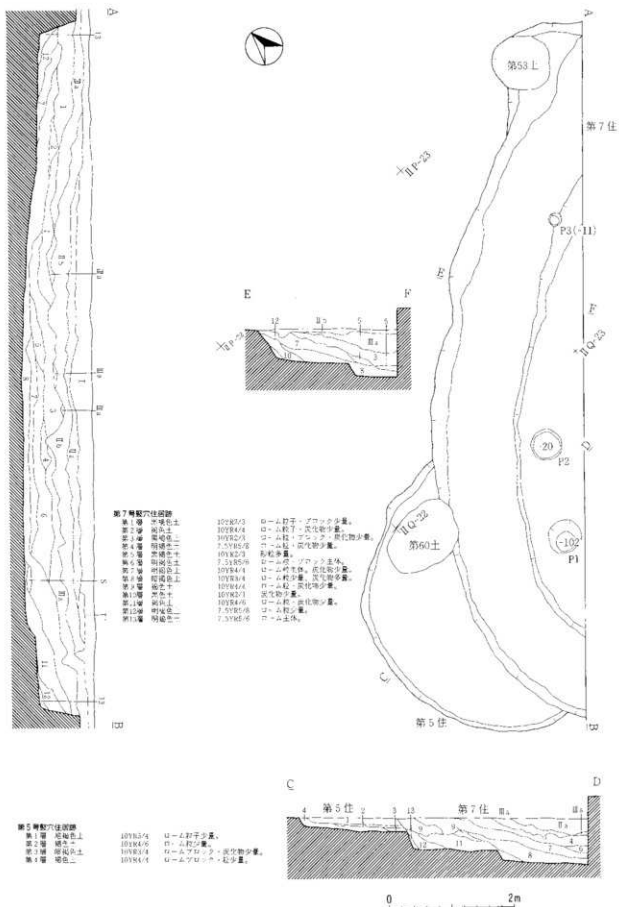


図11 第5号・第7号竖穴住居跡

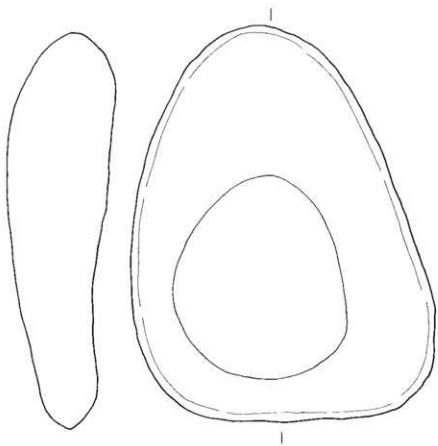
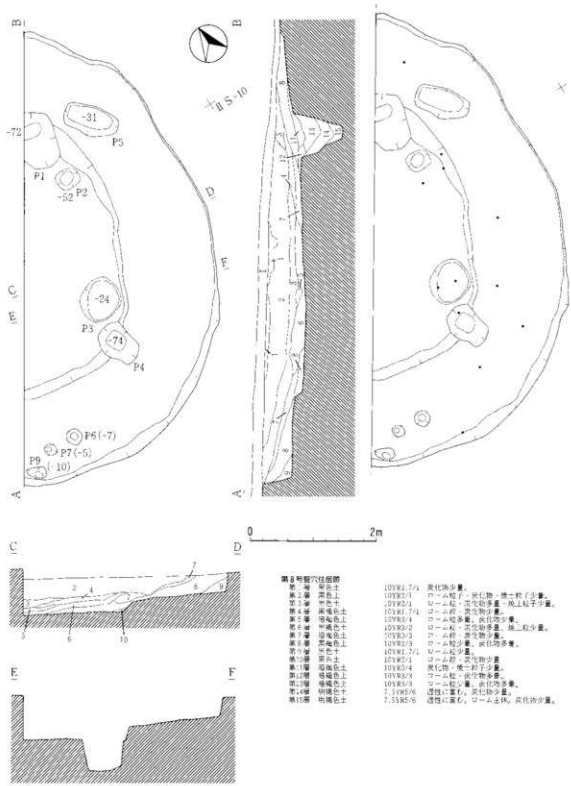


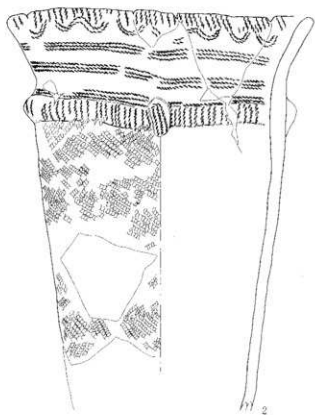
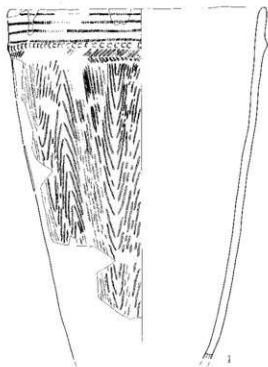
图12 第7号竖穴住居跡出土遺物



第8号竖穴住居跡

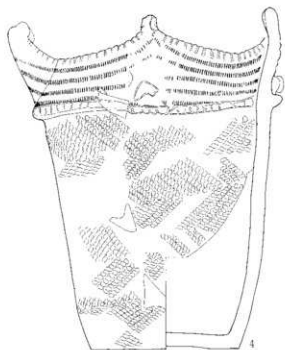
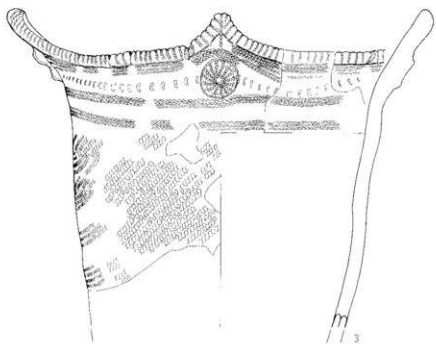
第1層	黄白色土	10YR1.7/1	黄化灰少量。
第2層	黄白色土	10YR2/1	ローム粒、灰化物、焼土粒少量。
第3層	黄白色土	10YR2/1	ローム粒、灰化物少量、焼土粒子少量。
第4層	黄褐色土	10YR3/1	ローム粒少量。
第5層	黄褐色土	10YR3/4	ローム粒少量、灰化物少量。
第6層	黄褐色土	10YR3/2	ローム粒、灰化物少量、焼土粒少量。
第7層	黄褐色土	7.5YR3/3	ローム粒、灰化物少量。
第8層	黄褐色土	10YR2/3	ローム粒少量、灰化物少量。
第9層	黄白色土	10YR1.7/1	ローム粒少量。
第10層	黄白色土	10YR2/1	ローム粒、灰化物少量。
第11層	黄褐色土	10YR3/4	灰化物、焼土粒少量。
第12層	黄褐色土	10YR3/2	ローム粒、灰化物少量。
第13層	黄褐色土	10YR3/4	ローム粒少量、灰化物少量。
第14層	黄褐色土	7.5YR5/6	透性硬石、灰化物少量。
第15層	黄褐色土	7.5YR5/6	透性硬石、ローム土体、灰化物少量。

图13 第8号竖穴住居跡



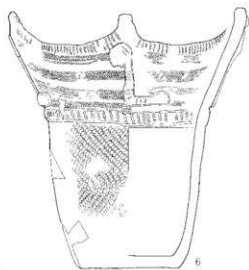
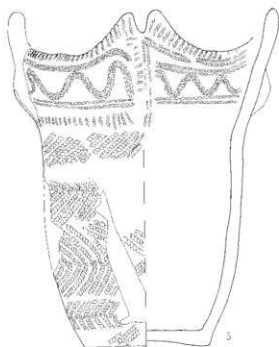
0 10cm

图14 第8号竖穴住居跡出土遺物(1)



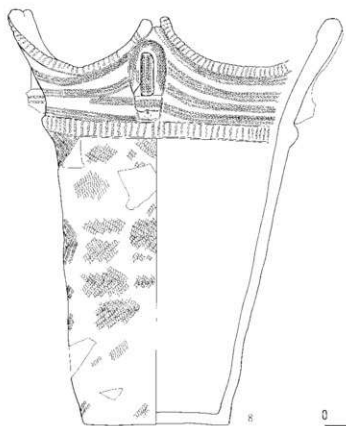
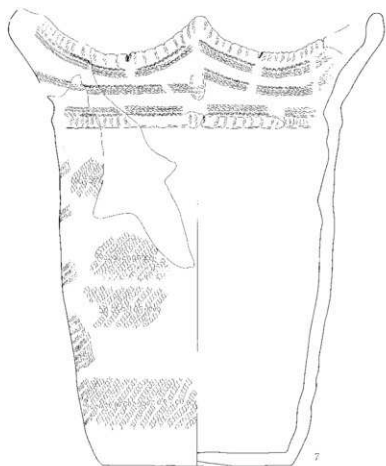
0 10cm

图15 第8号竖穴住居跡出土遺物(2)



0 10cm

图16 第8号竖穴住居跡出土遺物(3)



0 10cm

图17 第8号竖穴住居跡出土遺物(4)

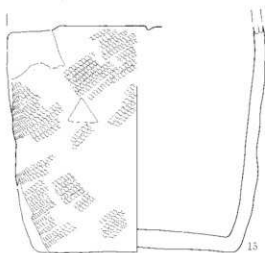
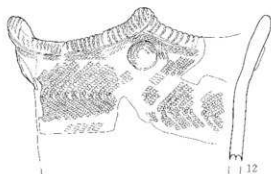
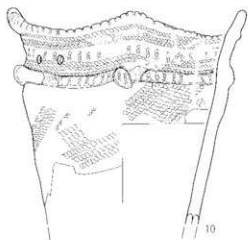
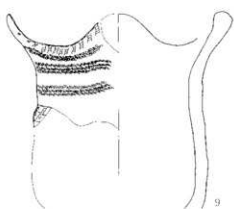


图18 第8号竖穴住居跡出土遺物(5)

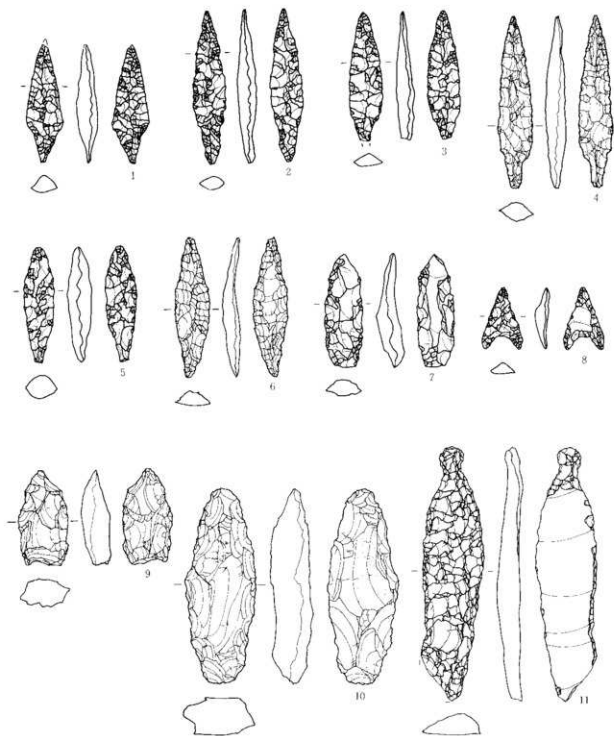


图19 第8号竖穴住居跡出土遺物(6)

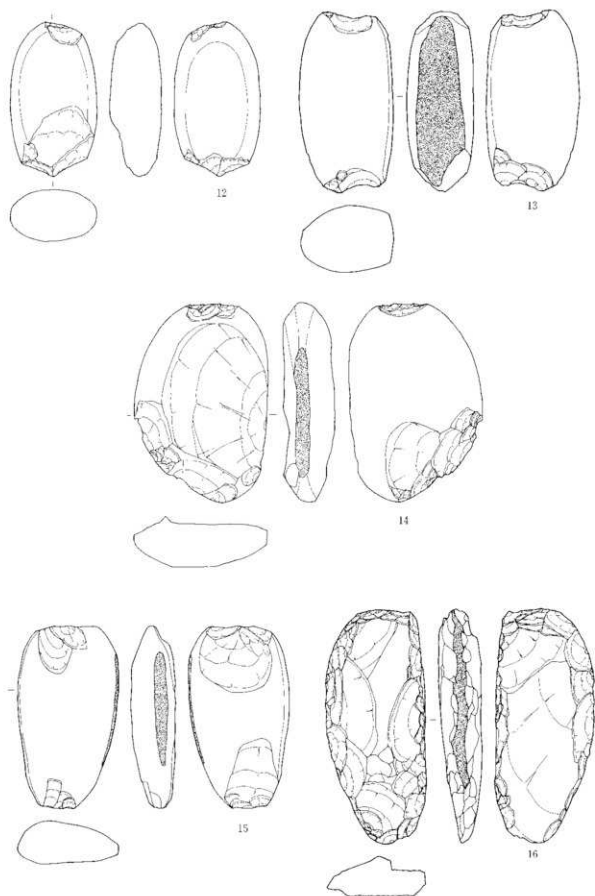


图20 第8号竖穴住居跡出土遺物(7) 0 10cm

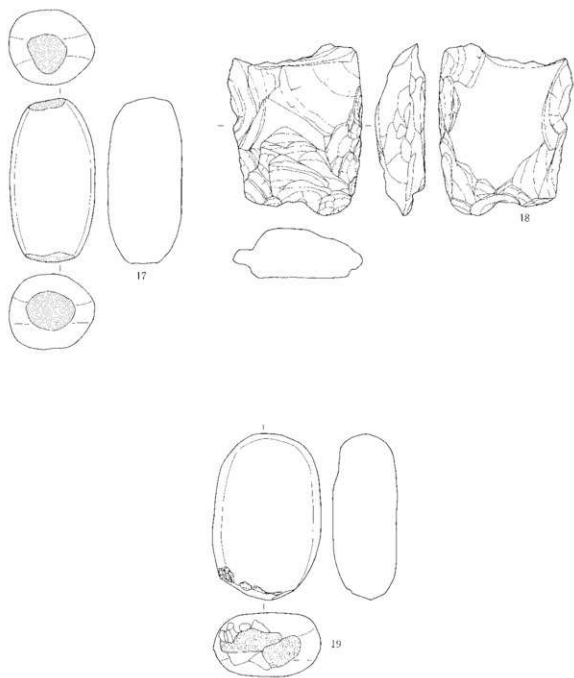


图21 第8号竖穴住居跡出土遺物(8)

0 10cm

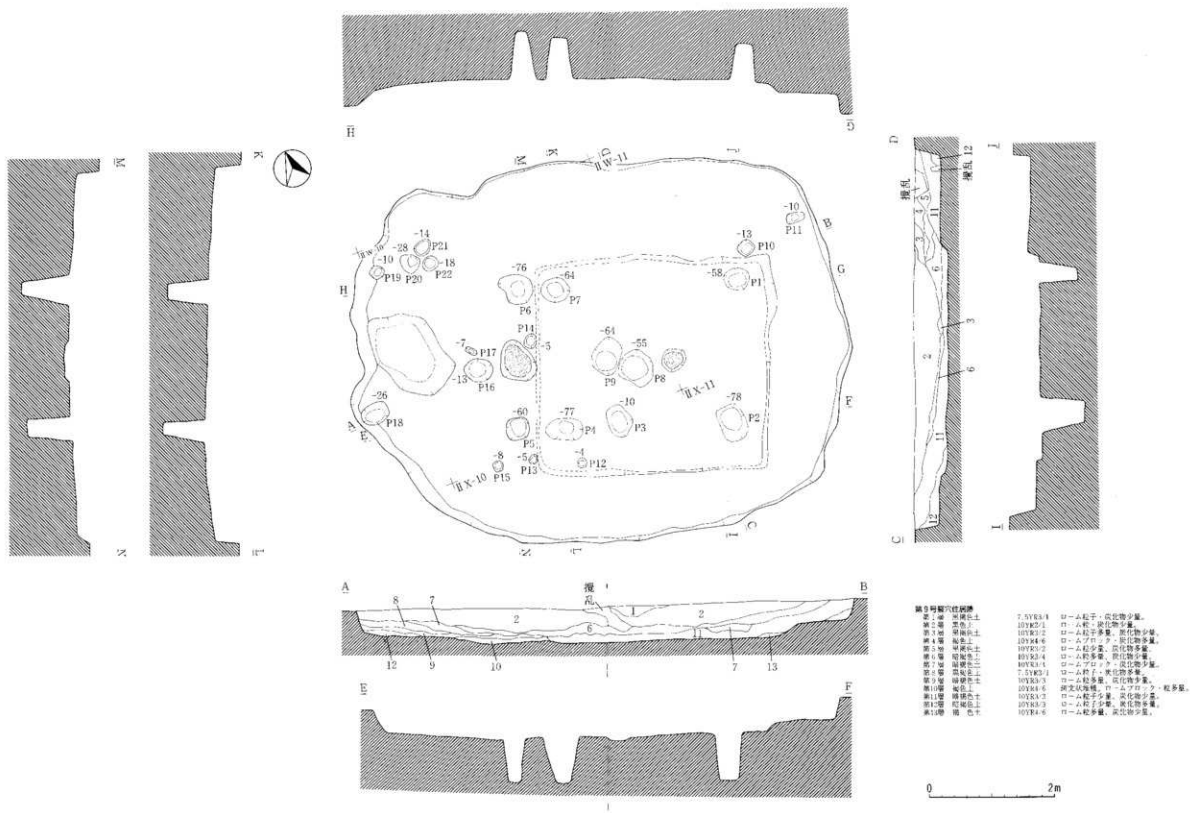


图22 第9号竖穴住居跡

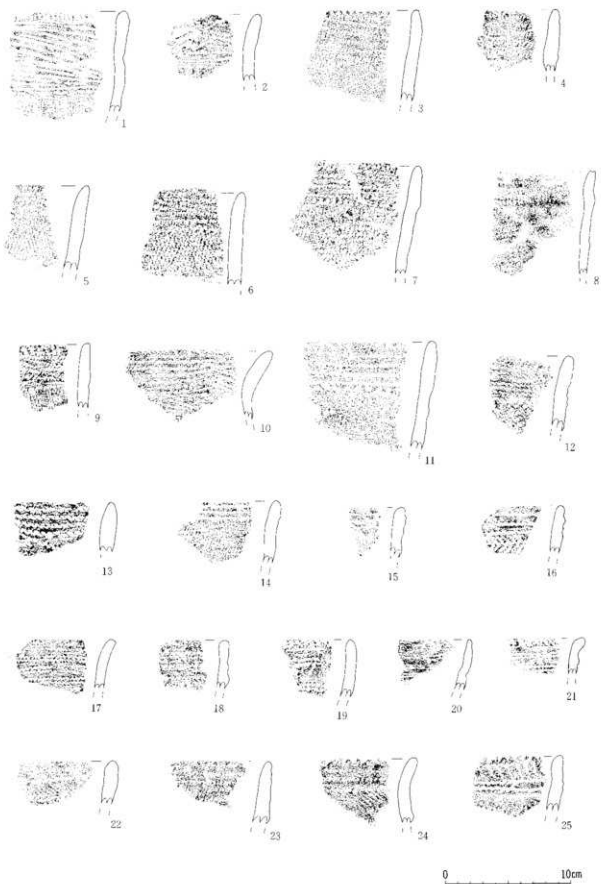


图23 第9号竖穴住居跡出土遺物(1)

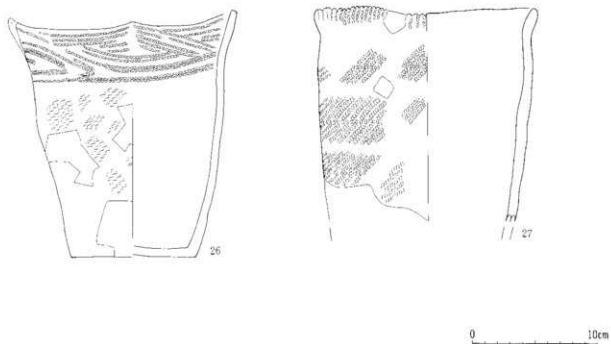


图24 第9号竖穴住居跡出土遺物(2)

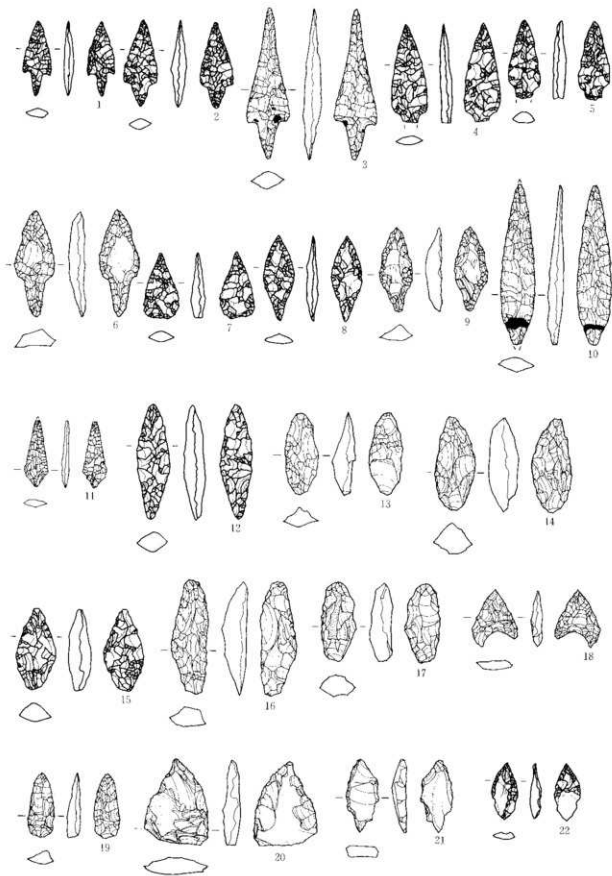


图25 第9号竖穴住居跡出土遺物(3)

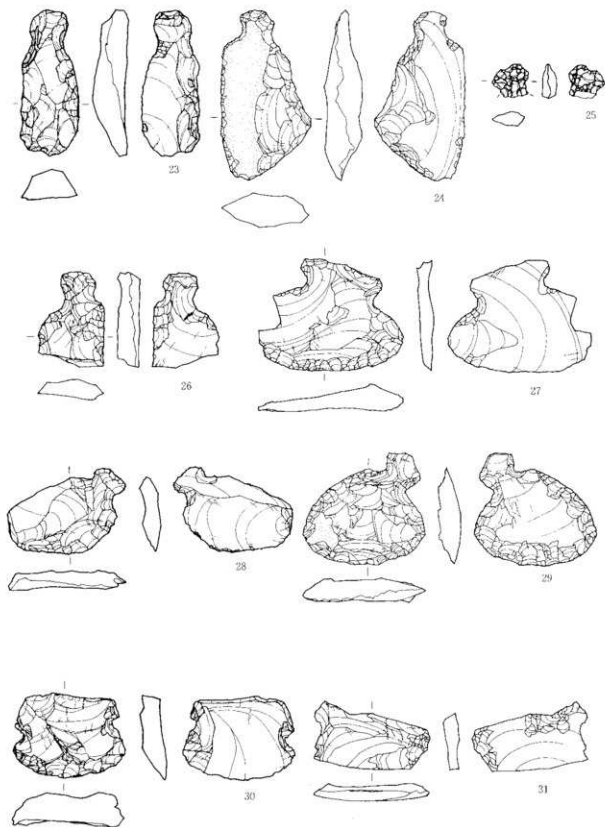


图26 第9号竖穴住居跡出土遺物(4)

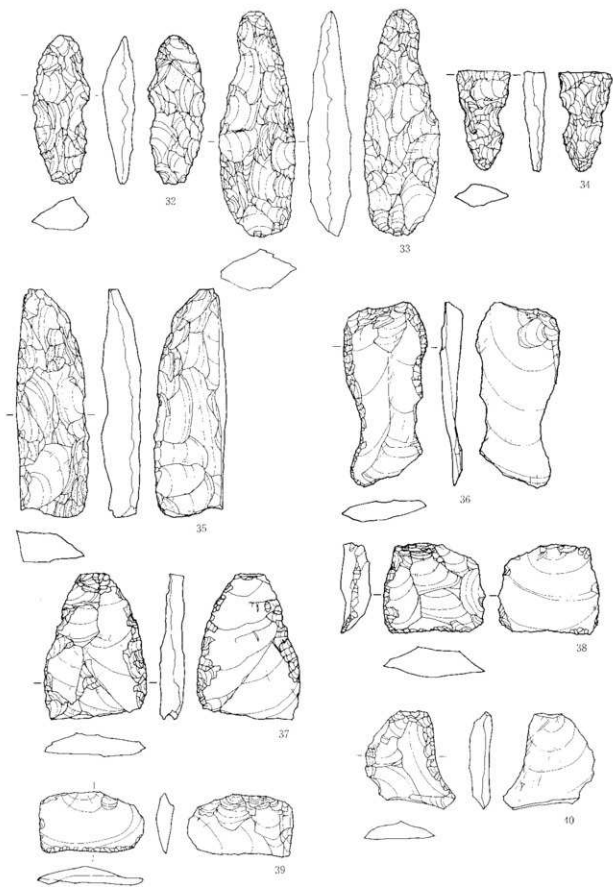


图27 第9号竖穴住居跡出土遺物(5)

0 5cm

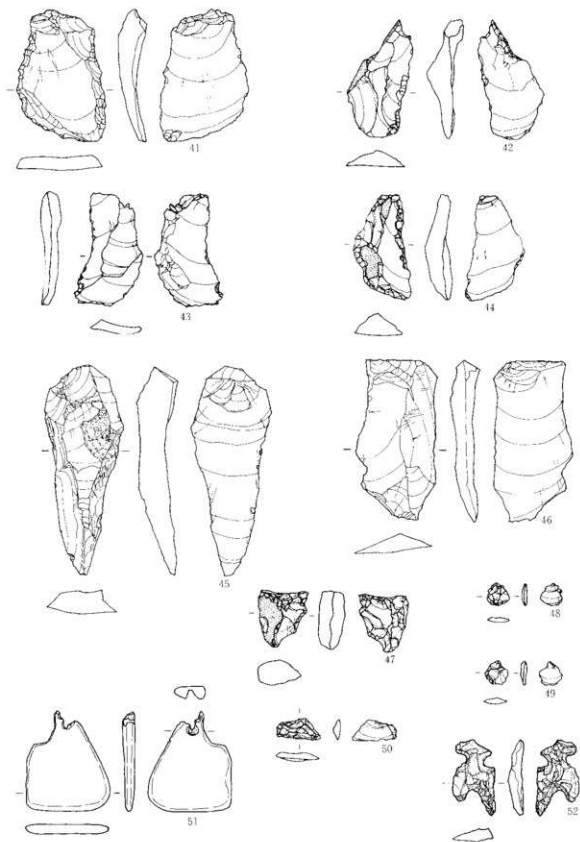


图28 第9号竖穴住居跡出土遺物(6)

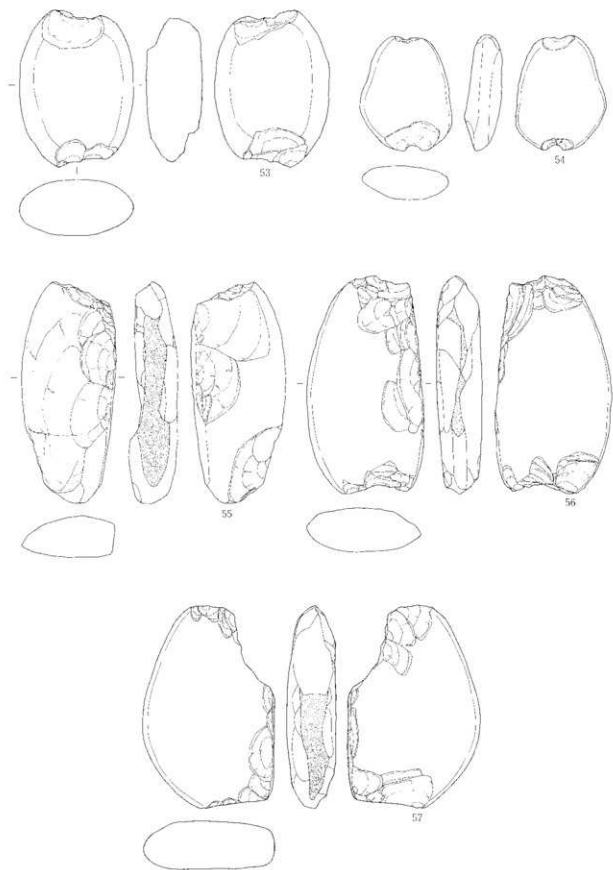
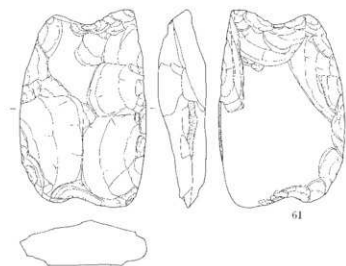
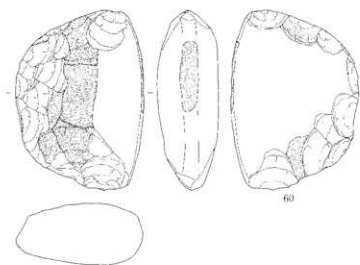
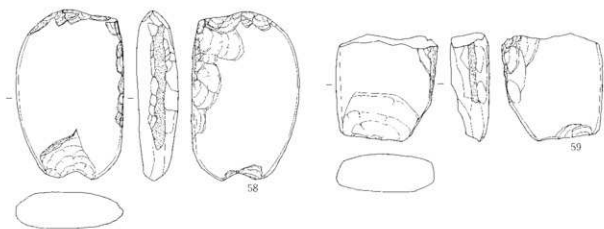


圖29 第9号豎穴住居跡出土遺物(7) 0 10cm



0 ————— 10cm

图30 第9号竖穴住居跡出土遺物(8)

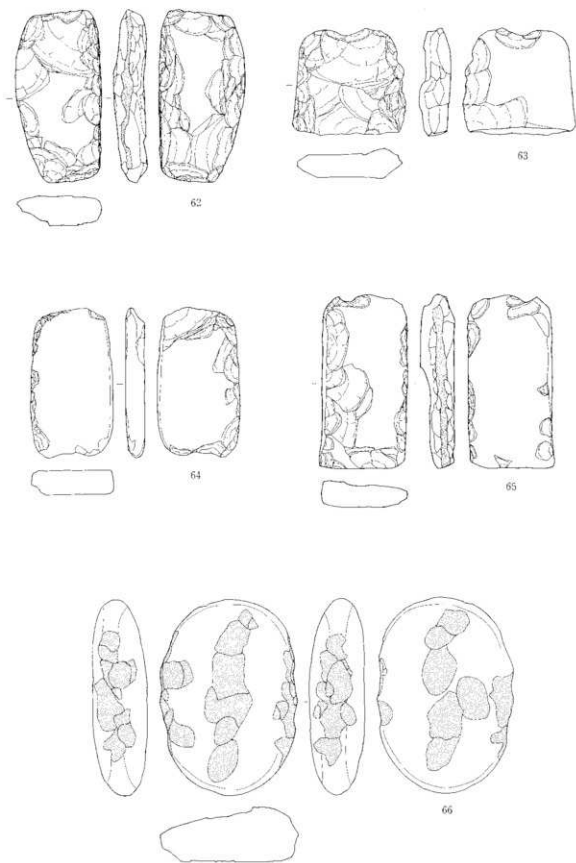
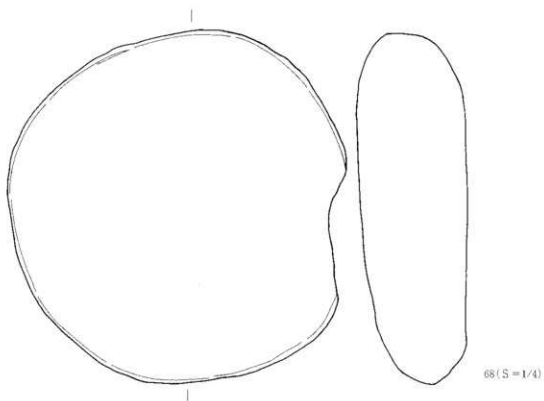
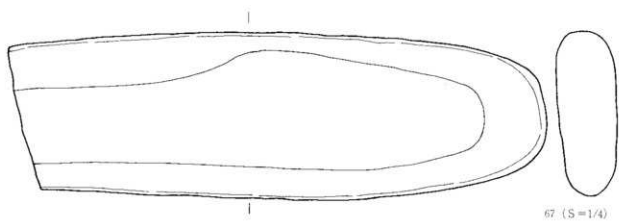


图31 第9号竖穴住居跡出土遺物(9) 0 10cm



(68, 10II)

图32 第9号·第10号竖穴住居跡出土遺物

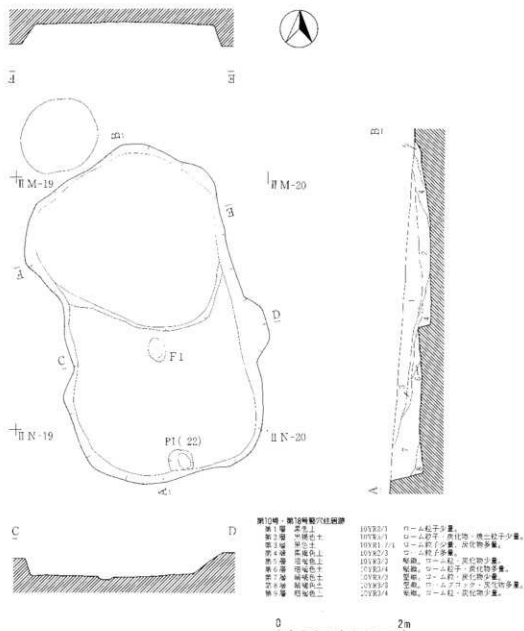


图33 第10号・第18号整穴住居跡

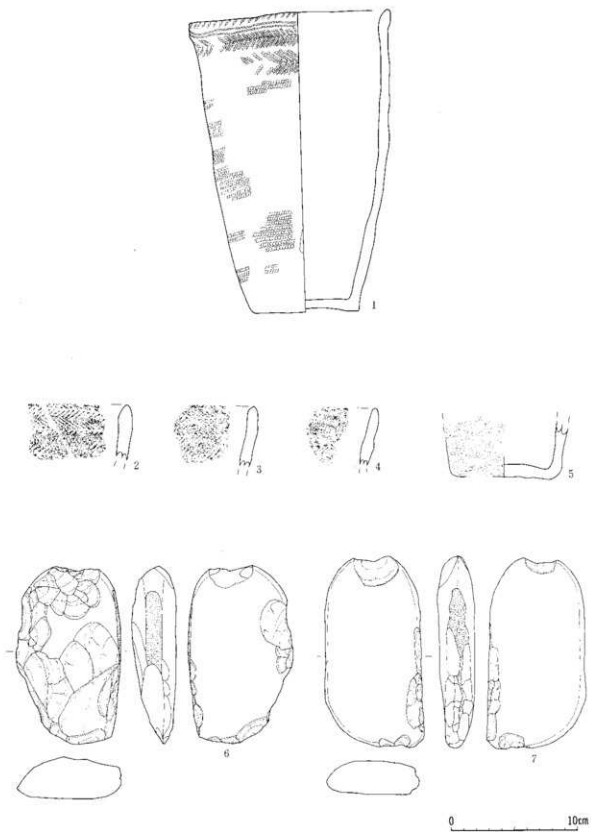


图34 第18号竖穴住居跡出土遺物

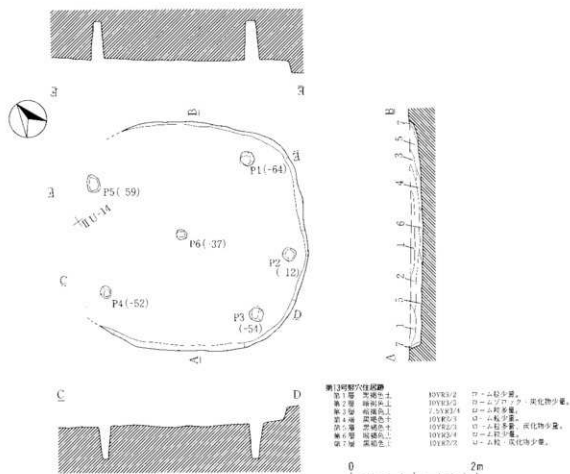


图35 第13号窑穴住居跡

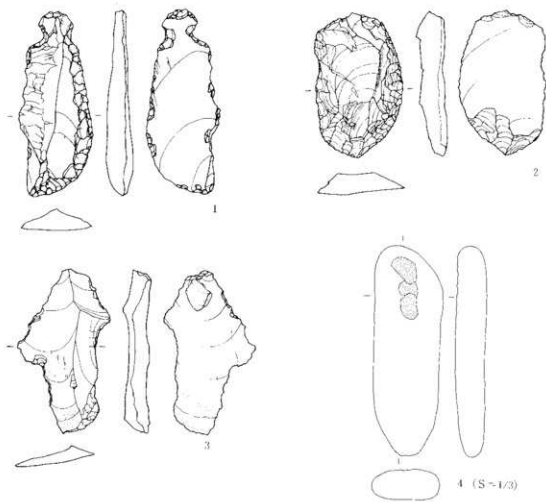


图36 第13号竖穴住居跡出土遺物

0 5cm

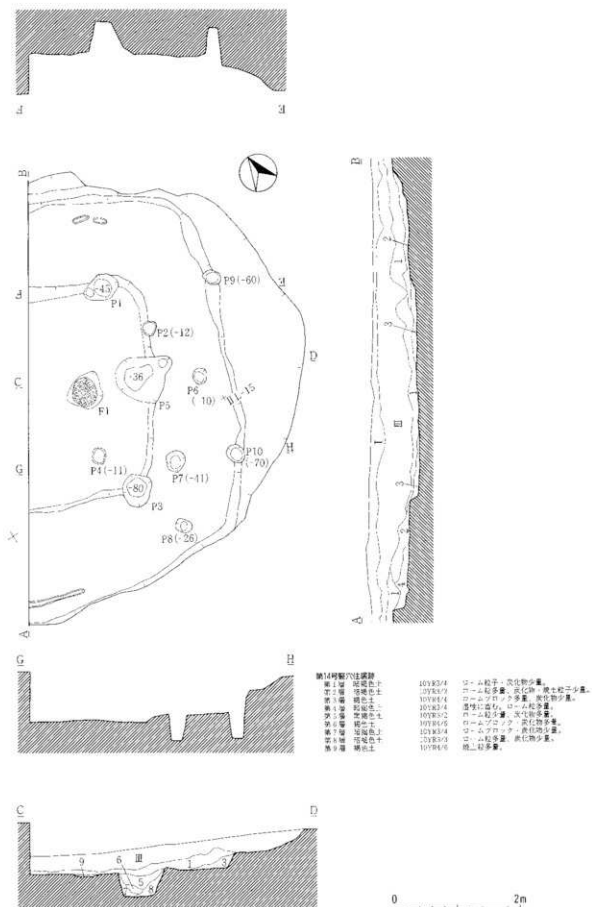


图37 第14号竖穴住居跡

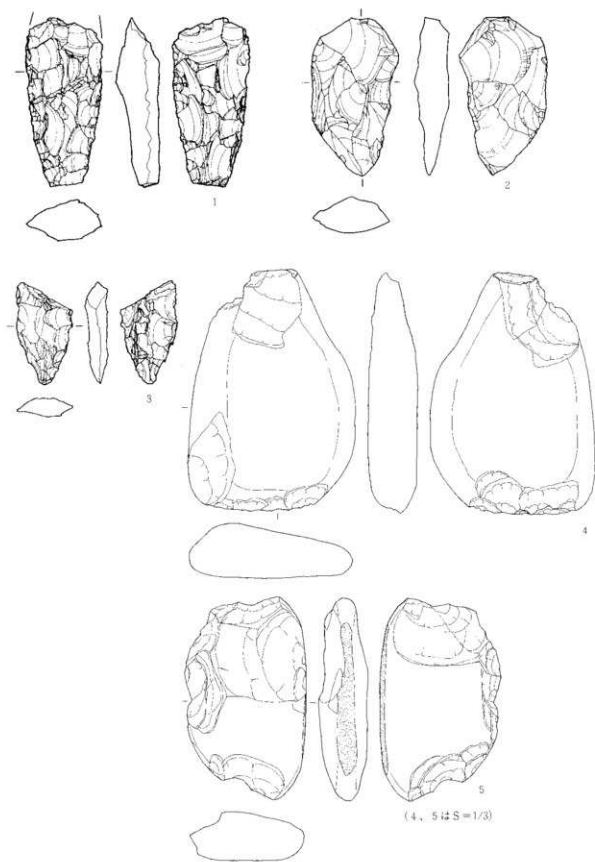
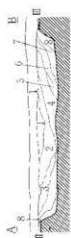
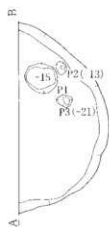


图38 第14号竖穴住居跡出土遺物

0 5cm



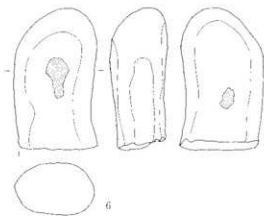
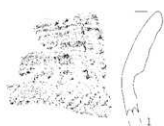
第15号竖穴住居跡

- 第1層 暗赤土
- 第2層 暗赤土上
- 第3層 暗赤土
- 第4層 暗赤土上
- 第5層 暗赤土
- 第6層 暗赤土上
- 第7層 暗赤土
- 第8層 黒褐色土

- 5.5YR5/1 コーム粒子・炭化物多量
- 10YR5/3 コーム粒子少量 炭化物多量
- 10YR5/4 コーム粒子・炭化物少量
- 10YR5/4 コーム粒子・炭化物少量
- 7.5YR4/3 コーム粒子・炭化物少量
- 10YR5/4 コーム粒子・炭化物少量
- 10YR5/4 コーム粒子・炭化物少量
- 10YR2/3 コーム粒子・炭化物多量

0 2m

図39 第15号竖穴住居跡



0 10cm

図40 第15号竖穴住居跡出土遺物

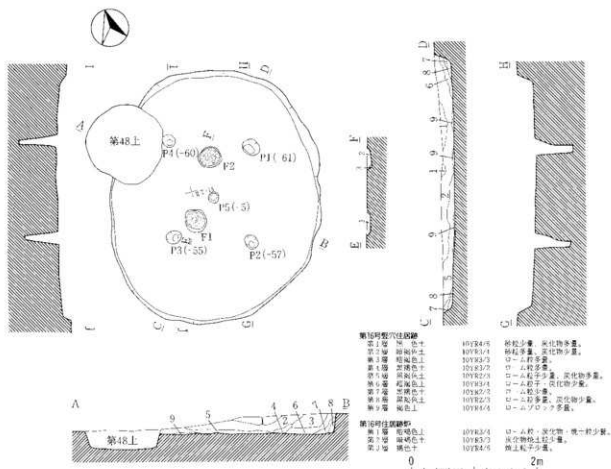


图41 第16号竖穴住居跡

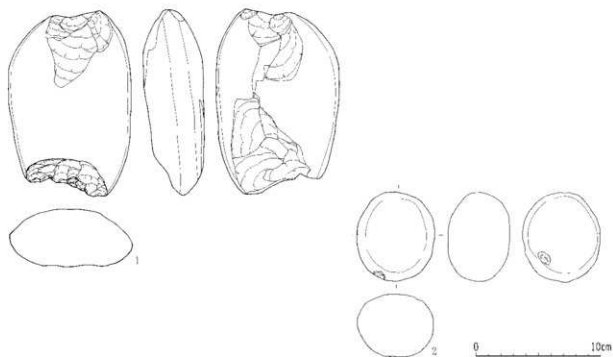


图42 第16号竖穴住居跡出土遺物

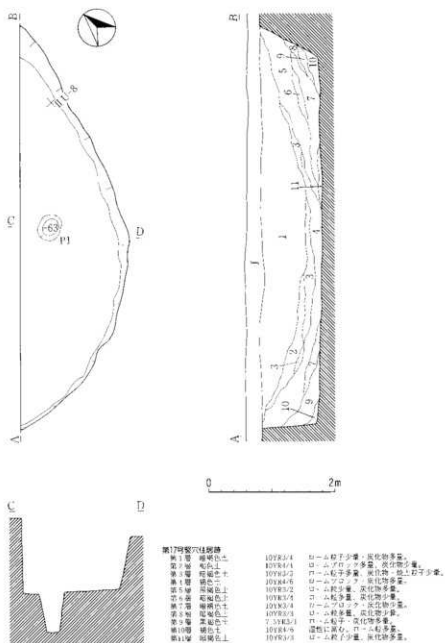
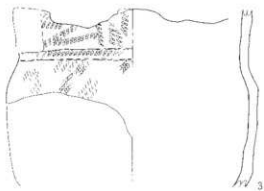
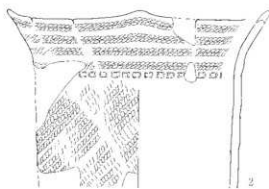
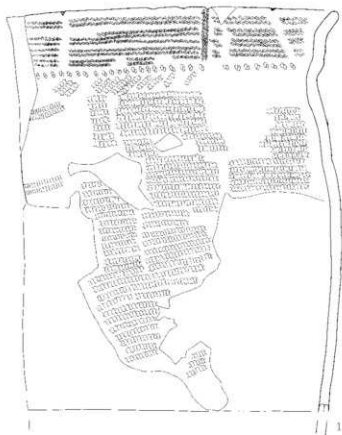


图43 第17号竖穴住居跡



0 10cm

图44 第17号竖穴住居跡出土遺物(1)

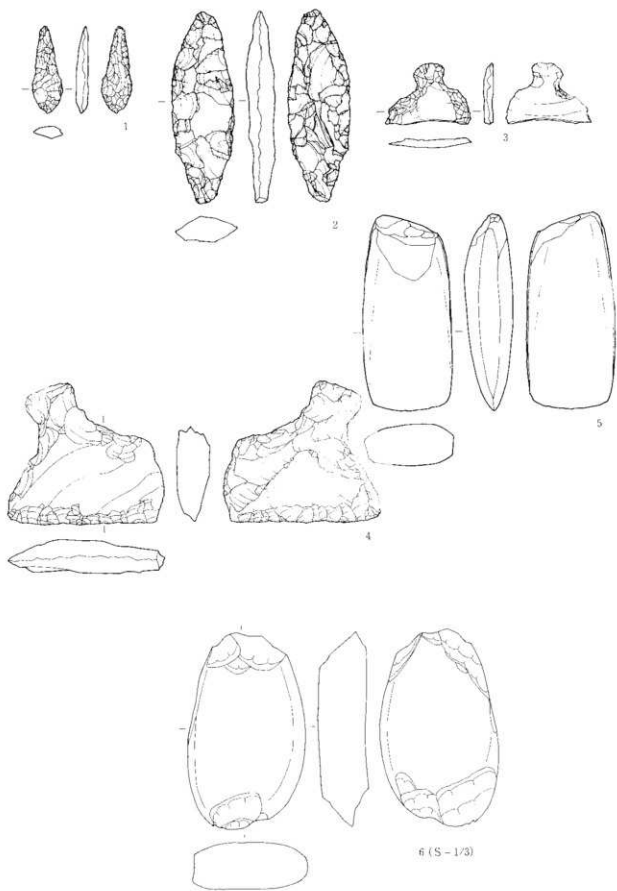


图45 第17号竖穴住居跡出土遺物（2）

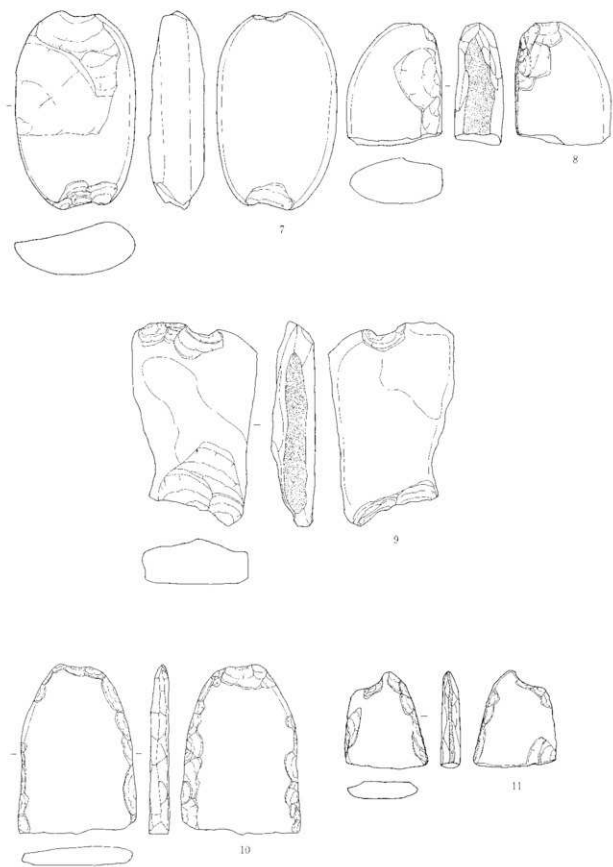


图46 第17号竖穴住居跡出土遺物(3) 0 10cm

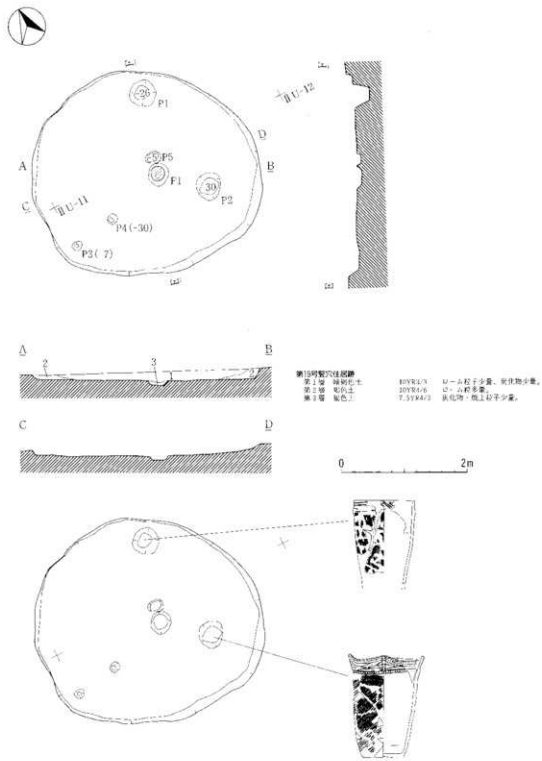


图47 第19号整穴住居跡

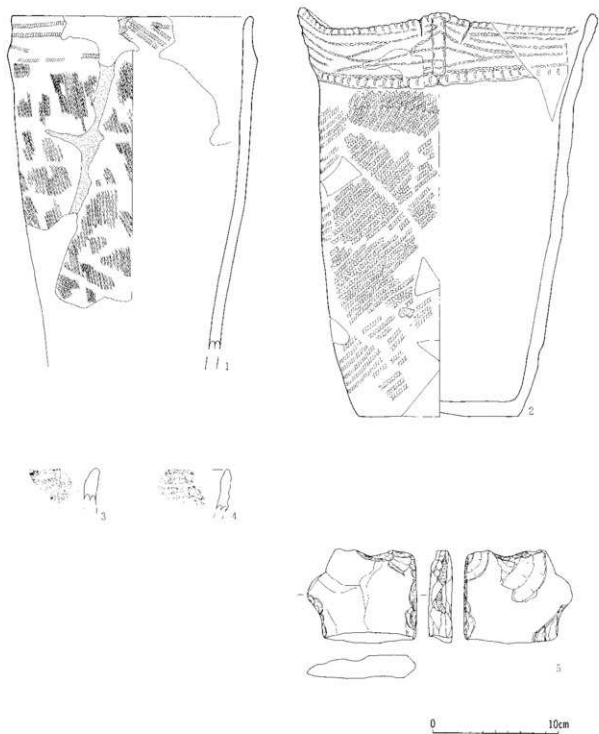


图48 第19号竖穴住居跡出土遺物

2 土 坑

今回の調査で検出した土坑は、67基である。土坑番号は検出または精査に着手した順番に付している。

第1号土坑(図49)

【位置】ⅡE-4・5グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸150cm、短軸136cmのほぼ円形、底部は直径120cmの円形を呈し、確認面からの深さは118cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面からほぼ垂直に立ち上がり、底面は平坦である。

【堆積土】12層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】底面近くより礫が1点出土している。

【小結】逆茂木の跡は検出されていないが、形状から縄文時代の陥し穴と思われる。

第6号土坑(図49・88～90・103)

【位置】ⅡR・S-16・17グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で直径136cm、底部で長軸218cm、短軸200cmの円形を呈し、確認面からの深さは162cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】27層に分層された。自然堆積及び一部人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中よりほぼ完形の土器が6個体出土している。石器類は石鏃Ⅳ類1点と剥片が46点出土している。

【小結】底面近くからの出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第8号土坑(図50・91)

【位置】ⅡR-19・20グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸120cm、短軸108cm、底部で長軸200cm、短軸200cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは190cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】23層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器片が出土している。

【小結】出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第10号土坑 (図50)

【位置】ⅡQ-21グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸133cm、短軸122cm、底部で長軸206cm、短軸200cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは153cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】11層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器片が出土している。

【小結】出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第11号土坑 (図51・104)

【位置】ⅡN・O-23・24グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で直径172cm、底部で長軸210cm、短軸205cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは203cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面は平坦である。

【堆積土】26層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器片が数点出土している。石器は石鏃Ⅲ類a 1点、礫石器第Ⅰ群aが1点出土している。

【小結】出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第12号土坑 (図52)

【位置】ⅡO・P-21・22グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】第33号土坑と切り合い関係にあり、本址の方が新しい。

【平面形・規模】開口部で長軸277cm、短軸242cm、底部で長軸260cm、短軸230cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは105cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面から急に立ち上がり、底面は平坦である。

【堆積土】45層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

〔施設〕なし。

〔出土遺物〕覆土中より土器片が数点出土している。

〔小結〕形状及び出土遺物より縄文時代前期の竪穴状遺構と思われる。

第13号土坑（図53・91・103・104）

〔位置〕ⅡN・O-21・22グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕開口部で長軸318cm、短軸275cm、底部で長軸270cm、短軸230cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは163cmを計測する。

〔壁・底面〕壁は底面から急に立ち上がり、底面は平坦である。

〔堆積土〕29層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

〔施設〕なし。

〔出土遺物〕覆土中より土器片及び石器が出土している。石器類は5点。内訳は石鏃Ⅱ類b 1点、不定形切片石器1点。

〔小結〕形状及び出土遺物より縄文時代前期の竪穴状遺構と思われる。

第14号土坑（図54・91・104）

〔位置〕ⅡK・L-23グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕開口部で長軸206cm、短軸175cm、底部で長軸265cm、短軸242cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは218cmを計測する。

〔壁・底面〕壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕42層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔施設〕なし。

〔出土遺物〕覆土中より土器片が出土している。石器類は47点。内訳は礫石器第Ⅰ群a類1点、第Ⅲ群b類1点。

〔小結〕出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第15号土坑（図55・91）

〔位置〕ⅡJ・K-21グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕開口部で長軸300cm、短軸262cm、底部で長軸256cm、短軸240cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは177cmを計測する。

〔壁・底面〕壁は底面から急に立ち上がり、底面は平坦である。

【堆積土】 27層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土中より土器片及が数点出土している。

【小結】 形状及び出土遺物より縄文時代前期の竪穴状遺構と思われる。

第16号土坑 (図56・91・104)

【位置】 II M・22・23グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部で長軸195cm、短軸167cmの楕円形、底部は直径256cmの円形を呈し、確認面からの深さは205cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 50層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土中より土器片及び礫石器第I群c類が1点出土している。

【小結】 出土遺物より縄文時代前期のフラスコ状土坑と思われる。

第17号土坑 (図57・91)

【位置】 II Q-16グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部で長軸136cm、短軸120cm、底部は長軸200cm、短軸192cmの円形を呈し、確認面からの深さは230cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 22層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土中より土器片が出土している。石器類は石匙I類a 1点、礫石器第III群b類1点出土している。

【小結】 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第19号土坑 (図58・91・103)

【位置】 II J-25グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部で長軸190cm、短軸180cm、底部は長軸232cm、短軸202cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは220cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】55層に分層された。一部人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器片が出土している。石器類は256点出土しているが石鏃Ⅲ類a 1点、両面加工石器c類の他はほとんどがフレイク・チップ類である。

【小結】出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第21号土坑（図59）

【位置】ⅡR-17・18グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸100cm、短軸85cm、底部は長軸270cm、短軸238cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは230cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】28層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器片が出土しているが石器類は出土していない。

【小結】出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第22号土坑（図60・91・103）

【位置】ⅡJ-24・25グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸185cm、短軸178cm、底部は長軸206cm、短軸200cmの円形を呈し、確認面からの深さは152cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】28層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】石器は石鏃Ⅲ類a 1点と、覆土第3層中より出土したほぼ完形の土器に入った剥片・碎片の類209点である。重量は282.9gである。土型の縦長剥片のようなものも散見されるが、多くは何らかの石器を作る際に生じた不要な剥片類と思われる。石材はすべて珪質頁岩であり、石の色彩や混入物の様子を見る限り2、3個体の母岩より生じたと思われる。

【小結】出土遺物より縄文時代前期のフラスコ状土坑と思われる。

第23号土坑（図60・92）

【位置】ⅡM-24グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】 開口部で長軸146cm、短軸140cm、底部は長軸204cm、短軸198cmの円形を呈し、確認面からの深さは180cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 27層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土中より土器片が出土しているが石器類は出土していない。

【小結】 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第24号土坑 (図61・92・105)

【位置】 II L・M-24・25グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部で長軸122cm、短軸112cm、底部は長軸200cm、短軸187cmの円形を呈し、確認面からの深さは140cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 21層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土及び底面より土器片が出土している。石器類は20点出土している。礫石器第II群 a類1点、第III群 a類1点、その他18点である。

【小結】 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第25号土坑 (図61・92・93・105)

【位置】 II S-17・18グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部で長軸110cm、短軸96cm、底部は長軸205cm、短軸182cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは178cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 25層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土17層中より土器片が出土している。石器類は3点出土している。石匙IV類1点、礫石器第I群 d類1点、その他1点である。

【小結】 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第26号土坑 (図62)

【位置】 II P・Q-19・20グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕開口部で直径156cm、底部は長軸252cm、短軸246cmの円形を呈し、確認面からの深さは114cmを計測する。

〔壁・底面〕壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕26層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔施設〕ピット及びテラス部を有し、ピットの深さは45cm、テラス部は比高差10cmを計測する。

〔出土遺物〕覆土中より土器片が出土しているが石器類は出土していない。

〔小結〕出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第27号土坑（図63）

〔位置〕ⅡO-18・19グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕開口部で直径193cm、底部は長軸236cm、短軸204cmの円形を呈し、確認面からの深さは208cmを計測する。

〔壁・底面〕壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕47層に分層された。一部人為堆積の様相を呈する。

〔施設〕なし。

〔出土遺物〕覆土中より土器片が出土しているが石器類は出土していない。

〔小結〕出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第28号土坑（図64・94・106）

〔位置〕ⅡP・Q-20グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕第29号土坑と切り合い関係にあり新旧関係は、本址の方が古い。

〔平面形・規模〕開口部で推定直径130cm、底部は長軸232cm、短軸220cmの円形を呈し、確認面からの深さは132cmを計測する。

〔壁・底面〕壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕18層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔施設〕なし。

〔出土遺物〕底面より上部を欠失した円筒土器が出土している。石器類は石鏃Ⅱ類a 1点、石匙Ⅰ類a 2点が出土している。

〔小結〕出土遺物より縄文時代前期のフラスコ状土坑と思われる。

第29号土坑（図64・106）

〔位置〕ⅡP-20グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

【重複】第28号土坑と切り合い関係にあり新旧関係は、本址の方が新しい。

【平面形・規模】長軸は第28号土坑に切られているが推定160cm、短軸は133cm、確認面からの深さは24cmを計測する。平面形は小判形を呈すると思われる。

【壁・底面】壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】2層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】なし。

【小結】縄文時代中期の土廣墓と思われる。

第31号土坑 (図65)

【位置】ⅡO・P-22グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸122cm、短軸94cm、底部は長軸202cm、短軸190cmのやや円形を呈し、確認面からの深さは120cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】12層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器片が出土しているが石器類は出土していない。

【小結】出土遺物より縄文時代前期のフラスコ状土坑と思われる。

第32号土坑 (図65・106)

【位置】ⅡS-18グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】直径140cmの円形を呈し、確認面からの深さは27cmを計測する。

【壁・底面】壁は北及び東壁がやや急に立ち上がる他は緩やかに立ち上がる。底面多少凸凹している。

【堆積土】5層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】石鏃Ⅱ類a 1点と、フレイクが1点出土している。

【小結】縄文時代の土坑と思われる。

第33号土坑 (図52)

【位置】ⅡO・P-20・21グリッドに位置する。

【確認】第12号土坑底面で確認した。

【重複】第12号土坑と切り合い関係にあり、新旧関係は本址の方が古い。

【平面形・規模】確認面での直径175cm、底部で長軸260cm、短軸240cmのほぼ円形を呈し、確認面か

らの深さは73cmを計測する。

〔壁・底面〕 壁は内向するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 15層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔施設〕 なし。

〔出土遺物〕 覆土中より土器片が出土しているが石器類は出土していない。

〔小結〕 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第35号土坑 (図66)

〔位置〕 II M-14・15グリッドに位置する。

〔確認〕 III a層上面で確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 開口部で長軸260cm、短軸220cm、底部は長軸250cm、短軸215cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは60cmを計測する。

〔壁・底面〕 壁は底面からやや急に立ち上がり、底面は平坦である。

〔堆積土〕 5層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔施設〕 なし。

〔出土遺物〕 覆土中より土器片が出土しているが石器類は出土していない。

〔小結〕 出土遺物から縄文時代の土坑と思われる。

第36号土坑 (図66)

〔位置〕 II L・M-15グリッドに位置する。

〔確認〕 III a層上面で確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 開口部で長軸130cm、短軸124cm、底部は直径202cm、円形を呈し、確認面からの深さは135cmを計測する。

〔壁・底面〕 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 15層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔施設〕 なし。

〔出土遺物〕 覆土中より土器片が出土しているが石器類は出土していない。

〔小結〕 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第39号土坑 (図67・94・95・107)

〔位置〕 II N・O-16グリッドに位置する

〔確認〕 III a層上面で確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 開口部は長軸200cm、短軸150cmの楕円形、底部は長軸212cm、短軸207cmの円形を呈し、確認面からの深さは190cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】20層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器及び礫石器第Ⅰ群bⅠ類2点(1、2)、d類1点(3)が出土している。1は浅深鉢土器。4個の突起を有する。I唇下部に2条の燃糸圧痕を施文する。胴部は全体にLR斜縄文を施文する。1個の突起下部に2条の「ハ」の字状に沈線文を施文する。胎土は黒雲母を含んだ砂粒を含むきめ細かい粘土で、焼成は良好。

【小結】出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第40号土坑 (図68・95・108)

【位置】ⅡR・S-15グリッドに位置する

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸142cm、短軸126cm、底部は長軸214cm、短軸196cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは208cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】20層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器片及び石鏃Ⅱ類bが3点出土している。

【小結】出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第41号土坑 (図68)

【位置】ⅡQ・R-18・19グリッドに位置する

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】長軸177cm、短軸144cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは78cmを計測する。

【壁・底面】壁は北壁で底面から急に立ち上がり、底面は平坦である。

【堆積土】8層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器片が数点出土しているが石器類は出土していない。

【小結】縄文時代の土坑と思われる。

第42号土坑 (図69)

【位置】ⅡQ・R-19グリッドに位置する

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸184cm、短軸170cm、底部は長軸250cm、短軸238cmのほぼ円形を呈し、

確認面からの深さは172cmを計測する。

〔壁・底面〕壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕15層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔施設〕なし。

〔出土遺物〕覆土中より土器片及び礫石器第Ⅵ群が1点出土している。

〔小結〕出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第45号土坑（図69）

〔位置〕ⅡQ-13・14グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕開口部で長軸98cm、短軸95cm、底部は長軸170cm、短軸160cmの円形を呈し、確認面からの深さは123cmを計測する。

〔壁・底面〕壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕28層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔施設〕ほぼ中央部に長軸36cm、短軸32cm、深さ16cmのピットを有する。

〔出土遺物〕覆土中より土器片が出土しているが石器類は出土していない。

〔小結〕出土遺物より縄文時代のフラスコ状土坑と思われる。

第46号土坑（図70・95・108）

〔位置〕ⅡQ・R-20・21グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕開口部で長軸184cm、短軸160cm、底部は直径250cmの円形を呈し、確認面からの深さは178cmを計測する。

〔壁・底面〕壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕16層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔施設〕ほぼ中央部に長軸36cm、短軸32cm、深さ16cmのピットを有する。

〔出土遺物〕覆土中より土器片及び石匙Ⅱ類b1点、剃片が3点出土している。

〔小結〕出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第47号土坑（図70）

〔位置〕ⅡT-16グリッドに位置する。

〔確認〕Ⅲa層上面で確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕開口部で長軸90cm、短軸87cmの円形を呈し、確認面からの深さは32cmを計測する。

〔壁・底面〕壁は底面からやや急に立ち上がり、底面は鍋底状を呈する。

【堆積土】 3層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 図示し得るような遺物は出土していない。

【小結】 縄文時代の土坑と思われる。

第48号土坑（図70・95）

【位置】 II S-13グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 第16号竪穴住居跡と切り合い関係にあり、新旧関係は本址の方が新しい。

【平面形・規模】 開口部で長軸122cm、短軸116cmの円形を呈し、確認面からの深さは30cmを計測する。

【壁・底面】 壁は底面からやや急に立ち上がり、底面は平坦である。

【堆積土】 9層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土6・7層中より土器片が1点と円礫が1点出土している。

【小結】 縄文時代の土廣墓と思われる。

第51号土坑（図71・96）

【位置】 II R-13・14グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 第52号土坑と切り合い関係にあり上部では本址の方が新しく下部では古い。

【平面形・規模】 開口部で推定長軸226cm、短軸158cmの楕円形、底部は直径230cmの円形を呈し、確認面からの深さは169cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 46層に分層された。一部人為堆積の様相を呈する。

【施設】 ほぼ中央部に長軸36cm、短軸32cm、深さ16cmのビットを有する。

【出土遺物】 覆土第1層中より略完形の土器が1点出土している。また、覆土2層中より土器片が数点出土している。

【小結】 出土遺物より縄文時代中期以前のフラスコ状土坑と思われる。

第52号土坑（図71・109）

【位置】 II R・S-12・13グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 第51号土坑と切り合い関係にあり中層部では新しく上層部では古い。

【平面形・規模】 一部切り合いが認められるが、長軸310cm、短軸304cmの円形を呈し、確認面からの深さは44cmを計測する。

【壁・底面】 壁は底面から急に立ち上がり、底面はほぼである。

【堆積土】 13層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より礫石器第Ⅶ群が1点出土している。

【小結】形状より縄文時代の堅穴状遺構と思われる。

第53号土坑（図72・97）

【位置】Ⅱ O・P-23グリッドに位置する。

【確認】Ⅲ a層上面で確認した。

【重複】第7住と切り合い関係にあり新旧関係は本址の方が新しい。

【平面形・規模】開口部で直径96cm、底部は直径194cmの円形を呈し、確認面からの深さは154cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】19層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器片が出土している。

【小結】出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第54号土坑（図72）

【位置】Ⅱ P・Q-14・15グリッドに位置する。

【確認】Ⅲ a層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸226cm、短軸176cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは107cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面からやや急に立ち上がり、底面はやや平坦である。

【堆積土】16層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】図示し得るような遺物は出土していない。

【小結】縄文時代の土坑と思われる。

第57号土坑（図73・110～113）

【位置】Ⅱ K-22・23グリッドに位置する。

【確認】Ⅲ a層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部は長軸204cm、短軸148cmの楕円形、底部は直径200cmの円形を呈し、確認面からの深さは170cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】21層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】 図示し得るような土器は出土していない。覆土3～6層の開口部より打製石斧様の両面加工石器が7点出土している。

【小結】 縄文時代前期～中期にかけてのフラスコ状土坑と思われる。

第58号土坑（図74・98・99・114・115）

【位置】 II M・N-18グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部は直径136cmの円形、底部は長軸275cm、短軸240cmの不整形を呈し、確認面からの深さは226cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 34層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土中より土器片が出土している。石器類は50点出土している。内訳は石鏃Ⅳ類1点、石槍1点、石匙Ⅱ類a1点、磨製石斧c類1点（擦り切り磨斧の未製品が破損したもの）、礫石器第Ⅰ群a親1点、第Ⅰ群c1類点、第Ⅰ群d1点、第Ⅲ群b1点、その他である。

【小結】 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第60号土坑（図75・100）

【位置】 II P・Q-21・22グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 本址は第7号竪穴住居跡と切り合い関係にあり新旧関係は本址の方が新しい。

【平面形・規模】 開口部は直径136cmの円形、底部は長軸275cm、短軸240cmの不整形を呈し、確認面からの深さは226cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 44層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土中より土器片が出土している。

【小結】 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第61号土坑（図76）

【位置】 II L・M-18・19グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部で長軸130cm、短軸116cm、底部は長軸188cm、短軸166cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは114cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】17層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】図示し得るような遺物は出土していない。

【小結】形状より縄文時代のフラスコ状土坑と思われる。

第63号土坑（図76・101）

【位置】ⅡM-21グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸200cm、短軸166cmの楕円形、底部は直径220cmの円形を呈し、確認面からの深さは192cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】28層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】土器片が数点出土しているが図示し得たのは1点である。

【小結】出土遺物より縄文時代前期のフラスコ状土坑と思われる。

第64号土坑（図101）

【位置】ⅡR-16、S-15・16グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部は長軸153cm、短軸134cm、底部は長軸248cm、短軸210cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは170cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】26層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】南東隅にピット及び張り出し部を有する。

【出土遺物】覆土中より土器片が出土している。

【小結】出土遺物より縄文時代前期のフラスコ状土坑と思われる。

第65号土坑（図77）

【位置】ⅡQ-18グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸136cm、短軸116cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは50cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面からほぼ垂直に立ち上がり、一部オーバーハングする。底面は平坦である。

【堆積土】8層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 なし。

【小結】 縄文時代の土坑と思われる。

第66号土坑 (図77)

【位置】 II R-14・15グリッドに位置する。

【確認】 IIIa層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部は長軸125cm、短軸110cm、底部は長軸186cm、短軸176cmの円形を呈し、確認面からの深さは164cmを計測する。

【壁・底面】 壁は緩やかな括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 17層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 図示し得るような遺物は出土していない。

【小結】 形状より縄文時代のフラスコ状土坑と思われる。

第67号土坑 (図78・118)

【位置】 II R-15・16グリッドに位置する。

【確認】 IIIa層上面で確認した。

【重複】 第68号土と切り合い関係にあり、本址の方が新しい。

【平面形・規模】 開口部は直径127cm、底部は長軸185cm、短軸168cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは140cmを計測する。

【壁・底面】 壁は緩やかな括れを有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 14層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土中より土器片及び石槍1点、石匙I類a1点が出土している。

【小結】 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第68号土坑 (図78・118)

【位置】 II R-15・16グリッドに位置する。

【確認】 IIIa層上面で確認した。

【重複】 第67号土と切り合い関係にあり、本址の方が古い。

【平面形・規模】 第67号土に切られているため長軸は不明。短軸は125cm、深さは16cmを計測し、楕円形を呈するものと思われる。

【壁・底面】 壁はやや急に立ち上がり、底面は平坦である。

【堆積土】 1層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】石鏃Ⅱ類aが3点と環状石製品が1点出土している。

【小結】縄文時代の土廣墓と思われる。

第69号土坑（図78）

【位置】ⅡP・Q-19グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸122cm、短軸86cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは22cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面からやや急に立ち上がり、底面は平坦である。

【堆積土】6層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】出土していない。

【小結】縄文時代の土坑と思われる。

第71号土坑（図79）

【位置】ⅡP-20グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】長軸87cm、短軸68cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは17cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面からやや急に立ち上がり、底面は平坦である。

【堆積土】6層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】出土していない。

【小結】縄文時代の土坑と思われる。

第73号土坑（図79・101・118）

【位置】ⅡQ-20グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部は長軸170cm、短軸104cm、底部は長軸252cm、短軸206cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは172cmを計測する。

【壁・底面】壁は確認面が括れ部となるフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】33層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】覆土中より土器片と石鏃Ⅱ類c 1点が出土している。

【小結】出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第74号土坑 (図80)

【位置】ⅡQ-18・19グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸172cm、短軸140cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは48cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面から緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】11層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】遺物は出土していない。

【小結】縄文時代の土坑と思われる。

第75号土坑 (図80)

【位置】ⅡP-21グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】長軸248cm、短軸90cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは14cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面から緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】11層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】遺物は出土していない。

【小結】縄文時代の土坑と思われる。

第76号土坑 (図80)

【位置】ⅡR-17グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】長軸132cm、短軸115の楕円形を呈し、確認面からの深さは27cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面からやや急に立ち上がり、南壁で一部オーバーハングする。底面はほぼ平坦である。

【堆積土】12層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】遺物は出土していない。

【小結】縄文時代の土坑と思われる。

第77号土坑 (図81)

【位置】ⅡR・S-19グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部は長軸164cm、短軸140cm、底部は長軸187cm、短軸178cmの円形を呈し、確認面からの深さは240cmを計測する。

【壁・底面】壁は緩やかな括れ部を有するフラスコ状を呈し、底面は内側にやや傾斜する。

【堆積土】32層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】中央部に直径35cmのピットを有する。底面からの深さは25cmを計測する。

【出土遺物】覆土中より土器片が出土している。

【小結】出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第78号土坑（図81）

【位置】ⅡP-12・13グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸286cm、短軸140cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは96cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面からやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】12層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】なし。

【小結】縄文時代の土坑と思われる。

第85号土坑（図84）

【位置】ⅡL・M-16グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】本址は第20号竪穴住居跡と切り合い関係にあり新旧関係は不明。

【平面形・規模】開口部で長軸142cm、短軸96cmの楕円形を呈し、底部は長軸192cm、短軸186cmの円形を呈し、確認面からの深さは105cmを計測する。

【壁・底面】壁は括れ部を有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】22層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】両面加工石器Ⅲ類c 1点、礫石器第V群 1点が出土している。

【小結】縄文時代のフラスコ状土坑と思われる。

第86号土坑（図84）

【位置】ⅡM・N-16グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】 開口部で長軸148cm、短軸126cmの楕円形、底部は長軸216cm、短軸208cmの円形を呈し、確認面からの深さは158cmを計測する。

【壁・底面】 壁は括れ部を有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 31層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 図示し得るような遺物は出土していない。

【小結】 縄文時代のフラスコ状土坑と思われる。

第87号土坑 (図83)

【位置】 II N-22グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部で直径64cm、底部は直径186cmの円形を呈し、確認面からの深さは123cmを計測する。

【壁・底面】 壁は確認面に括れ部を有するフラスコ状を呈し、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 20層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 石鏃 I 類 a 1点が出土している。

【小結】 形状より縄文時代のフラスコ状土坑と思われる。

第88号土坑 (図83)

【位置】 II N-22グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部で長軸286cm、短軸140の楕円形を呈し、底部は長軸187cm、短軸178cmの円形を呈し、確認面からの深さは96cmを計測する。

【壁・底面】 壁は底面からやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 13層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 図示し得るような遺物は出土していない。

【小結】 形状より縄文時代のフラスコ状土坑と思われる。

第91号土坑 (図116)

【位置】 II S-17グリッドに位置する。

【確認】 III a層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部で長軸286cm、短軸140の楕円形を呈し、確認面からの深さは96cmを計測する。

〔壁・底面〕 壁は底面からやや急に立ち上がり、南壁が一部オーバーハングする。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 8層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

〔施設〕 なし。

〔出土遺物〕 礫石器第Ⅰ群 b 1 類 1 点、第Ⅲ群 a 類 1 点、b 類 1 点出土している。

〔小結〕 縄文時代の土坑と思われる。

第92号土坑（図85）

〔位置〕 Ⅱ O・P-20グリッドに位置する。

〔確認〕 Ⅲ a層上面で確認した。

〔重複〕 第93号土と切り合い関係にあり新旧関係は本址の方が新しい。

〔平面形・規模〕 開口部で長軸128cm、短軸112、底部は長軸200cm、短軸185cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは183cmを計測する。

〔壁・底面〕 壁は底面からやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 13層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

〔施設〕 なし。

〔出土遺物〕 図示し得るような遺物は出土していない。

〔小結〕 形状より縄文時代のフラスコ状土坑と思われる。

第93号土坑（図85）

〔位置〕 Ⅱ P-20グリッドに位置する。

〔確認〕 Ⅲ a層上面で確認した。

〔重複〕 第92号土と切り合い関係にあり新旧関係は本址の方が古い。

〔平面形・規模〕 開口部は長軸160cm、短軸146cm、底部は長軸189cm、短軸182cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは40cmを計測する。

〔壁・底面〕 壁は確認面に括れ部を有するフラスコ状を呈し、底面は平坦である。

〔堆積土〕 12層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

〔施設〕 なし。

〔出土遺物〕 覆土中より土器片が出土している。

〔小結〕 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第94号土坑（図86・116）

〔位置〕 Ⅱ M・N-22グリッドに位置する。

〔確認〕 Ⅲ a層上面で確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 開口部で長軸128cm、短軸112、底部は長軸200cm、短軸185cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは183cmを計測する。

【壁・底面】 壁は底面からやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 13層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 石器類5点が出土。内訳は石匙Ⅰ類a 1点、礫石器第Ⅱ群d 1点、その他である。

【小結】 形状より縄文時代のフラスコ状土坑と思われる。

第95号土坑 (図86・102)

【位置】 ⅡG・H-28・29グリッドに位置する。

【確認】 Ⅲa層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 開口部は長軸160cm、短軸146cm、底部は長軸189cm、短軸182cmの円形を呈し、確認面からの深さは40cmを計測する。

【壁・底面】 壁は確認面に括れ部を有するフラスコ状を呈し、底面は平坦である。

【堆積土】 21層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土中より土器片が出土している。

【小結】 出土遺物より縄文時代中期のフラスコ状土坑と思われる。

第96号土坑 (図87)

【位置】 ⅠQ・R-9グリッドに位置する。

【確認】 第11号住(平安時代)床面で確認した。

【重複】 第11号住(平安時代)と切り合い関係にあり本址の方が古い。

【平面形・規模】 開口部は長軸176cm、短軸168cm、底部は長軸204cm、短軸198cmの円形を呈し、確認面からの深さは220cmを計測する。

【壁・底面】 壁は緩やかな括れ部を有するフラスコ状を呈し、底面は平坦である。

【堆積土】 27層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】 中央部に直径25cmのビットを有する。底面からの深さは22cmを計測する。

【出土遺物】 遺物は出土していない。

【小結】 形状より縄文時代のフラスコ状土坑と思われる。

第82号土坑 (図82・101・109)

【位置】 ⅡL・M-18・19グリッドに位置する。

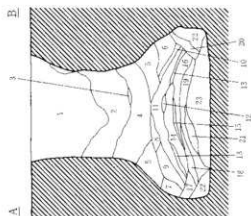
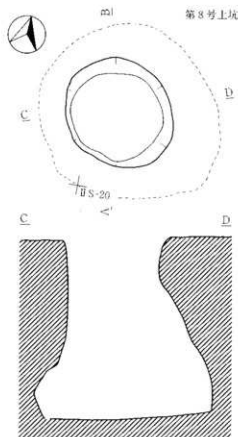
【確認】 Ⅲa層上面で確認した。

【重複】 なし。

【平面形・規模】 長軸324cm、短軸292cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは50cmを計測する。

【壁・底面】 壁は西壁を除きやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】 10層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

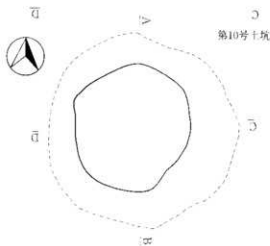
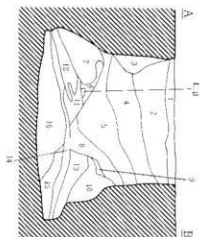


第8号土坑

第1层	灰褐色土	10YR3/3
第2层	灰褐色土	10YR3/2
第3层	灰褐色土	10YR3/2
第4层	暗褐色土	10YR3/3
第5层	暗褐色土	10YR3/3
第6层	暗褐色土	10YR3/3
第7层	暗褐色土	10YR3/3
第8层	暗褐色土	10YR3/3
第9层	暗褐色土	10YR3/2
第10层	暗褐色土	10YR3/6
第11层	暗褐色土	10YR3/3
第12层	暗褐色土	10YR3/4
第13层	暗褐色土	10YR3/6
第14层	暗褐色土	10YR3/3
第15层	暗褐色土	10YR3/3
第16层	暗褐色土	10YR3/3

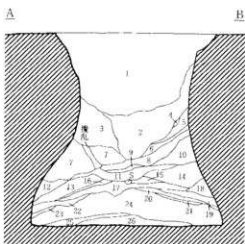
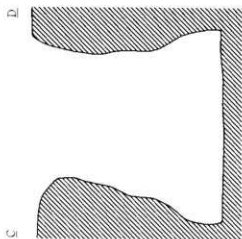
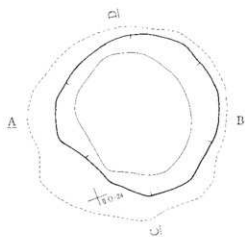
第10号土坑

第1层	暗褐色土	10YR3/3
第2层	暗褐色土	10YR3/3
第3层	暗褐色土	10YR2/3
第4层	暗褐色土	10YR3/3
第5层	暗褐色土	10YR3/4
第6层	暗褐色土	10YR3/3
第7层	暗褐色土	10YR3/3
第8层	暗褐色土	10YR3/3
第9层	暗褐色土	10YR2/2
第10层	暗褐色土	10YR3/3
第11层	暗褐色土	10YR3/4
第12层	1:1.5 灰褐色土	10YR4/3
第13层	暗褐色土	10YR3/4
第14层	1:1.5 暗褐色土	10YR3/3
第15层	暗褐色土	7.5YR3/4
第16层	暗褐色土	7.5YR3/3



0 2m

图50 第8号·第10号土坑



第11号土坑

第1层	灰褐色土	10YR2/2
第2层	暗褐色土	10YR2/3
第3层	暗褐色土	10YR2/3
第4层	灰褐色土	10YR2/3
第5层	灰褐色土	10YR2/4
第6层	灰褐色土	10YR2/2
第7层	暗褐色土	10YR2/3
第8层	暗褐色土	10YR2/3
第9层	暗褐色土	10YR2/3
第10层	褐色土	10YR4/6
第11层	灰褐色土	10YR2/2
第12层	灰褐色土	10YR2/2
第13层	暗褐色土	10YR2/4
第14层	暗褐色土	10YR2/6
第15层	暗褐色土	10YR2/2
第16层	暗褐色土	10YR2/3
第17层	暗褐色土	10YR2/4
第18层	暗褐色土	10YR2/2
第19层	暗褐色土	10YR2/3
第20层	暗褐色土	10YR2/3
第21层	暗褐色土	10YR2/2
第22层	暗褐色土	10YR2/4
第23层	暗褐色土	10YR2/4
第24层	暗褐色土	10YR2/3
第25层	暗褐色土	10YR2/3
第26层	暗褐色土	10YR2/4

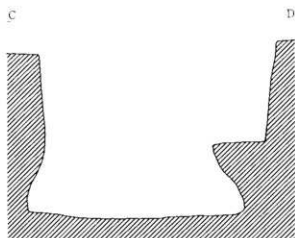
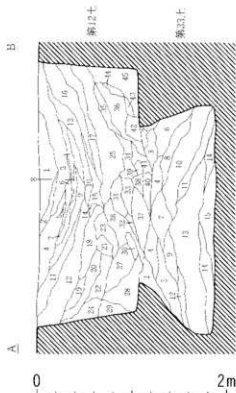
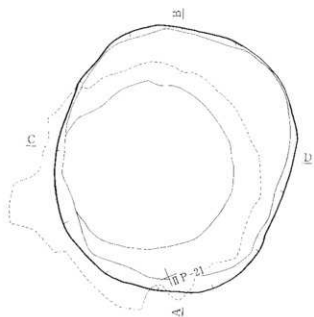
0 2m

图51 第11号土坑

110-21



第12·33号土坑



第12号土坑

第1层	灰黄色土	10YR4.7/1
第2层	灰黄色土	10YR4.7/1
第3层	灰黄色土	10YR4.7/1
第4层	黄褐色土	10YR5.7
第5层	黄褐色土	10YR5.7
第6层	灰黄色土	10YR5.7
第7层	灰色土	10YR4.7/1
第8层	暗褐色土	10YR3.7
第9层	灰黄色土	10YR5.7
第10层	暗褐色土	10YR3.7
第11层	暗褐色土	10YR3.7
第12层	暗褐色土	10YR3.7
第13层	暗褐色土	10YR3.7
第14层	暗褐色土	10YR3.7
第15层	暗褐色土	10YR3.7
第16层	暗褐色土	10YR3.7
第17层	暗褐色土	10YR3.7
第18层	红土、黄褐色土	10YR4.7
第19层	暗褐色土	10YR3.7
第20层	暗褐色土	10YR3.7
第21层	红土、暗褐色土	10YR4.7
第22层	暗褐色土	10YR3.7
第23层	红土、黄褐色土	10YR4.7
第24层	暗褐色土	10YR3.7
第25层	暗褐色土	10YR3.7
第26层	暗褐色土	10YR3.7
第27层	暗褐色土	10YR3.7
第28层	暗褐色土	10YR3.7
第29层	暗褐色土	10YR3.7
第30层	暗褐色土	10YR3.7
第31层	暗褐色土	10YR3.7
第32层	暗褐色土	10YR3.7
第33层	暗褐色土	10YR3.7
第34层	暗褐色土	10YR3.7
第35层	暗褐色土	10YR3.7
第36层	暗褐色土	10YR3.7
第37层	暗褐色土	10YR3.7
第38层	暗褐色土	10YR3.7
第39层	暗褐色土	10YR3.7
第40层	暗褐色土	10YR3.7
第41层	暗褐色土	10YR3.7
第42层	暗褐色土	10YR3.7
第43层	暗褐色土	10YR3.7
第44层	暗褐色土	10YR3.7
第45层	暗褐色土	10YR3.7
第46层	暗褐色土	10YR3.7
第47层	暗褐色土	10YR3.7
第48层	暗褐色土	10YR3.7
第49层	暗褐色土	10YR3.7
第50层	暗褐色土	10YR3.7

第33号土坑

第1层	灰黄色土	10YR4.7/1
第2层	灰黄色土	10YR4.7/1
第3层	灰黄色土	10YR4.7/1
第4层	黄褐色土	10YR5.7
第5层	黄褐色土	10YR5.7
第6层	黄褐色土	10YR5.7
第7层	暗褐色土	10YR3.7
第8层	暗褐色土	10YR3.7
第9层	暗褐色土	10YR3.7
第10层	暗褐色土	10YR3.7
第11层	暗褐色土	10YR3.7
第12层	暗褐色土	10YR3.7
第13层	暗褐色土	10YR3.7
第14层	暗褐色土	10YR3.7
第15层	暗褐色土	10YR3.7
第16层	暗褐色土	10YR3.7
第17层	暗褐色土	10YR3.7

图52 第12号·第33号土坑

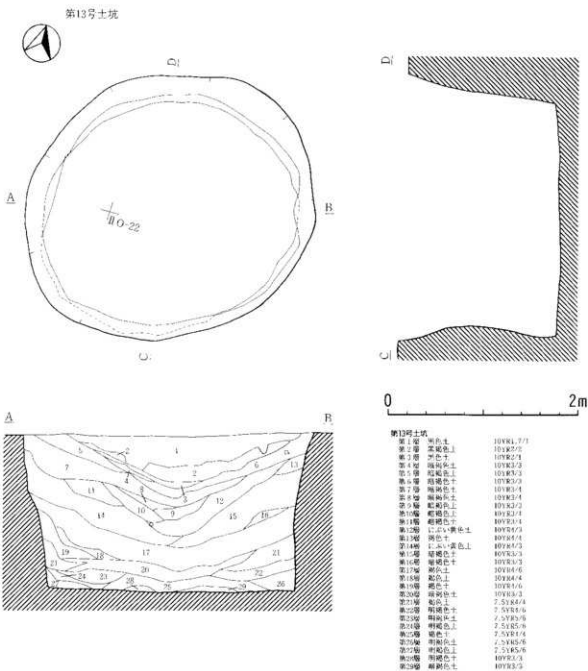
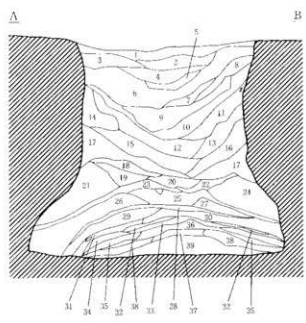
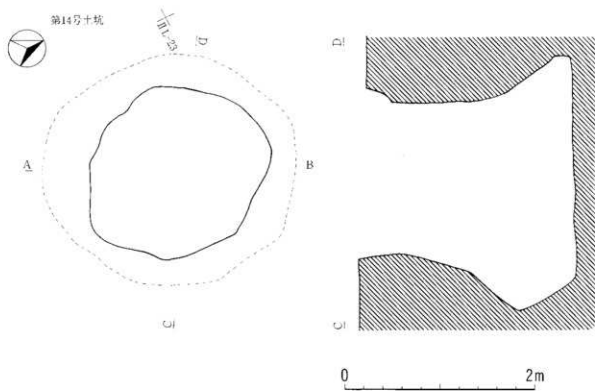


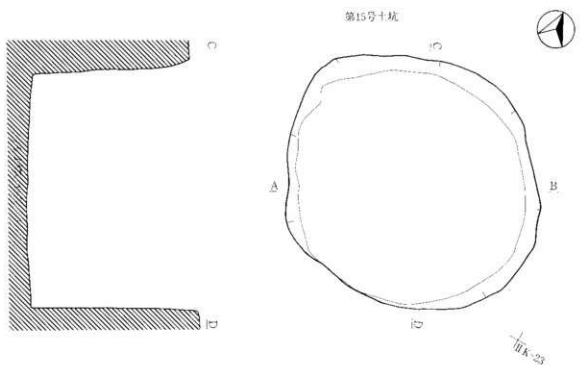
图53 第13号土坑



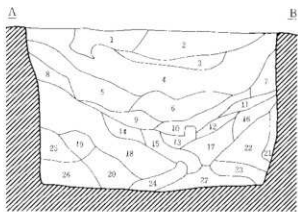
第14号土坑

第1层	灰土上	10YR3/7-9
第2层	灰土上	10YR2/1
第3层	灰褐色土	10YR2/2
第4层	红褐色土	10YR4/2
第5层	红土	7.5YR4/7-1
第6层	灰褐色土	10YR3/7
第7层	灰褐色土	10YR2/2
第8层	灰褐色土	10YR2/2
第9层	灰褐色土	10YR3/3
第10层	灰褐色土	10YR3/3
第11层	灰褐色土	10YR2/2
第12层	灰褐色土	10YR2/2
第13层	灰褐色土	10YR2/2
第14层	灰褐色土	10YR3/6
第15层	灰褐色土	10YR2/2
第16层	灰褐色土	10YR3/4
第17层	灰土上	7.5YR1/6
第18层	灰褐色土	10YR2/2
第19层	灰褐色土	10YR2/2
第20层	灰褐色土	10YR2/2
第21层	灰褐色土	10YR2/2
第22层	灰褐色土	10YR2/2
第23层	灰褐色土	10YR2/2
第24层	灰褐色土	10YR2/2
第25层	灰褐色土	10YR2/2
第26层	灰褐色土	10YR2/2
第27层	灰褐色土	10YR2/2
第28层	灰褐色土	10YR2/2
第29层	灰褐色土	10YR2/2
第30层	灰褐色土	10YR2/2
第31层	灰褐色土	10YR2/2
第32层	灰褐色土	10YR2/2
第33层	灰褐色土	10YR2/2
第34层	灰褐色土	10YR2/2
第35层	灰褐色土	10YR2/2
第36层	灰褐色土	10YR2/2
第37层	灰褐色土	10YR2/2
第38层	灰褐色土	10YR2/2
第39层	灰褐色土	10YR2/2
第40层	灰褐色土	10YR2/2
第41层	灰褐色土	10YR2/2

图54 第14号土坑



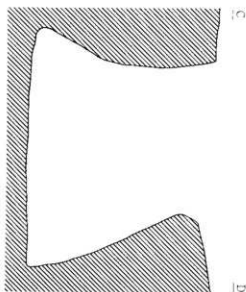
第15号土坑		
第1层	灰褐色土	7.5182-5
第2层	棕色土	7.5182-7
第3层	灰土	7.5182-1
第4层	棕色土	10YR4/4
第5层	暗棕色土	10YR2/4
第6层	灰棕色土	10YR3/4
第7层	棕色土	7.5YR6/9
第8层	灰蓝色土	10YR5/4
第9层	褐色土	7.5YR4/6
第10层	棕色土	7.5YR4/6
第11层	灰土	7.5YR4/1
第12层	暗棕色土	7.5YR3/4
第13层	暗棕色土	10YR2/4
第14层	灰土	7.5YR6/6
第15层	灰土	10YR6/6
第16层	棕色土	10YR4/5
第17层	棕色土	7.5YR4/5
第18层	暗棕色土	7.5YR3/6
第19层	暗棕色土	7.5YR3/6
第20层	灰棕色土	7.5YR3/6
第21层	暗棕色土	7.5YR3/6
第22层	灰土	7.5YR6/6
第23层	暗棕色土	7.5YR3/6
第24层	暗棕色土	7.5YR3/6
第25层	暗棕色土	7.5YR3/6
第26层	灰棕色土	7.5YR5/5
第27层	暗棕色土	7.5YR3/6



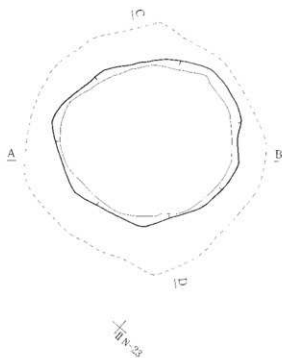
0 2m

图55 第15号土坑

第16号土坑



0 2m



第1层	灰土	7.5YR1.7/1
第2层	灰褐色土	7.5YR5/2
第3层	暗棕色土	7.5YR5.5/3
第4层	暗棕色土	7.5YR2/2
第5层	暗棕色土	7.5YR5.8/3
第6层	暗棕色土	7.5YR3/1
第7层	暗棕色土	7.5YR3/1
第8层	暗棕色土	7.5YR2/2
第9层	暗棕色土	7.5YR2/2
第10层	暗棕色土	10YR2/3
第11层	暗棕色土	7.5YR4/1
第12层	暗棕色土	7.5YR5.0/3
第13层	暗棕色土	7.5YR4/6
第14层	暗棕色土	7.5YR4/1
第15层	暗棕色土	7.5YR3/1
第16层	暗棕色土	7.5YR4/6
第17层	暗棕色土	7.5YR4.6/3
第18层	暗棕色土	7.5YR4/3
第19层	暗棕色土	10YR2/3
第20层	暗棕色土	7.5YR4.6/3
第21层	暗棕色土	7.5YR1/9
第22层	暗棕色土	7.5YR4/4
第23层	暗棕色土	7.5YR4.5/3
第24层	暗棕色土	7.5YR3/1
第25层	暗棕色土	7.5YR4/6
第26层	暗棕色土	7.5YR3/1
第27层	暗棕色土	10YR2/3
第28层	暗棕色土	7.5YR4/6
第29层	暗棕色土	7.5YR3/1
第30层	暗棕色土	7.5YR3/1
第31层	暗棕色土	7.5YR4.4/4
第32层	暗棕色土	7.5YR4/1
第33层	暗棕色土	7.5YR2/2
第34层	暗棕色土	7.5YR4/0
第35层	暗棕色土	7.5YR5/0
第36层	暗棕色土	7.5YR3/3
第37层	暗棕色土	7.5YR4/6
第38层	暗棕色土	10YR2/3
第39层	暗棕色土	7.5YR4/6
第40层	暗棕色土	7.5YR4/6
第41层	暗棕色土	7.5YR4/6
第42层	暗棕色土	7.5YR4/6
第43层	暗棕色土	7.5YR2/3
第44层	暗棕色土	7.5YR3/1
第45层	暗棕色土	7.5YR3/1
第46层	暗棕色土	10YR2/3
第47层	暗棕色土	7.5YR4/6
第48层	暗棕色土	7.5YR2/1
第49层	暗棕色土	10YR2/1
第50层	暗棕色土	10YR7/2

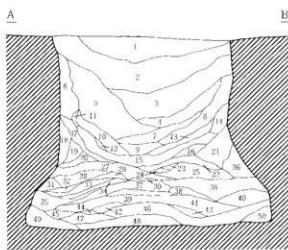
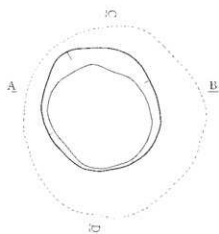
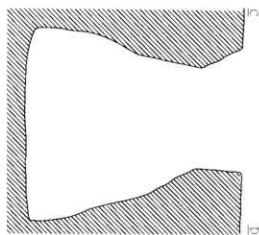


图56 第16号土坑

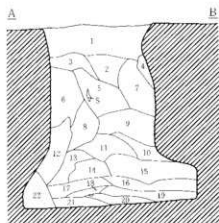
第17号土坑



100-17

第17号土坑

第1层	灰色土	10082/1
第2层	黄褐色土	10082/3
第3层	暗褐色土	10083/4
第4层	褐色土	10085/6
第5层	褐色土	2.5084/4
第6层	暗褐色土	7.5082/5
第7层	暗褐色土	7.5083/2
第8层	褐色土	7.5084/6
第9层	暗褐色土	7.5085/6
第10层	暗褐色土	7.5085/6
第11层	褐色土	7.5084/6
第12层	褐色土	10081/4
第13层	褐色土	7.5084/6
第14层	褐色土	7.5086/6
第15层	褐色土	7.5085/6
第16层	暗褐色土	10083/4
第17层	红土(黄褐色土)	10084/3
第18层	暗褐色土	10085/4
第19层	暗褐色土	10085/6
第20层	黄土土	10084/4
第21层	暗褐色土	10085/4
第22层	红土(黄褐色土)	10084/3



0 2m

图57 第17号土坑

第19号土坑

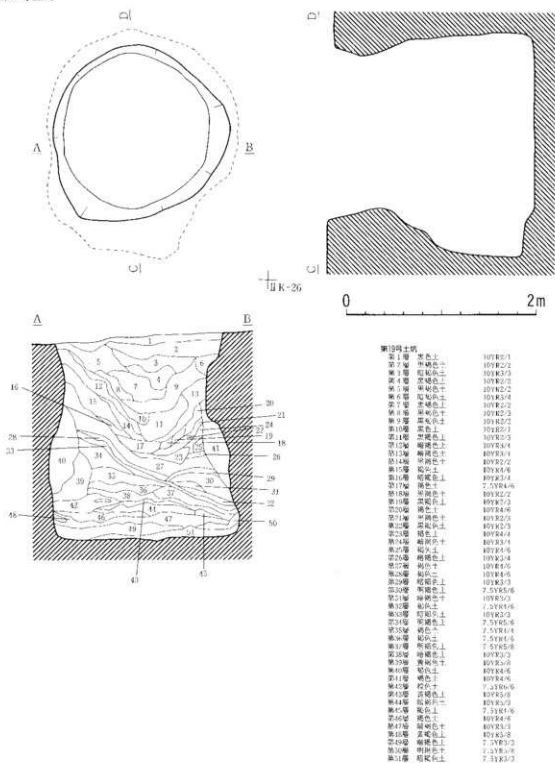
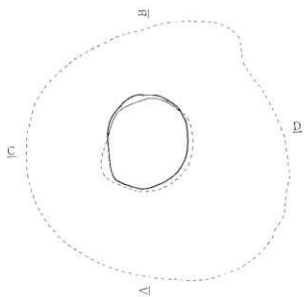


图58 第19号土坑

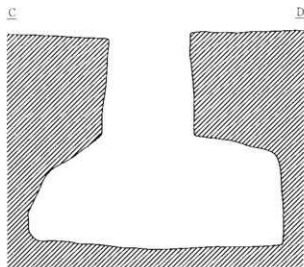
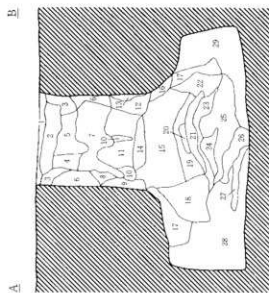


ⅢS-18

第21号土坑

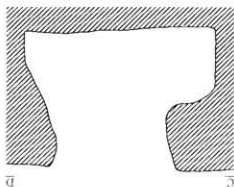


ⅢS-18



第21号土坑		
第1层	黑色土	10YR3/1
第2层	夹褐砂土	10YR5/2
第3层	褐色土	10YR4/6
第4层	暗褐色土	10YR3/4
第5层	黑褐色土	10YR2/3
第6层	古褐色土	10YR3/5
第7层	黄褐色土	10YR3/3
第8层	褐土	10YR4/0
第9层	褐色土	7.5YR4/6
第10层	暗褐色土	10YR3/1
第11层	褐色土	10YR4/6
第12层	暗褐色土	10YR3/4
第13层	暗褐色土	7.5YR5/8
第14层	褐色土	7.5YR4/6
第15层	暗褐色土	7.5YR5/8
第16层	褐色土	7.5YR4/6
第17层	褐色土	7.5YR4/6
第18层	灰土	10Y2.5/6
第19层	淡褐色土	10YR5/6
第20层	黄棕色土	10YR4/4
第21层	灰褐色土	10YR3/2
第22层	棕色土	7.5YR5/8
第23层	褐土	10YR4/6
第24层	暗褐色土	10YR3/1
第25层	褐色土	10YR4/6
第26层	暗褐色土	10YR3/1
第27层	褐色土	10YR4/6
第28层	暗褐色土	10YR3/1
第29层	暗褐色土	10YR3/1

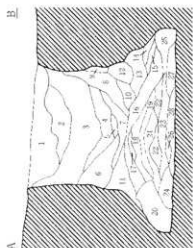
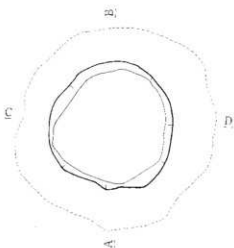
图59 第21号土坑



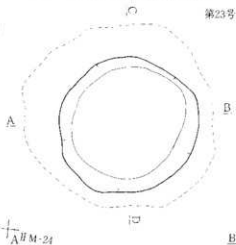
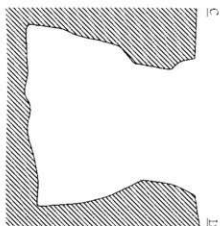
第22号土坑					
第1层	灰绿色土	101K1-7	第21层	灰绿色土	101K2-2
第2层	灰绿色土	101K1-3	第22层	灰绿色土	101K2-3
第3层	灰绿色土	101K1-2	第23层	灰绿色土	101K2-2
第4层	褐色土	101K1-1	第24层	灰绿色土	101K2-4
第5层	褐色土	101K1-4	第25层	褐色土	101K2-1
第6层	灰绿色土	101K1-5	第26层	灰绿色土	101K2-4
第7层	灰绿色土	101K1-2	第27层	褐色土	101K2-5
第8层	灰绿色土	101K1-2	第28层	褐色土	101K2-3
第9层	灰绿色土	101K1-2			
第10层	灰绿色土	101K1-2			
第11层	褐色土	101K1-2			
第12层	褐色土	101K1-4			
第13层	褐色土	101K1-4			
第14层	褐色土	101K1-4			
第15层	褐色土	101K1-4			
第16层	褐色土	101K1-6			
第17层	褐色土	101K1-3			
第18层	褐色土	101K1-4			
第19层	褐色土	101K1-2			
第20层	褐色土	101K1-2			



第22号土坑



第23号土坑



第23号土坑					
第1层	灰绿色土	101K3-1	第10层	灰绿色土	101K3-7
第2层	灰绿色土	101K3-2	第11层	灰绿色土	101K3-9
第3层	灰绿色土	101K3-7	第12层	褐色土	101K3-6
第4层	灰绿色土	101K3-2	第13层	灰绿色土	101K3-7
第5层	灰绿色土	101K3-3	第14层	灰绿色土	101K3-3
第6层	灰绿色土	101K3-7	第15层	灰绿色土	101K3-3
第7层	灰绿色土	101K3-5	第16层	灰绿色土	101K3-6
第8层	灰绿色土	101K3-4	第17层	灰绿色土	101K3-6
第9层	灰绿色土	101K3-2	第18层	灰绿色土	101K3-3
第10层	灰绿色土	101K3-3	第19层	灰绿色土	101K3-3
第11层	灰绿色土	101K3-6	第20层	灰绿色土	101K3-3
第12层	灰绿色土	101K3-2	第21层	灰绿色土	101K3-3
第13层	灰绿色土	101K3-4	第22层	灰绿色土	101K3-4
第14层	灰绿色土	101K3-3	第23层	灰绿色土	101K3-4
第15层	褐色土	101K3-6			

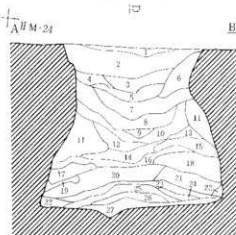
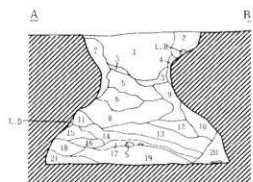
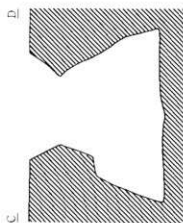
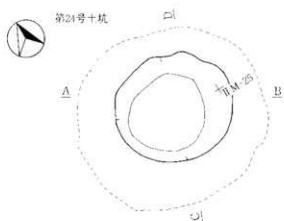
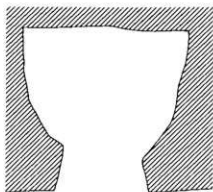


图60 第22号·第23号土坑



第24号土坑

第1层	灰土上	10YR2/2
第2层	灰土上	10YR2/2
第3层	灰土上	10YR2/2
第4层	粉土上	10YR4/4
第5层	粉褐色土上	10YR3/7
第6层	粉褐色土	10YR4/4
第7层	黏土上	10YR4/4
第8层	暗褐色土	10YR3/4
第9层	暗褐色土	10YR3/5
第10层	暗褐色土	10YR3/5
第11层	暗褐色土	10YR2/2
第12层	暗褐色土	10YR3/3
第13层	暗褐色土	10YR2/2
第14层	暗褐色土	10YR3/4
第15层	暗褐色土	10YR3/3
第16层	暗褐色土	10YR3/2
第17层	暗褐色土	10YR2/2
第18层	灰褐色土上	10YR3/1
第19层	暗褐色土	10YR3/1
第20层	暗褐色土上	10YR2/2
第21层	暗褐色土上	10YR2/3



第25号土坑

第1层	灰土上	10YR2/1
第2层	暗褐色土上	10YR2/2
第3层	暗褐色土上	10YR2/3
第4层	暗褐色土上	10YR3/3
第5层	暗褐色土上	10YR2/2
第6层	暗褐色土	10YR2/3
第7层	暗褐色土	10YR2/3
第8层	暗褐色土	10YR3/4
第9层	暗褐色土	10YR3/4
第10层	暗褐色土	10YR3/4
第11层	暗褐色土	10YR2/2
第12层	暗褐色土	7.5YR3/3
第13层	暗褐色土	10YR3/3
第14层	暗褐色土	10YR3/3
第15层	暗褐色土	10YR3/4
第16层	暗褐色土	10YR3/3
第17层	暗褐色土	10YR3/4
第18层	暗褐色土	7.5YR4/4
第19层	暗褐色土	7.5YR3/3
第20层	暗褐色土	7.5YR2/2
第21层	灰土上	7.5YR2/1
第22层	暗褐色土上	7.5YR3/6
第23层	暗褐色土上	10YR2/3
第24层	暗褐色土上	10YR4/1
第25层	暗褐色土上	10YR3/3

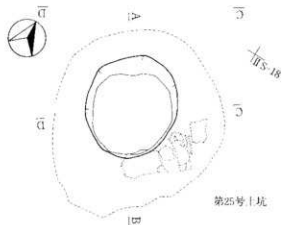
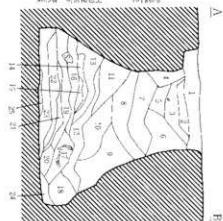


图61 第24号·第25号土坑

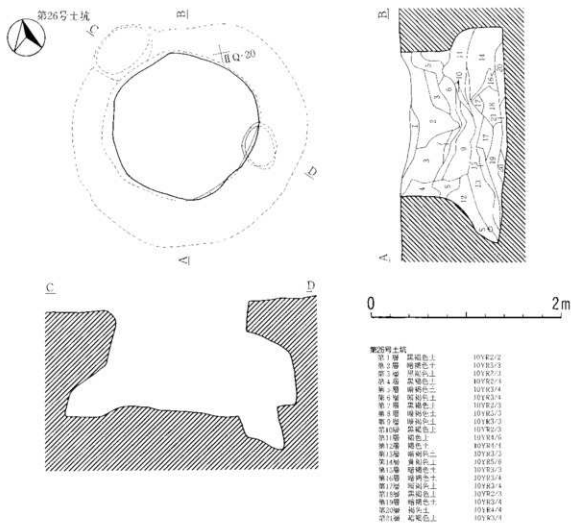
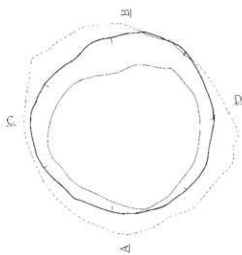
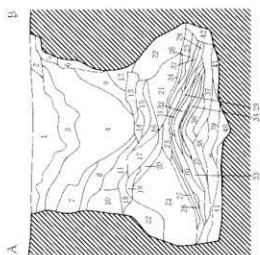
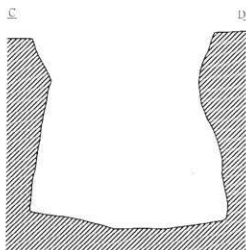


图62 第26号土坑



11P-19



0 2m

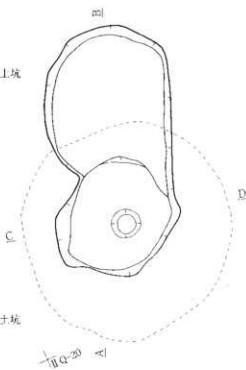
第27号土坑

第1层	黑色土	10YR2/1
第2层	黄褐色土	10YR3/3
第3层	黄褐色土	10YR2/3
第4层	红褐色土	10YR3/4
第5层	褐色土	10YR4/6
第6层	黄褐色土	10YR5/8
第7层	土上(黄褐色土)	10YR4/3
第8层	红褐色土	7.5YR3/4
第9层	褐色土	7.5YR4/4
第10层	红褐色土	7.5YR5/6
第11层	红褐色土	7.5YR3/3
第12层	明褐色土	7.5YR5/6
第13层	暗褐色土	7.5YR2/3
第14层	暗褐色土	10YR3/4
第15层	灰土二	10YR4/6
第16层	暗褐色土	10YR3/1
第17层	暗褐色土	7.5YR3/3
第18层	红褐色土	10YR3/4
第19层	黄褐色土	10YR5/6
第20层	灰土二	10YR4/6
第21层	褐色土	10YR4/6
第22层	暗褐色土	7.5YR2/3
第23层	暗褐色土	10YR3/4
第24层	褐色土	7.5YR4/4
第25层	黄褐色土	7.5YR3/2
第26层	暗褐色土	7.5YR5/6
第27层	明褐色土	7.5YR3/6
第28层	明褐色土	7.5YR3/6
第29层	黄褐色土	7.5YR3/2
第30层	褐色土	7.5YR4/6
第31层	明褐色土	7.5YR3/6
第32层	暗褐色土	7.5YR3/1
第33层	暗褐色土	7.5YR3/8
第34层	暗褐色土	7.5YR3/3
第35层	暗褐色土	7.5YR3/8
第36层	暗褐色土	7.5YR3/3
第37层	暗褐色土	7.5YR3/4
第38层	暗褐色土	7.5YR3/4
第39层	暗褐色土	7.5YR3/4
第40层	暗褐色土	7.5YR3/3
第41层	黄褐色土	10YR3/2
第42层	暗褐色土	10YR3/1

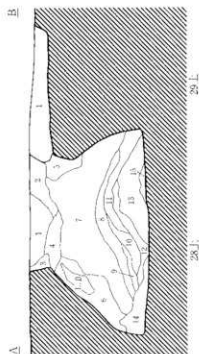
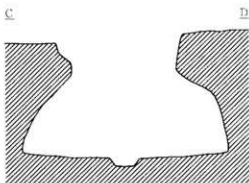
图63 第27号土坑



第29号土坑



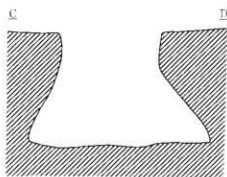
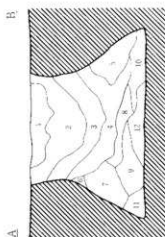
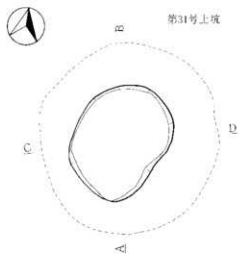
第28号土坑



0 2m

第29号土坑		
第1层	灰褐色土	10YR2/2
第2层	暗棕色土	10YR2.4
第3层	灰土	10YR6/1
第4层	红土	10YR4/2
第5层	暗棕色土	10YR4.4
第6层	灰土	7.5YR6/1
第7层	褐色土	10YR4.6
第8层	红土	10YR4.7
第9层	褐色土	7.5YR6/2
第10层	灰褐色土	10YR2/4
第11层	暗棕色土	10YR3/2
第12层	暗棕色土	10YR3.4
第13层	暗棕色土	7.5YR5.8
第14层	暗棕色土	10YR2/5
第28号土坑		
第1层	暗棕色土	10YR3/3

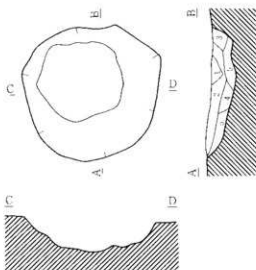
图64 第28号·第29号土坑



第31号土坑

第1层	灰土	10YR2/5
第2层	灰棕色土	10YR3/3
第3层	暗棕色土	10YR3/3
第4层	灰土	10YR2/4
第5层	暗棕色土	10YR2/2
第7层	暗棕色土	10YR3/2
第8层	灰棕色土	10YR3/3
第9层	灰棕色土	10YR3/2
第10层	暗棕色土	10YR3/2
第11层	暗棕色土	10YR3/3
第12层	暗棕色土	10YR3/4

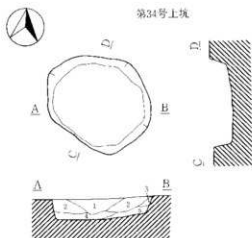
第32号土坑



第32号土坑

第1层	灰土	10YR1/1	碎—土松子痕迹。
第2层	灰棕色土	7.5YR2/1	
第3层	暗棕色土	7.5YR3/1	碎—土松子痕迹。
第4层	暗棕色土	10YR2/2	碎—土松子痕迹。
第5层	暗棕色土	7.5YR4/4	

第34号土坑



III Q 23

第34号土坑

第1层	暗棕色土	10YR4/4	碎—土松子痕迹。
第2层	暗棕色土	7.5YR4/3	碎—土松子痕迹。
第3层	暗棕色土	10YR4/6	碎—土松子痕迹。
第4层	暗棕色土	7.5YR4/4	碎—土松子痕迹。
第5层	暗棕色土	10YR4/6	碎—土松子痕迹。

0 2m

图65 第31号·第32号·第34号土坑

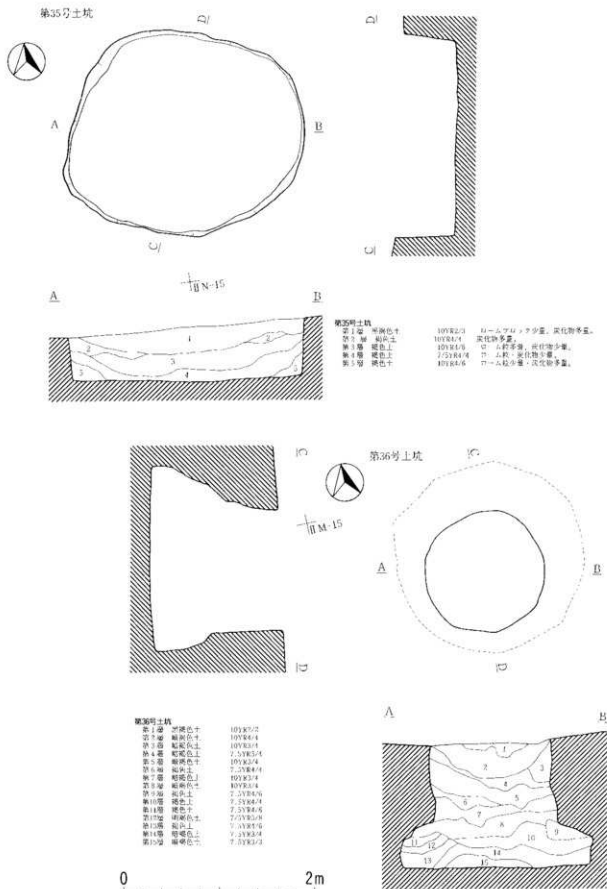
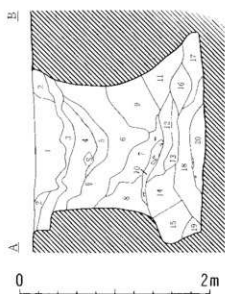
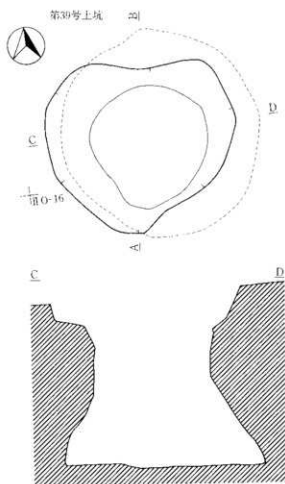


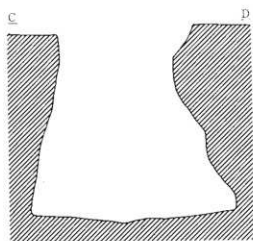
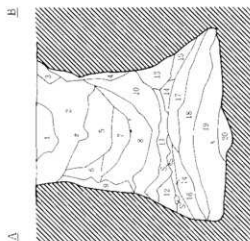
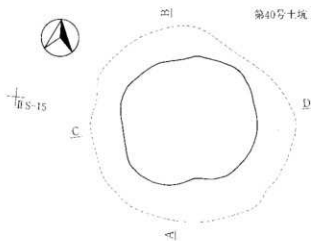
图66 第35号·第36号土坑



第39号土坑

第1层	黄褐色土	10YR2/1
第2层	灰褐色土	10YR3/2
第3层	黄褐色土	10YR2/2
第4层	红褐色土	10YR3/3
第5层	黄褐色土	10YR2/2
第6层	暗褐色土	10YR3/4
第7层	褐色土	10YR5/4
第8层	黄褐色土	10YR2/2
第9层	暗黄褐色土	10YR3/6
第10层	暗褐色土	10YR3/3
第11层	暗褐色土	10YR3/6
第12层	暗褐色土	10YR3/6
第13层	暗褐色土	10YR3/6
第14层	暗褐色土	10YR3/6
第15层	暗褐色土	10YR3/6
第16层	暗褐色土	10YR3/6

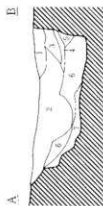
图67 第39号土坑



第40号土坑

第1層	黄粘土	10YR3/7/1
第2層	黄褐色土	10YR7/7
第3層	黄褐色土	10YR2/7
第4層	暗褐色土	40YR3/3
第5層	黄褐色土	10YR7/5
第6層	暗褐色土	40YR3/3
第7層	黄粘土	10YR2/4
第8層	黄褐色土	7.5YR2/7
第9層	红褐色土	7.5YR2/4
第10層	红褐色土	7.5YR3/4
第11層	黄褐色土	10YR6/6
第12層	黄褐色土	7.5YR5/6
第13層	灰褐色土	7.5YR4/2
第14層	黄粘土	10YR4/4
第15層	黄褐色土	10YR3/4
第17層	红褐色土	10YR5/4
第18層	暗褐色土	7.5YR3/3
第19層	暗褐色土	40YR3/3
第20層	暗褐色土	10YR3/4

第41号土坑



第41号土坑

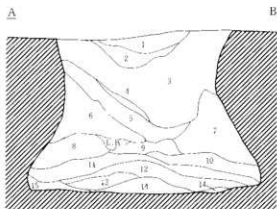
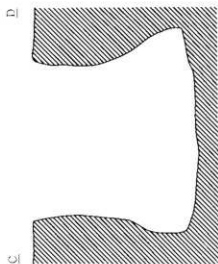
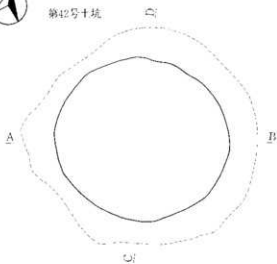
第1層	暗褐色土	7.5YR3/4	ロームアロック少量。
第2層	黄褐色土	7.5YR2/2	ローム粒子、ローム群、炭化物少量。
第3層	黄褐色土	7.5YR4/0	ローム粒少量。
第4層	暗褐色土	10YR3/3	炭化物、ロームアロック、ローム粒少量。
第5層	褐色土	7.5YR4/4	ローム粒少量。
第6層	黄褐色土	10YR5/3	ローム粒、ローム粒少量、炭化物少量、ロームアロック少量。
第7層	暗褐色土	10YR3/3	大粒のロームアロック多数、ローム粒子少量。

0 2m

图68 第40号・第41号土坑



第42号土坑

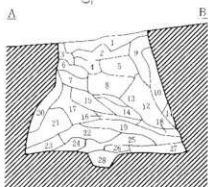
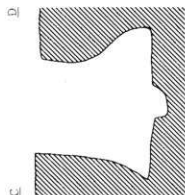
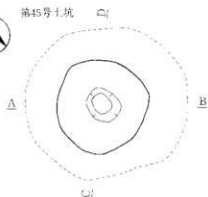


第42号土坑

第1层	灰色土	10YR4/6
第2层	暗褐色土	10YR3/4
第3层	暗褐色土	10YR3/3
第4层	灰褐色土	10YR2/2
第5层	灰褐色土	10YR2/2
第6层	灰土	1.5YR4/6
第7层	暗褐色土	7.5YR5/6
第8层	暗褐色土	10YR5/6
第9层	暗褐色土	10YR2/2
第10层	黄褐色土	7.5YR7/6
第11层	灰土	7.5YR6/6
第12层	暗褐色土	7.5YR2/3
第13层	暗褐色土	7.5YR5/6
第14层	暗褐色土	7.5YR3/3
第15层	暗褐色土	10YR4/6



第45号土坑

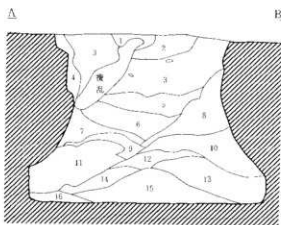
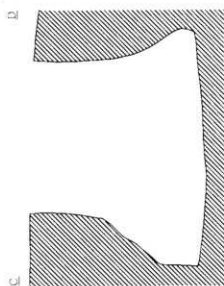
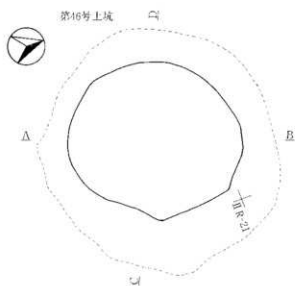


第45号土坑

第1层	灰土	10YR2/1	第13层	暗褐色土	10YR3/4
第2层	灰褐色土	10YR2/2	第14层	暗褐色土	10YR3/3
第3层	暗褐色土	10YR3/3	第15层	暗褐色土	10YR3/3
第4层	暗褐色土	10YR3/4	第16层	暗褐色土	10YR3/2
第5层	暗褐色土	10YR3/4	第17层	暗褐色土	10YR3/2
第6层	暗褐色土	10YR2/3	第18层	暗褐色土	10YR4/4
第7层	暗褐色土	10YR3/2	第19层	暗褐色土	7.5YR4/4
第8层	暗褐色土	10YR2/3	第20层	暗褐色土	10YR3/4
第9层	暗褐色土	10YR2/3	第21层	暗褐色土	10YR3/3
第10层	暗褐色土	10YR2/3	第22层	暗褐色土	10YR3/3
第11层	暗褐色土	7.5YR5/6	第23层	暗褐色土	10YR3/3
第12层	暗褐色土	10YR4/4	第24层	暗褐色土	10YR3/4
第13层	暗褐色土	10YR3/3	第25层	暗褐色土	10YR3/3
第14层	暗褐色土	10YR2/2	第26层	暗褐色土	10YR3/4
第15层	暗褐色土	10YR2/3	第27层	暗褐色土	10YR3/3

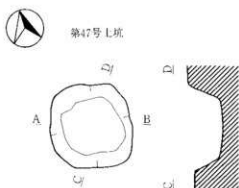
0 2m

图69 第42号·第45号土坑



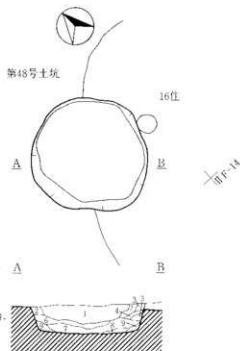
第46号土坑

第1层	灰褐色土	10YR2/2
第2层	黄褐色土	10YR2/3
第3层	灰褐色土	10YR2/2
第4层	黄褐色土	10YR2/4
第5层	灰褐色土	10YR2/4
第6层	灰褐色土	10YR2/3
第7层	灰褐色土	7.5YR5/6
第8层	灰褐色土	10YR4/4
第9层	灰褐色土	10YR4/4
第10层	褐色土	10YR4/6
第11层	灰褐色土	7.5YR5/6
第12层	褐色土	7.5YR5/3
第13层	灰褐色土	7.5YR5/6
第14层	灰褐色土	7.5YR5/6
第15层	褐色土	10YR2/3
第16层	褐色土	7.5YR4/4



第47号土坑

第1层	灰褐色土
第2层	褐色土
第3层	灰褐色土
第4层	褐色土
第5层	灰褐色土
第6层	灰褐色土
第7层	灰褐色土
第8层	灰褐色土
第9层	灰褐色土



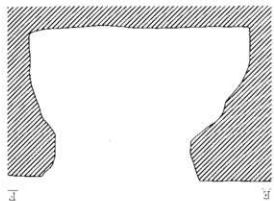
第48号土坑

10YR2/3	透性: 空心, 内-外粘子, 灰化物, 微上粘子少量。
10YR4/4	内-外透性。
10YR5/4	内-外粘子。
10YR4/4	内-外粘子。
10YR5/4	内-外粘子少量。
10YR2/2	灰化物少量, 微上粘子少量。
10YR2/3	灰化物, 微上粘子少量。
10YR5/4	内-外粘子少量。
10YR5/3	内-外粘子少量。

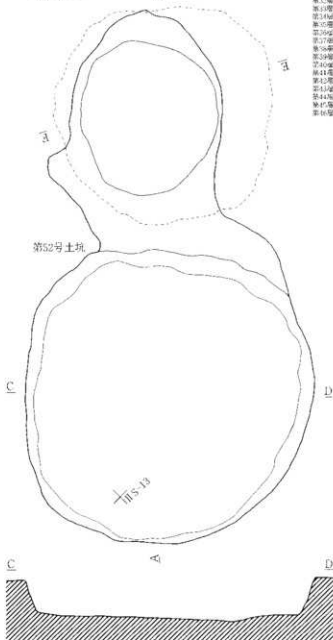
第47号土坑

第1层	灰褐色土	10YR2/2	内-外粘, 灰化物少量。
第2层	褐色土	10YR2/3	内-外粘, 灰化物少量。
第3层	灰褐色土	10YR3/4	内-外粘, 灰化物少量。

图70 第46号·第47号·第48号土坑



第51号土坑



第52号土坑

- 第51号土坑
- 第1層 土灰灰土
 - 第2層 石灰灰土
 - 第3層 褐色土
 - 第4層 石灰灰土
 - 第5層 褐色土
 - 第6層 褐色土
 - 第7層 土灰灰土
 - 第8層 土灰灰土
 - 第9層 褐色土
 - 第10層 褐色土
 - 第11層 褐色土
 - 第12層 褐色土
 - 第13層 褐色土
 - 第14層 褐色土
 - 第15層 褐色土
 - 第16層 褐色土
 - 第17層 褐色土
 - 第18層 褐色土
 - 第19層 褐色土
 - 第20層 褐色土
 - 第21層 褐色土
 - 第22層 褐色土
 - 第23層 褐色土
 - 第24層 褐色土
 - 第25層 褐色土
 - 第26層 褐色土
 - 第27層 褐色土
 - 第28層 褐色土
 - 第29層 褐色土
 - 第30層 褐色土
 - 第31層 褐色土
 - 第32層 褐色土
 - 第33層 褐色土
 - 第34層 褐色土
 - 第35層 褐色土
 - 第36層 褐色土
 - 第37層 褐色土
 - 第38層 褐色土
 - 第39層 褐色土
 - 第40層 褐色土
 - 第41層 褐色土
 - 第42層 褐色土
 - 第43層 褐色土
 - 第44層 褐色土
 - 第45層 褐色土
 - 第46層 褐色土
 - 第47層 褐色土
 - 第48層 褐色土
 - 第49層 褐色土
 - 第50層 褐色土

- 第52号土坑
- 第1層 褐色土
 - 第2層 褐色土
 - 第3層 褐色土
 - 第4層 褐色土
 - 第5層 褐色土
 - 第6層 褐色土
 - 第7層 褐色土
 - 第8層 褐色土
 - 第9層 褐色土
 - 第10層 褐色土
 - 第11層 褐色土
 - 第12層 褐色土
 - 第13層 褐色土
 - 第14層 褐色土
 - 第15層 褐色土
 - 第16層 褐色土
 - 第17層 褐色土
 - 第18層 褐色土
 - 第19層 褐色土
 - 第20層 褐色土
 - 第21層 褐色土
 - 第22層 褐色土
 - 第23層 褐色土
 - 第24層 褐色土
 - 第25層 褐色土
 - 第26層 褐色土
 - 第27層 褐色土
 - 第28層 褐色土
 - 第29層 褐色土
 - 第30層 褐色土
 - 第31層 褐色土
 - 第32層 褐色土
 - 第33層 褐色土
 - 第34層 褐色土
 - 第35層 褐色土
 - 第36層 褐色土
 - 第37層 褐色土
 - 第38層 褐色土
 - 第39層 褐色土
 - 第40層 褐色土
 - 第41層 褐色土
 - 第42層 褐色土
 - 第43層 褐色土
 - 第44層 褐色土
 - 第45層 褐色土
 - 第46層 褐色土
 - 第47層 褐色土
 - 第48層 褐色土
 - 第49層 褐色土
 - 第50層 褐色土

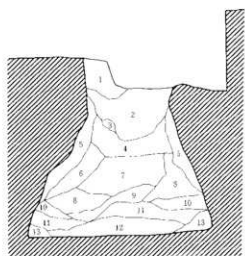
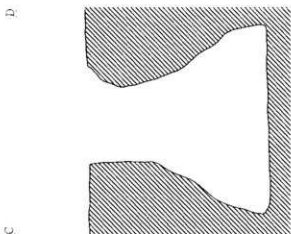
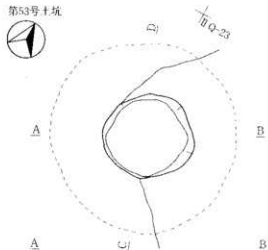
- 10YR2/7 コムアロツク・土灰めの
- 10YR2/4 灰化汚土層
- 10YR2/3 コムアロツク多量層
- 10YR2/2 コムアロツク多量・灰化汚土層
- 10YR1/1 コムアロツク多量・灰化汚土層
- 10YR3/4 褐色・ロームコネク・粘り層
- 10YR3/3 コムアロツク多量層
- 10YR3/1 褐色粘り層・ロームコネク多量層
- 10YR3/2 コムアロツク多量層
- 10YR3/1 コムアロツク多量層
- 10YR2/4 コムアロツク多量層



0 2m

図71 第51号・第52号土坑

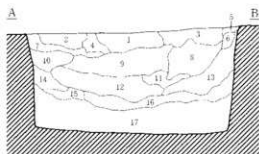
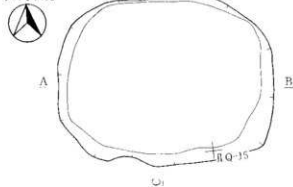
第53号土坑



第53号土坑

第1层	红褐色土	10YR2/7
第2层	红土	10YR2/6
第3层	褐色土	7.5YR3/6
第4层	暗褐色土	7.5YR3/4
第5层	暗褐色土	7.5YR3/6
第6层	暗褐色土	10YR3/3
第7层	暗褐色土	7.5YR3/3
第8层	暗褐色土	7.5YR3/4
第9层	褐色土	7.5YR4/4
第10层	暗褐色土	7.5YR3/3
第11层	暗褐色土	7.5YR3/3
第12层	暗褐色土	7.5YR3/4
第13层	暗褐色土	7.5YR3/2

第54号土坑



第54号土坑

第1层	暗褐色土	10YR3/4	砂 - 少量, 炭化物少量。
第2层	暗褐色土	10YR2/5	砂 - 少量。
第3层	暗褐色土	10YR2/4	砂 - 少量, 炭化物少量。
第4层	暗褐色土	10YR3/4	砂 - 少量。
第5层	暗褐色土	10YR2/5	砂 - 少量。
第6层	暗褐色土	10YR3/5	砂 - 少量。
第7层	暗褐色土	10YR4/0	砂 - 少量。
第8层	暗褐色土	10YR3/4	砂 - 少量。
第9层	暗褐色土	10YR3/1	砂 - 少量。
第10层	暗褐色土	10YR4/1	砂 - 少量。
第11层	暗褐色土	10YR4/4	砂 - 少量。
第12层	暗褐色土	10YR5/1	砂 - 少量。
第13层	暗褐色土	10YR5/6	砂 - 少量。
第14层	暗褐色土	10YR4/4	砂 - 少量。
第15层	暗褐色土	10YR4/6	砂 - 少量。
第16层	暗褐色土	10YR4/4	砂 - 少量。
第17层	暗褐色土	10YR4/6	砂 - 少量。

图72 第53号·第54号土坑

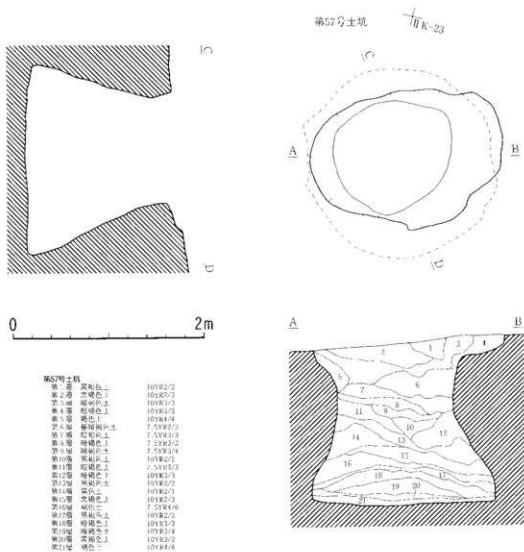


图73 第57号土坑

第58号土坑

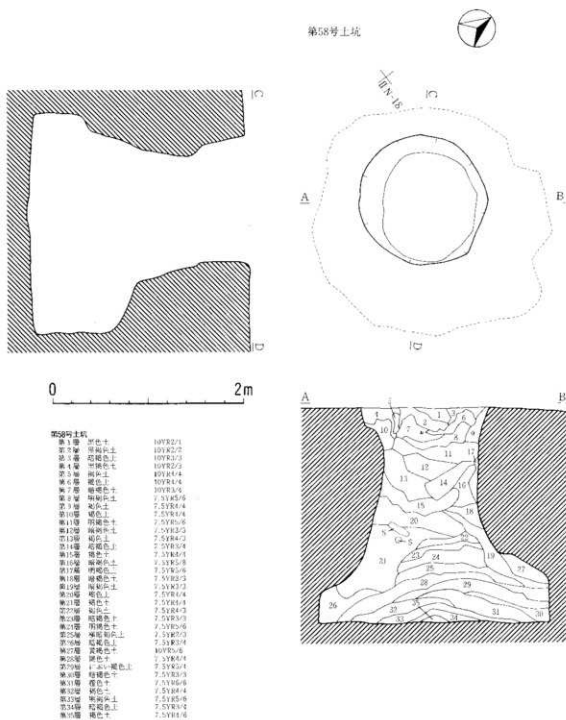
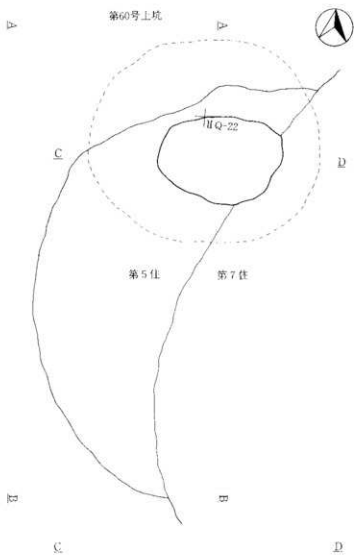
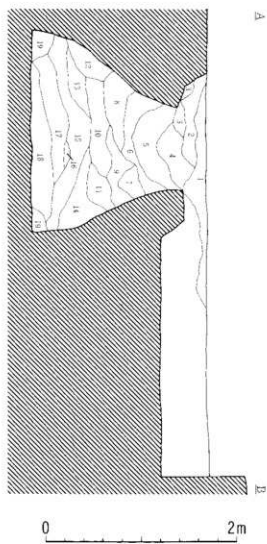


图74 第58号土坑



第60号土坑

第1层	灰褐色土	10YR2/3
第2层	暗棕色土	10YR3/4
第3层	灰棕色土	10YR3/4
第4层	暗棕色土	10YR3/4
第5层	暗棕色土	10YR3/4
第6层	暗棕色土	10YR3/4
第7层	暗棕色土	10YR3/4
第8层	暗棕色土	10YR3/4
第9层	暗棕色土	10YR3/4
第10层	暗棕色土	10YR3/4
第11层	暗棕色土	10YR3/4
第12层	暗棕色土	10YR3/4
第13层	暗棕色土	10YR3/4
第14层	暗棕色土	10YR3/4
第15层	暗棕色土	10YR3/4
第16层	暗棕色土	10YR3/4
第17层	暗棕色土	10YR3/4
第18层	暗棕色土	10YR3/4
第19层	暗棕色土	10YR3/4
第20层	暗棕色土	10YR3/4
第21层	暗棕色土	10YR3/4
第22层	暗棕色土	10YR3/4

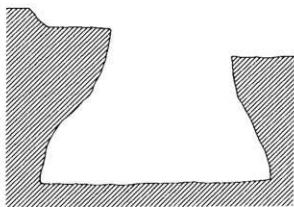
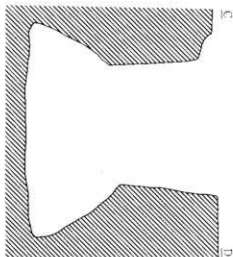
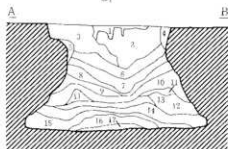
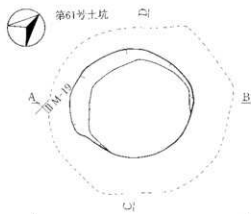


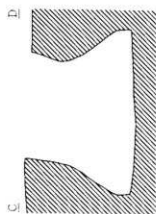
图75 第60号土坑



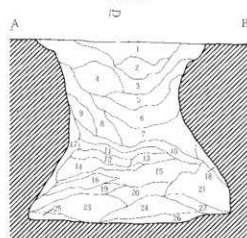
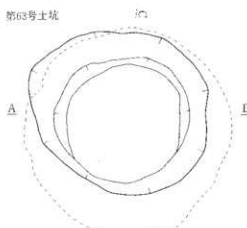
0 2m

第61号土坑

第1层	暗栗色土	10YR2/3
第2层	灰棕色土	10YR3/3
第3层	暗棕色土	10YR3/4
第4层	暗棕色土	10YR3/4
第5层	棕栗色土	10YR2/2
第6层	土黄色-暗棕色土	10YR4/3
第7层	暗棕色土	7.5YR3/4
第8层	灰棕色土	7.5YR3/4
第9层	暗棕色土	7.5YR3/3
第10层	暗棕色土	7.5YR3/4
第11层	暗棕色土	7.5YR3/3
第12层	暗棕色土	7.5YR3/4
第13层	暗棕色土	7.5YR3/3
第14层	暗棕色土	7.5YR3/4
第15层	暗棕色土	7.5YR3/3
第16层	暗棕色土	7.5YR3/4
第17层	暗棕色土	7.5YR3/3
第18层	暗棕色土	7.5YR3/4
第19层	暗棕色土	7.5YR3/3
第20层	暗棕色土	7.5YR3/4
第21层	暗棕色土	7.5YR3/3
第22层	暗棕色土	7.5YR3/4
第23层	暗棕色土	7.5YR3/3
第24层	暗棕色土	7.5YR3/4
第25层	暗棕色土	7.5YR3/3
第26层	暗棕色土	7.5YR3/4
第27层	暗棕色土	7.5YR3/3
第28层	暗棕色土	7.5YR3/4
第29层	暗棕色土	7.5YR3/3
第30层	暗棕色土	7.5YR3/4
第31层	暗棕色土	7.5YR3/3
第32层	暗棕色土	7.5YR3/4
第33层	暗棕色土	7.5YR3/3
第34层	暗棕色土	7.5YR3/4
第35层	暗棕色土	7.5YR3/3
第36层	暗棕色土	7.5YR3/4
第37层	暗棕色土	7.5YR3/3
第38层	暗棕色土	7.5YR3/4
第39层	暗棕色土	7.5YR3/3
第40层	暗棕色土	7.5YR3/4
第41层	暗棕色土	7.5YR3/3
第42层	暗棕色土	7.5YR3/4
第43层	暗棕色土	7.5YR3/3
第44层	暗棕色土	7.5YR3/4
第45层	暗棕色土	7.5YR3/3
第46层	暗棕色土	7.5YR3/4
第47层	暗棕色土	7.5YR3/3
第48层	暗棕色土	7.5YR3/4
第49层	暗棕色土	7.5YR3/3
第50层	暗棕色土	7.5YR3/4
第51层	暗棕色土	7.5YR3/3
第52层	暗棕色土	7.5YR3/4
第53层	暗棕色土	7.5YR3/3
第54层	暗棕色土	7.5YR3/4
第55层	暗棕色土	7.5YR3/3
第56层	暗棕色土	7.5YR3/4
第57层	暗棕色土	7.5YR3/3
第58层	暗棕色土	7.5YR3/4
第59层	暗棕色土	7.5YR3/3
第60层	暗棕色土	7.5YR3/4



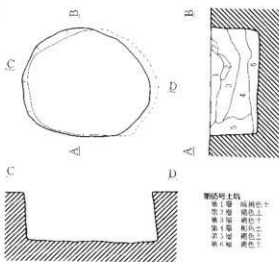
第63号土坑



第1层	暗栗色土	10YR2/3
第2层	暗棕色土	10YR3/3
第3层	暗棕色土	10YR3/4
第4层	暗棕色土	10YR3/4
第5层	暗棕色土	10YR3/4
第6层	暗棕色土	10YR3/3
第7层	暗棕色土	10YR2/2
第8层	暗棕色土	10YR3/4
第9层	暗棕色土	7.5YR3/3
第10层	暗棕色土	7.5YR3/4
第11层	暗棕色土	7.5YR2/2
第12层	暗棕色土	7.5YR2/3
第13层	暗棕色土	7.5YR2/5
第14层	暗棕色土	7.5YR3/3
第15层	暗棕色土	10YR2/3
第16层	暗棕色土	10YR3/4
第17层	暗棕色土	7.5YR3/4
第18层	暗棕色土	7.5YR3/4
第19层	暗棕色土	7.5YR3/4

图76 第61号·第63号土坑

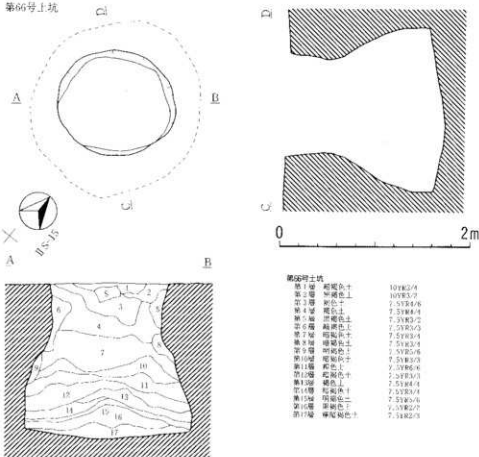
第65号土坑



第65号土坑

第1层	暗褐色土	10YR2/4	13-土砂子少量。
第2层	褐色土	10YR4/4	12-土生漆。
第3层	褐色土	10YR4/6	12-土生漆。
第4层	灰土	10YR4/6	12-土生漆。
第5层	褐色土	10YR2/4	12-土生漆。
第6层	褐色土	10YR4/4	12-A, 4, 漆。

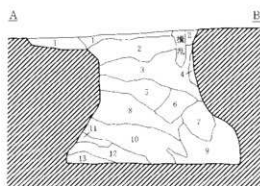
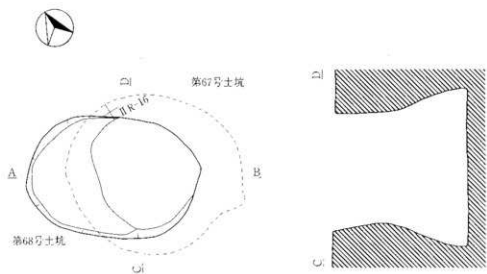
第66号土坑



第66号土坑

第1层	暗褐色土	10YR2/4	
第2层	暗褐色土	10YR3/7	
第3层	褐色土	7.5YR4/6	
第4层	褐色土	7.5YR4/4	
第5层	暗褐色土	7.5YR3/2	
第6层	暗褐色土	7.5YR3/3	
第7层	暗褐色土	7.5YR3/4	
第8层	暗褐色土	7.5YR3/4	
第9层	暗褐色土	7.5YR3/4	
第10层	暗褐色土	7.5YR3/3	
第11层	褐色土	7.5YR4/6	
第12层	暗褐色土	7.5YR3/3	
第13层	褐色土	7.5YR4/4	
第14层	暗褐色土	7.5YR3/4	
第15层	暗褐色土	7.5YR3/4	
第16层	暗褐色土	7.5YR2/2	
第17层	暗褐色土	7.5YR2/3	

图77 第65号·第66号土坑



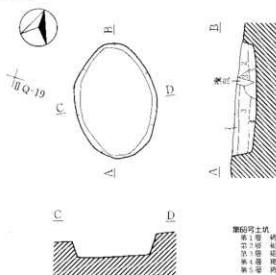
第67号土坑

第1层	暗褐色土	10YR3/4
第2层	暗褐色土	10YR3/3
第3层	暗褐色土	10YR3/2
第4层	褐色土	10YR3/1
第5层	暗褐色土	10YR3/1
第6层	灰褐色土	10YR5/2
第7层	灰褐色土	10YR5/4
第8层	灰褐色土	10YR5/4
第9层	灰褐色土	10YR5/4
第10层	暗褐色土	10YR3/4
第11层	暗褐色土	10YR3/4
第12层	暗褐色土	10YR3/4
第13层	暗褐色土	10YR3/4

第68号土坑

第1层	暗褐色土	7.5YR5/3
-----	------	----------

第69号土坑



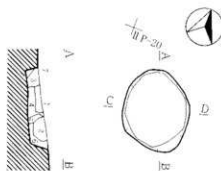
第69号土坑

第1层	褐色土	10YR4/6	T1 - 土粒平，灰化物少量。
第2层	褐色土	10YR4/6	T2 - 土粒少量。
第3层	褐色土	10YR4/4	T3 - 土粒，灰化物少量。
第4层	褐色土	10YR5/5	T4 - 土粒少量。
第5层	褐色土	10YR5/5	T5 - 土粒，灰化物少量。

0 2m

图78 第67号·第68号·第69号土坑

第71号土坑

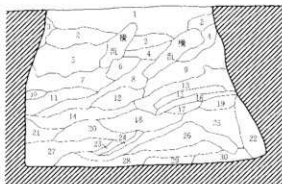
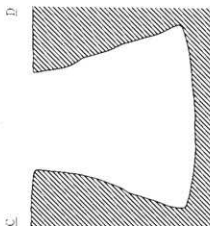
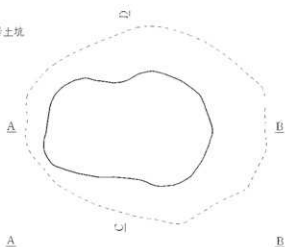


第71号土坑

第1层	红褐色土	10YR5/4	砂-粘粒、及植物少量。
第2层	红褐色土	10YR5/4	砂-粘粒少量。
第3层	棕褐色土	10YR5/4	砂-粘粒少量。
第4层	棕褐色土	10YR5/4	砂-粘粒少量。
第5层	红褐色土	10YR5/3	砂-粘粒、及植物少量。
第6层	棕色土	10YR4/4	砂-粘粒少量。
第7层	红褐色土	10YR4/4	砂-粘粒少量。



第73号土坑

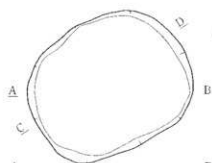


第73号土坑

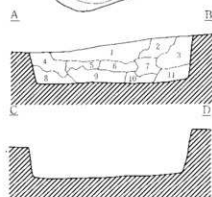
第1层	灰褐色土	10YR7/2
第2层	灰褐色土	10YR7/2
第3层	棕褐色土	10YR5/4
第4层	灰褐色土	10YR7/2
第5层	灰褐色土	10YR7/2
第6层	棕褐色土	10YR5/4
第7层	灰褐色土	10YR7/2
第8层	棕褐色土	10YR5/4
第9层	灰褐色土	10YR7/2
第10层	棕褐色土	10YR5/4
第11层	灰褐色土	10YR7/2
第12层	红褐色土	10YR5/3
第13层	棕褐色土	10YR5/4
第14层	棕褐色土	10YR5/4
第15层	灰褐色土	10YR7/2
第16层	灰褐色土	10YR7/2
第17层	棕褐色土	10YR5/4
第18层	灰褐色土	10YR7/2
第19层	棕褐色土	10YR5/4
第20层	棕褐色土	10YR5/4
第21层	灰褐色土	10YR7/2
第22层	灰褐色土	10YR7/2
第23层	灰褐色土	10YR7/2
第24层	灰褐色土	10YR7/2
第25层	棕褐色土	10YR5/4
第26层	灰褐色土	10YR7/2
第27层	灰褐色土	10YR7/2
第28层	棕褐色土	10YR5/4
第29层	灰褐色土	10YR7/2
第30层	灰褐色土	10YR7/2

0 2m

图99 第71号·第73号土坑



第74号土坑



1/100 10

第74号土坑

第1層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状、炭化物少量。
第2層	褐色土	10YR4/4	ローム状少量。
第3層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第4層	暗褐色土	10YR4/4	ローム状少量。
第5層	暗褐色土	10YR3/4	炭化物少量。
第6層	暗褐色土	10YR4/4	ローム状少量。
第7層	暗褐色土	10YR3/4	炭化物少量。
第8層	暗褐色土	10YR4/4	ローム状少量。
第9層	褐色土	10YR4/6	ローム状少量。
第10層	褐色土	10YR4/6	炭化物少量。
第11層	褐色土	10YR4/4	ローム状少量。

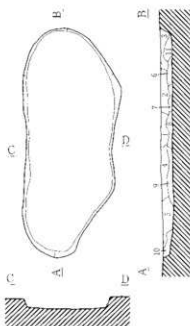


第75号土坑

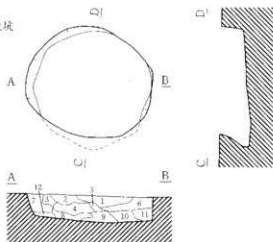
1/100 21

第75号土坑

第1層	暗褐色土	10YR3/4	炭化物少量。
第2層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第3層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量、炭化物少量。
第4層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第5層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第6層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量、炭化物少量。
第7層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第8層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第9層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第10層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第11層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。



第76号土坑



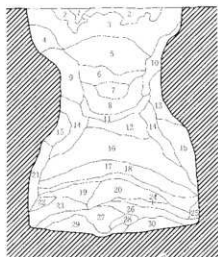
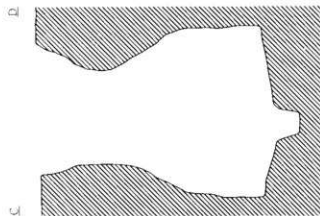
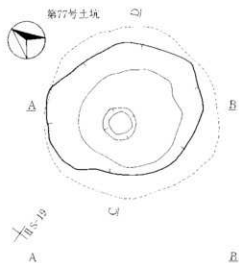
1/100 17

第76号土坑

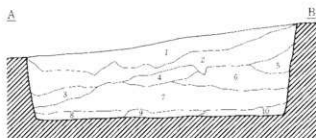
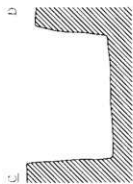
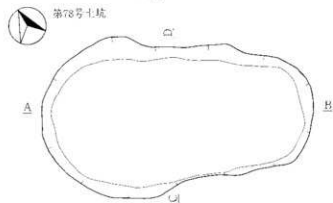
第1層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第2層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第3層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第4層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第5層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量。
第6層	暗褐色土	10YR3/4	ローム状少量、炭化物少量。
第7層	暗褐色土	10YR4/4	ローム状少量。
第8層	暗褐色土	10YR4/4	ローム状少量。
第9層	暗褐色土	10YR4/4	ローム状少量。
第10層	暗褐色土	10YR4/4	ローム状少量。
第11層	暗褐色土	10YR4/4	ローム状少量。

0 2m

图80 第74号·第75号·第76号土坑



第77号土坑	层位	层底标高	层底坐标
第1层	平褐色土	10982.2	
第2层	灰褐色土	10982.4	
第3层	褐色土	7.5984.6	
第4层	灰褐色土	7.5985.5	
第5层	灰褐色土	7.5985.6	
第6层	灰褐色土	7.5985.5	
第7层	灰褐色土	7.5985.6	
第8层	灰褐色土	7.5985.6	
第9层	褐色土	7.5984.8	
第10层	褐色土	7.5984.8	
第11层	灰褐色土	7.5982.3	
第12层	褐色土	7.5984.8	
第13层	褐色土	7.5984.8	
第14层	灰褐色土	7.5982.8	
第15层	褐色土	10984.8	
第16层	褐色土	7.5984.8	
第17层	灰褐色土	7.5985.5	
第18层	褐色土	7.5984.8	
第19层	褐色土	7.5984.8	
第20层	褐色土	7.5984.8	
第21层	灰褐色土	10983.2	
第22层	灰褐色土	10983.2	
第23层	灰褐色土	7.5985.6	
第24层	褐色土	10982.8	
第25层	褐色土	10984.8	
第26层	褐色土	7.5984.6	
第27层	褐色土	2.5986.6	
第28层	平褐色土	10983.2	
第29层	褐色土	7.5986.5	
第30层	灰褐色土	7.5985.6	

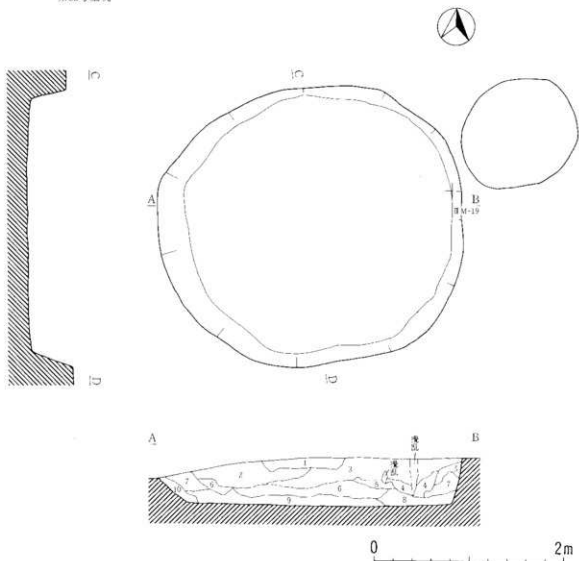


第78号土坑	层位	层底标高	层底坐标
第1层	灰褐色土	10982.4	0-0 灰土少量
第2层	灰褐色土	7.5982.2	0-0 灰土少量, 灰化物少量
第3层	褐色土	7.5981.6	0-0 灰土少量
第4层	灰褐色土	7.5981.6	0-0 灰土少量
第5层	褐色土	7.5981.4	0-0 灰土少量
第6层	褐色土	7.5981.6	0-0 灰土少量
第7层	褐色土	7.5981.6	0-0 灰土少量
第8层	褐色土	7.5981.4	0-0 灰土少量
第9层	褐色土	7.5981.6	0-0 灰土少量
第10层	褐色土	7.5981.4	0-0 灰土少量, 灰化物少量

0 2m

图81 第77号·第78号土坑

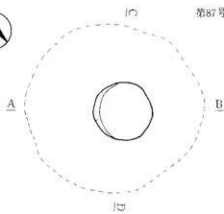
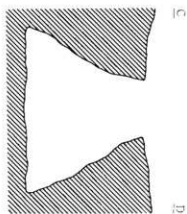
第82号土坑



第82号土坑

第1層	黄褐色土	10YR2/7	砂—砂子，炭化物少量。
第2層	暗褐色土	10YR3/4	砂—砂，炭化物少量。
第3層	暗褐色土	10YR3/3	砂—砂，砂子，炭化物少量。
第4層	暗褐色土	10YR3/4	砂—砂子，炭化物少量。
第5層	暗褐色土	10YR3/4	砂—砂，炭化物少量。
第6層	暗褐色土	10YR3/3	砂—砂，炭化物少量。
第7層	暗褐色土	10YR3/3	砂—砂，炭化物少量。
第8層	暗褐色土	10YR3/3	炭化物少量。
第9層	红—黄褐色土	10YR6/7	炭化物少量，砂—砂，炭化物少量。
第10層	暗褐色土	10YR3/4	砂—砂，炭化物少量。

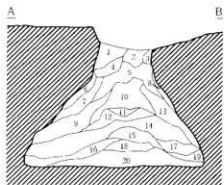
图82 第82号土坑



第87号土坑

第87号土坑

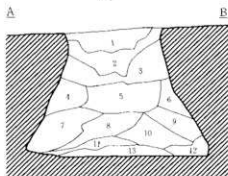
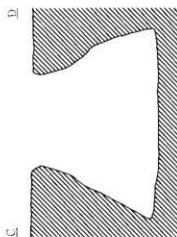
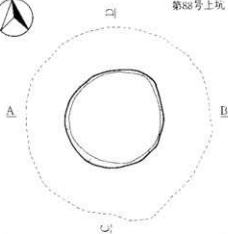
第1层	灰褐色土	T.101K3/4
第2层	暗褐色土	T.101K3/4
第3层	褐色土	T.101K4/5
第4层	灰褐色土	T.101K4/4
第5层	暗褐色土	T.101K5/4
第6层	褐色土	T.101K4/5
第7层	暗褐色土	T.101K3/3
第8层	暗褐色土	T.101K5/5
第9层	暗褐色土	T.101K3/3
第10层	灰褐色土	T.101K3/4
第11层	暗褐色土	T.101K3/3
第12层	褐色土	T.101K5/5
第13层	灰褐色土	T.101K3/3
第14层	暗褐色土	T.101K3/3
第15层	褐色土	T.101K3/7
第16层	褐色土	T.101K4/4
第17层	褐色土	T.101K4/3
第18层	暗褐色土	T.101K3/4
第19层	暗褐色土	T.101K3/3
第20层	暗褐色土	T.101K2/2



↑ N-23



第88号土坑



第88号土坑

第1层	暗褐色土	T.101K3/2
第2层	暗褐色土	T.101K2/4
第3层	暗褐色土	K.101K3/3
第4层	暗褐色土	T.101K3/2
第5层	暗褐色土	T.101K2/2
第6层	暗褐色土	T.101K3/3
第7层	褐色土	T.101K4/4
第8层	暗褐色土	K.101K3/2
第9层	暗褐色土	T.101K3/3
第10层	暗褐色土	T.101K3/3
第11层	暗褐色土	T.101K3/2
第12层	暗褐色土	K.101K4/4
第13层	暗褐色土	K.101K4/4

0 2m

图83 第87号·第88号土坑

【施設】 なし。

【出土遺物】 覆土中より土器片及び礫石器第Ⅰ群 a 類 1 点が出土している。

【小結】 縄文時代前期の土坑と思われる。

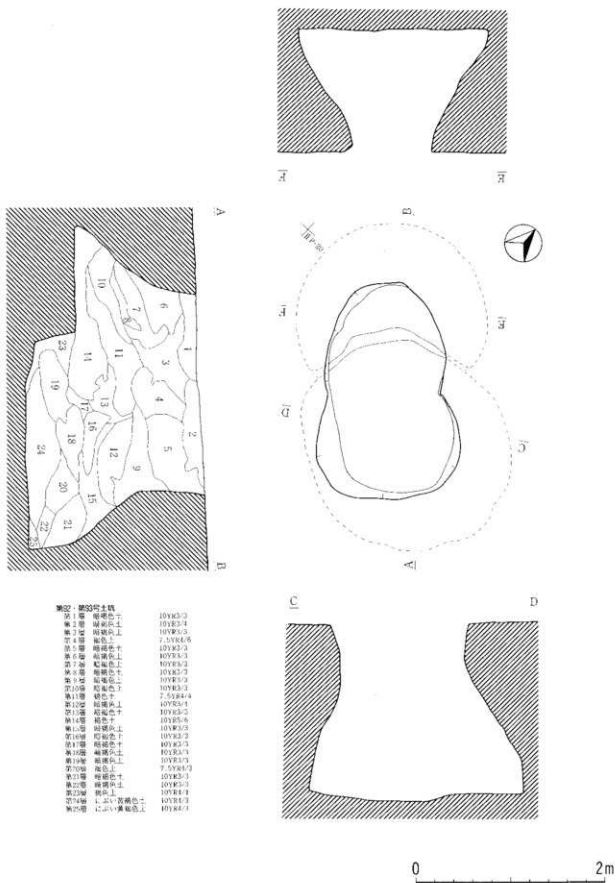
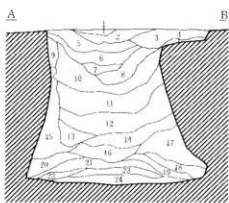
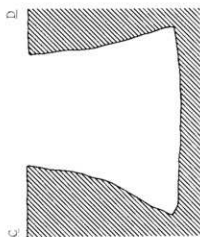
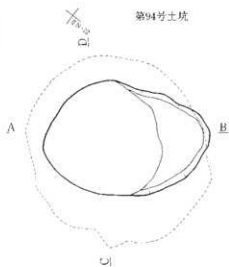
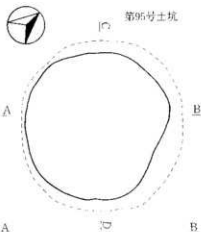
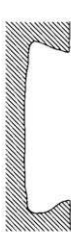


图85 第92号·第93号土坑



第94号土坑

第1层	暗褐色土	10YR3/3
第2层	深褐色土	10YR5/2
第3层	暗褐色土	10YR5/3
第4层	暗褐色土	10YR5/4
第5层	暗褐色土	10YR5/3
第6层	暗褐色土	10YR5/3
第7层	暗褐色土	10YR5/3
第8层	暗褐色土	10YR5/4
第9层	暗褐色土	10YR5/2
第10层	暗褐色土	10YR5/4
第11层	暗褐色土	10YR5/3
第12层	暗褐色土	10YR5/4
第13层	暗褐色土	10YR5/3
第14层	暗褐色土	7.5YR4/5
第15层	暗褐色土	10YR5/3
第16层	暗褐色土	10YR5/4
第17层	暗褐色土	10YR5/3
第18层	暗褐色土	10YR5/4
第19层	暗褐色土	10YR5/3
第20层	暗褐色土	7.5YR5/6
第21层	暗褐色土	10YR5/3
第22层	暗褐色土	10YR5/6
第23层	暗褐色土	7.5YR4/4
第24层	暗褐色土	10YR5/4



第95号土坑

第1层	暗褐色土	10YR5/3
第2层	暗褐色土	10YR5/3
第3层	暗褐色土	10YR5/3
第4层	暗褐色土	10YR5/3
第5层	暗褐色土	10YR5/4
第6层	暗褐色土	10YR5/3
第7层	暗褐色土	10YR5/4
第8层	暗褐色土	10YR5/4
第9层	暗褐色土	10YR5/2
第10层	暗褐色土	10YR5/3
第11层	暗褐色土	10YR5/3
第12层	暗褐色土	10YR5/2
第13层	暗褐色土	10YR5/4
第14层	暗褐色土	10YR5/3
第15层	暗褐色土	10YR5/3
第16层	暗褐色土	10YR5/6
第17层	暗褐色土	10YR5/3
第18层	暗褐色土	10YR5/6
第19层	暗褐色土	10YR5/4
第20层	暗褐色土	10YR5/6

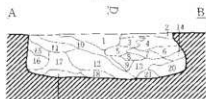


图86 第94号·第95号土坑

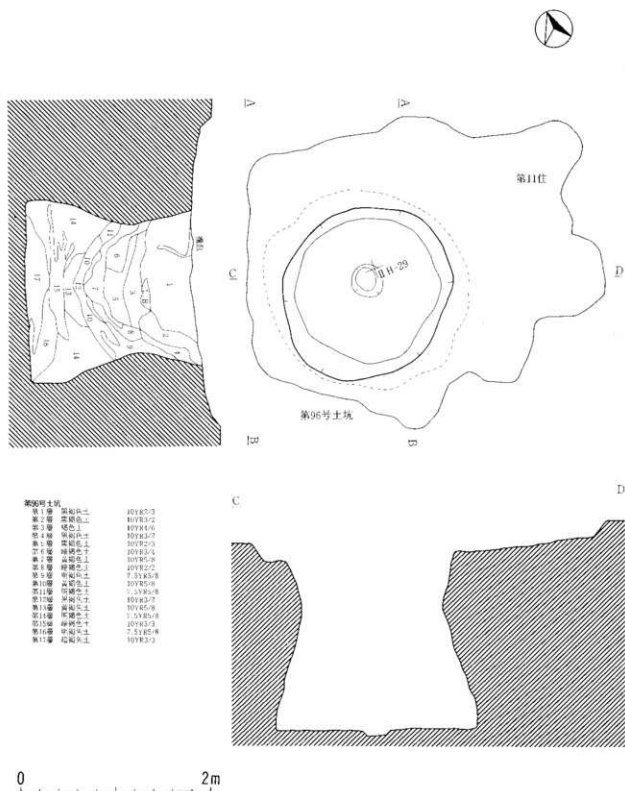


图87 第96号土坑

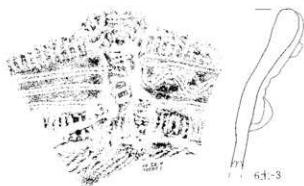
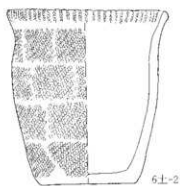
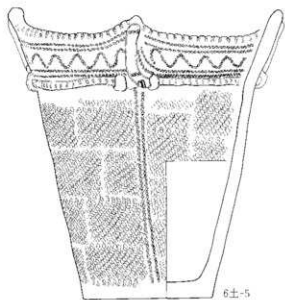
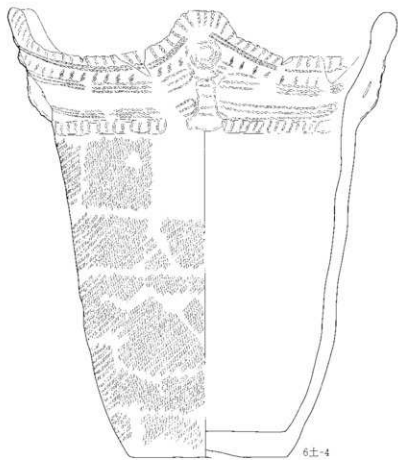
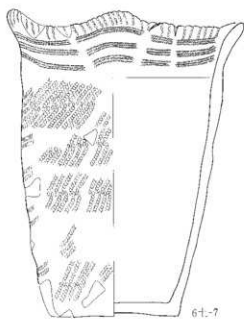
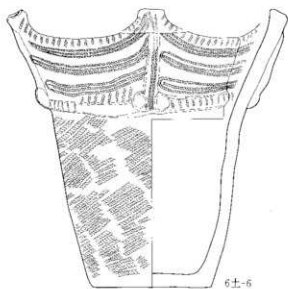


图88 第6号土坑出土遗物(1)



0 10cm

图89 第6号土坑出土遗物(2)



0 10cm

图90 第6号土坑出土遗物(3)

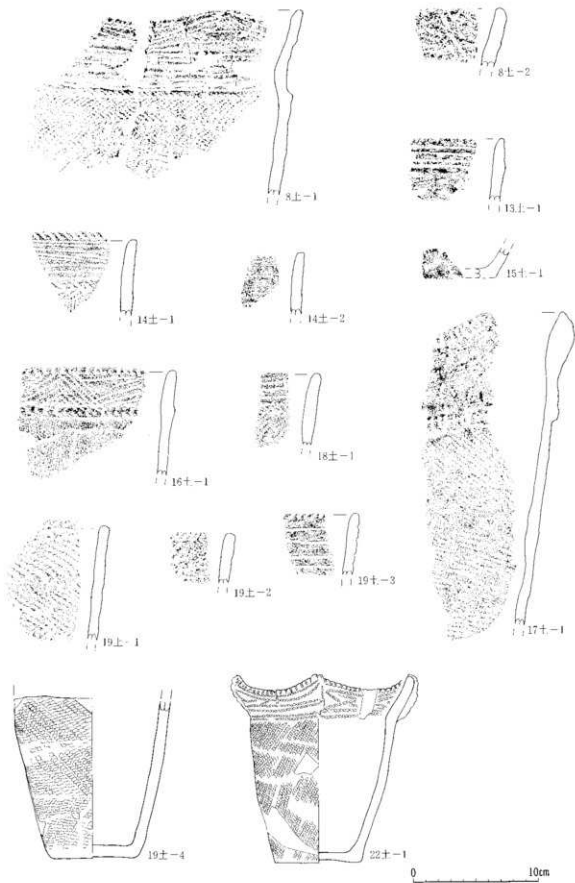


图91 第8·14·15·16·17·18·19·22号土坑出土遗物

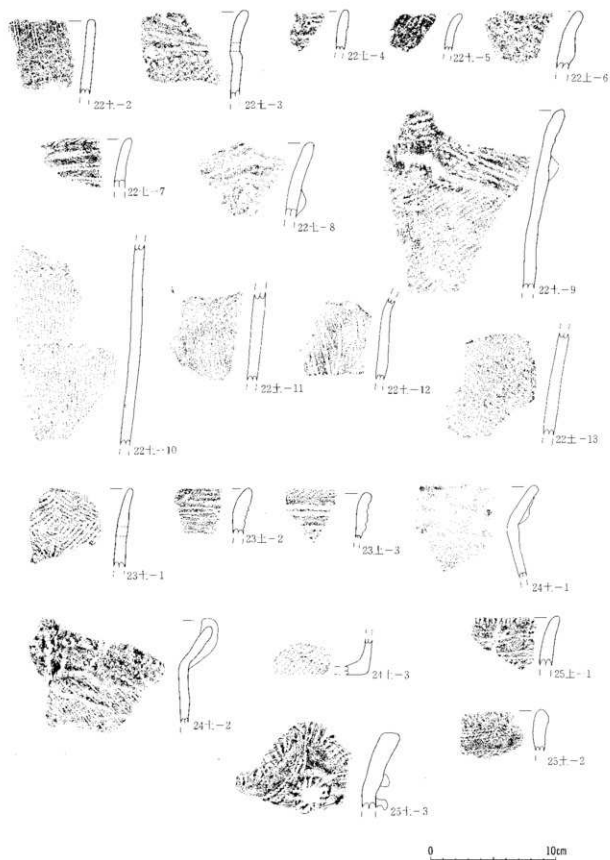
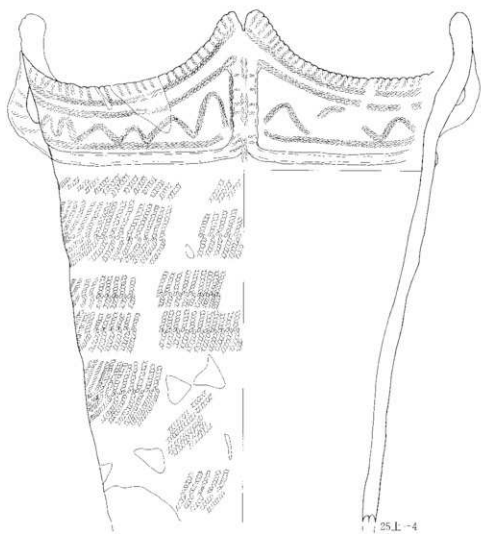


图92 第22·23·24·25号土坑出土遗物



0 10cm

图93 第25号土坑出土遗物

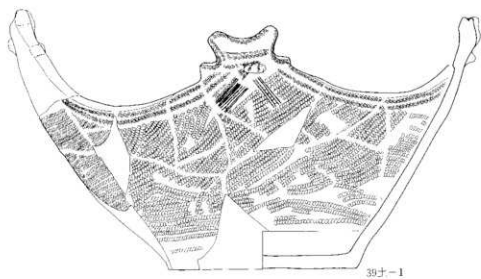
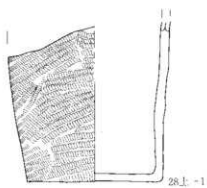


图94 第28号·第39号土坑出土遗物

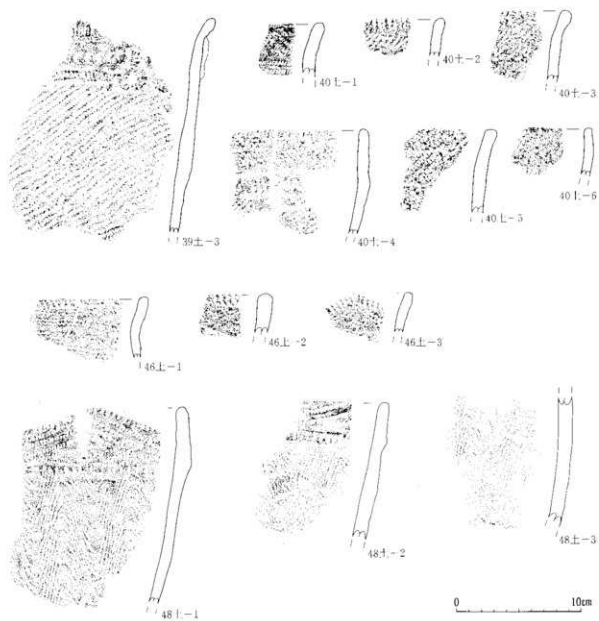


图95 第39·40·46·48号土坑出土遗物

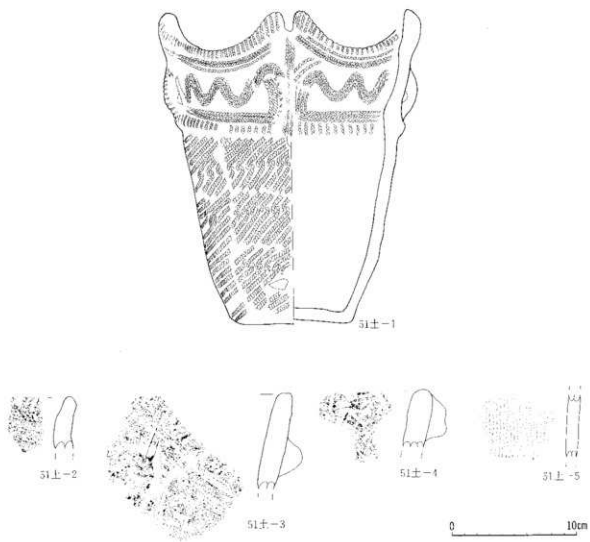


图96 第51号土坑出土遗物

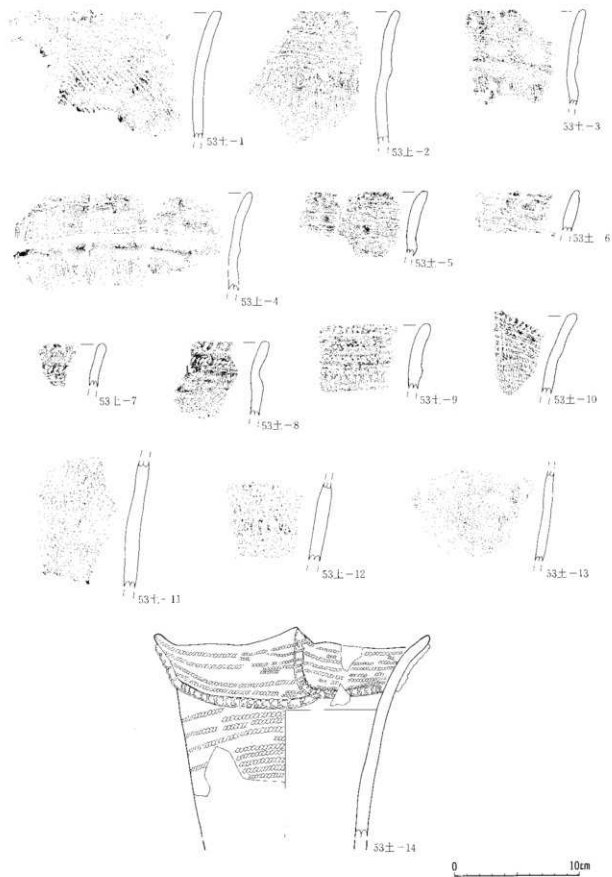
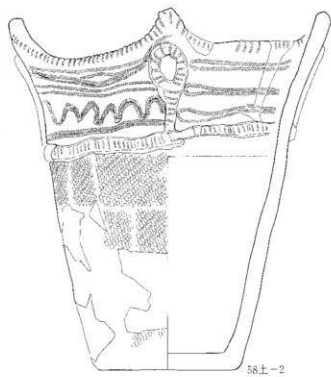
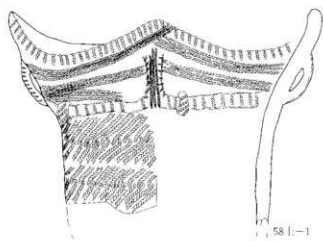
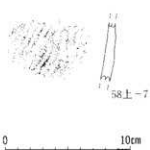
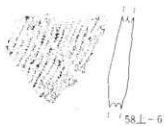
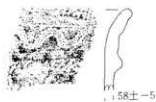
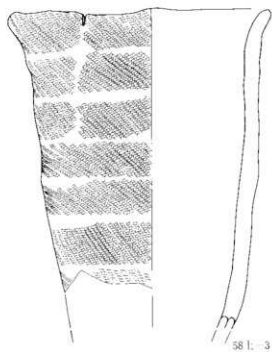


图97 第53号土坑出土遗物



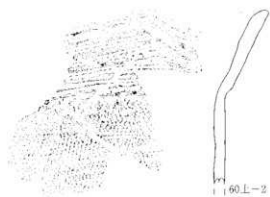
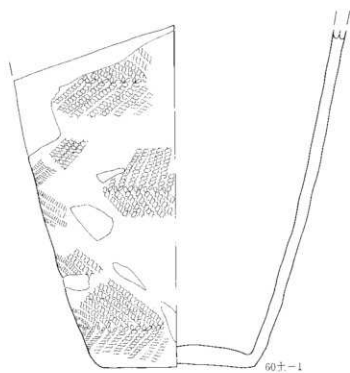
0 10cm

图98 第58号土坑出土遗物(1)



0 10cm

图99 第58号土坑出土遗物(2)



0 10cm

图100 第60号土坑出土遗物

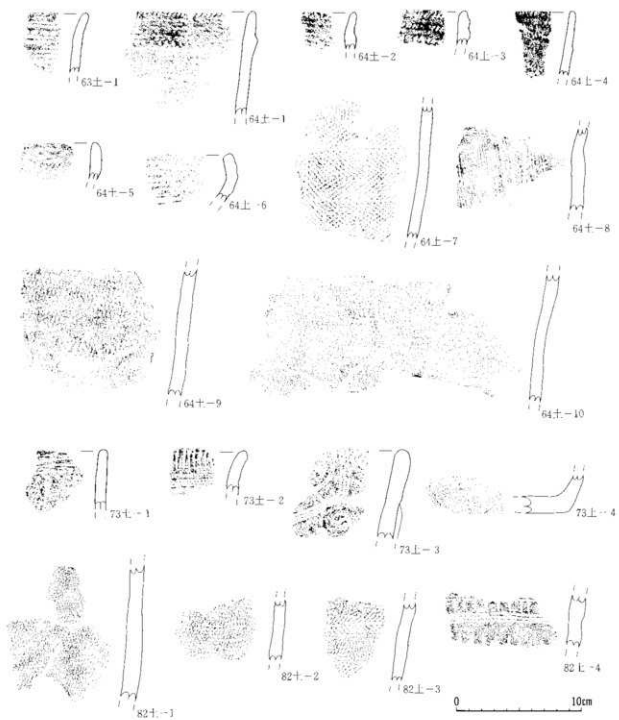


图101 第63·64·73·82号土坑出土遗物

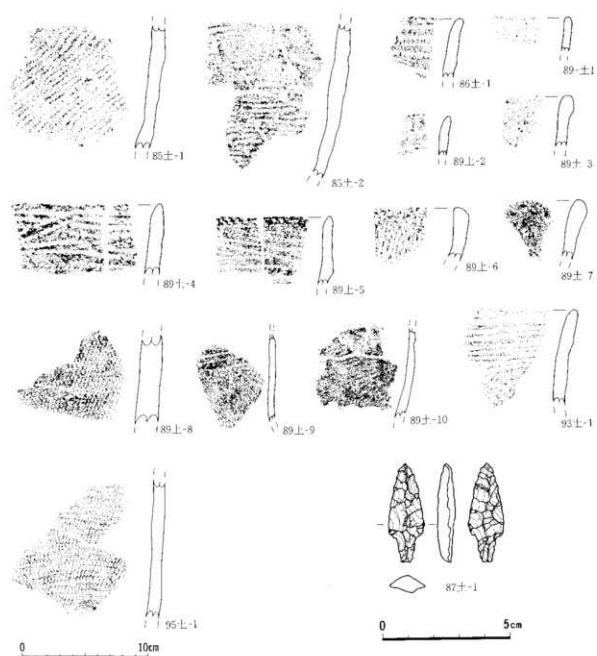


图102 第85·86·87·89·95号土坑出土遗物

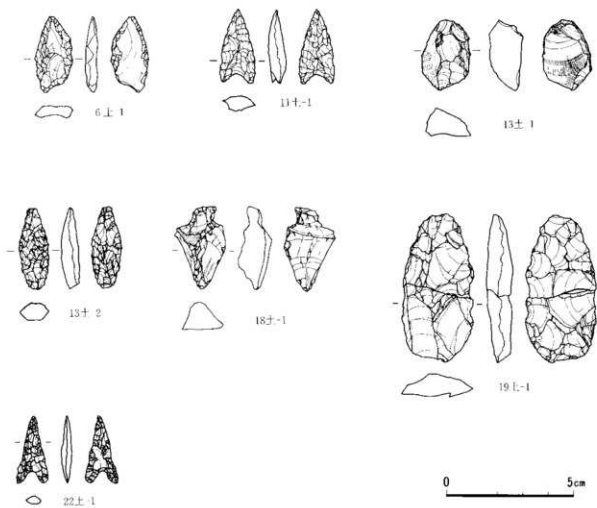
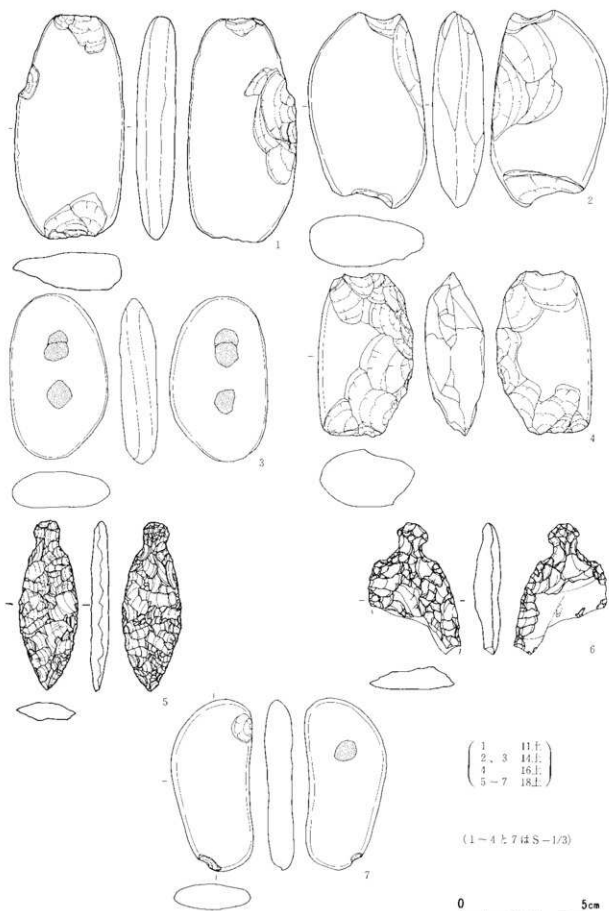


图103 第6·11·13·18·19·22号土坑出土遗物



1	11上
2、3	14上
4	16上
5-7	18上

(1-4 坑 7 坑 S-1/3)

图104 第11·14·16·17号土坑出土遗物

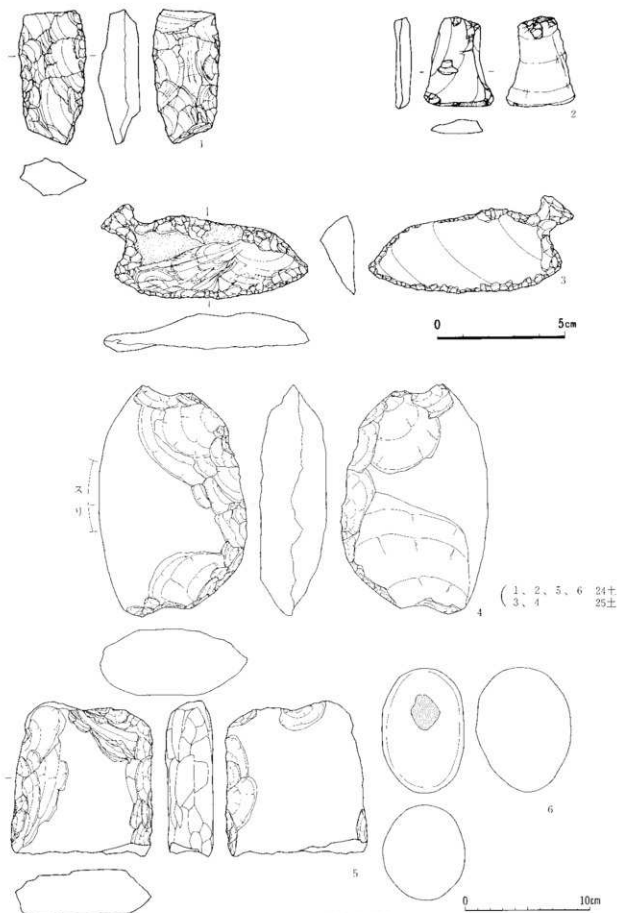


图105 第24号·第25号土坑出土遗物

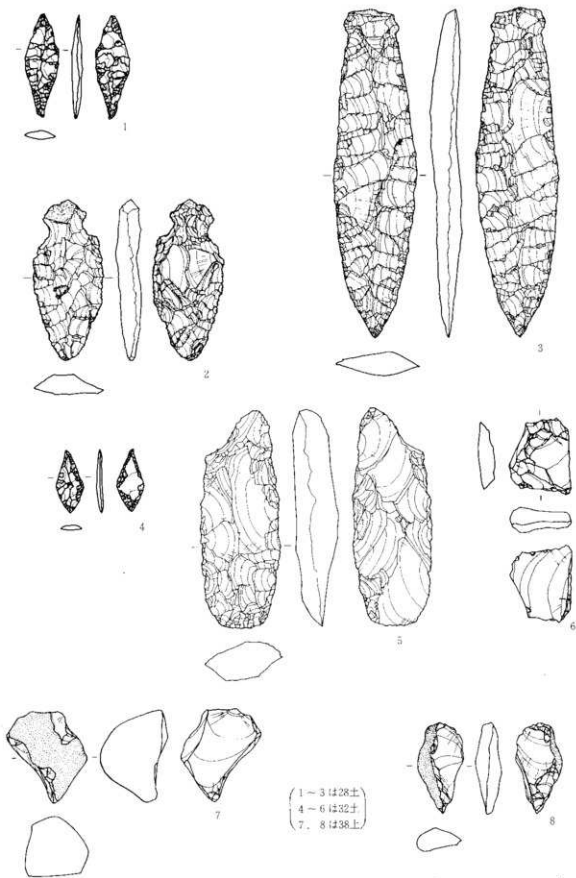
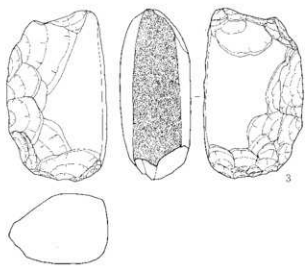
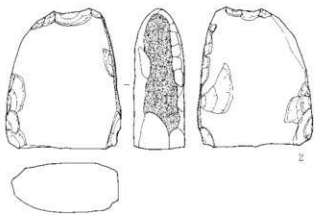
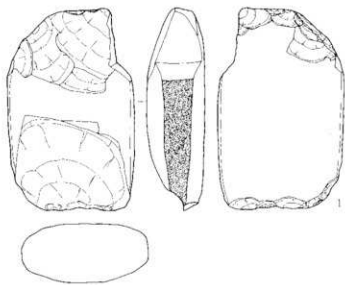


图106 第28号·第32号土坑出土遗物



0 10cm

图107 第39号土坑出土遗物

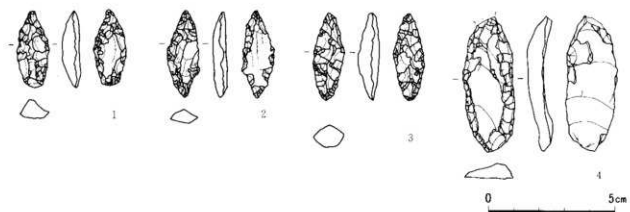


图108 第40号·第46号土坑出土遗物

(1 ~ 3 40上)
 (4 46上)

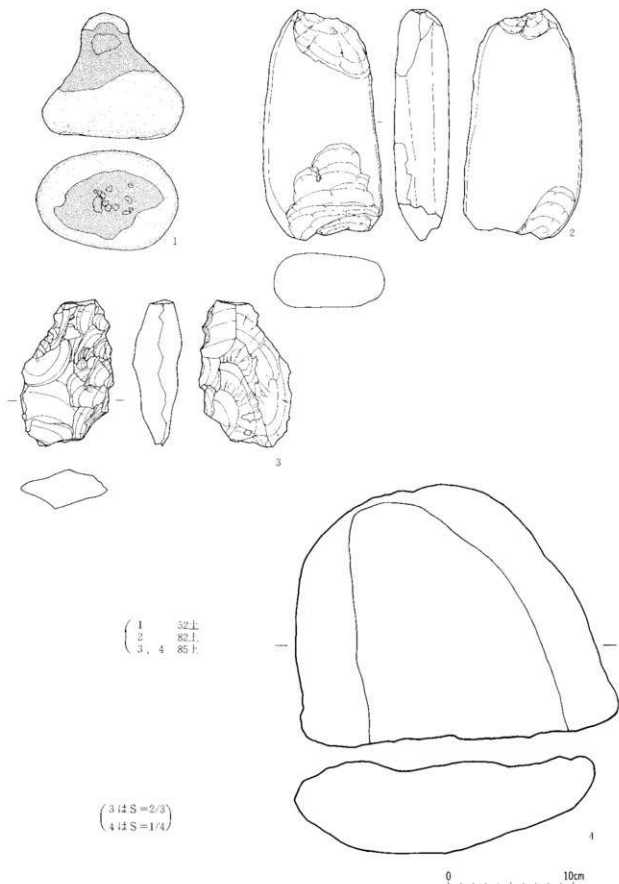


图109 第52·82·85号土坑出土遗物

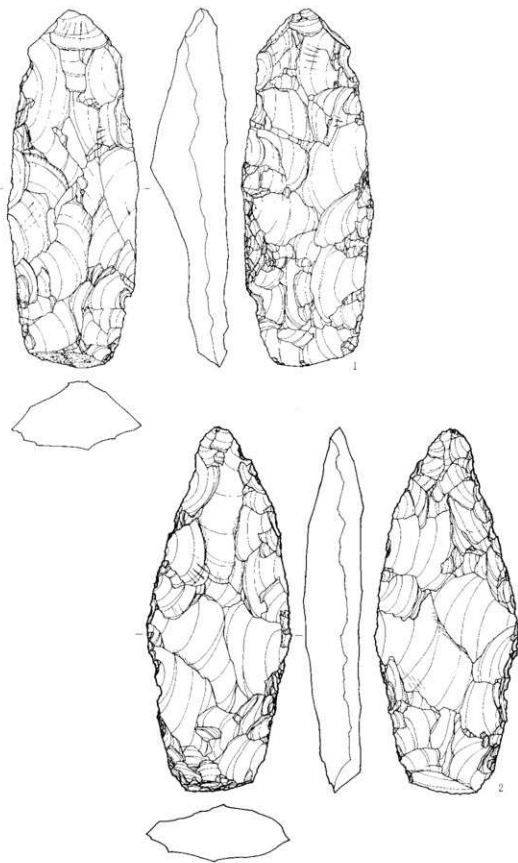


图110 第57号土坑出土遗物(1)

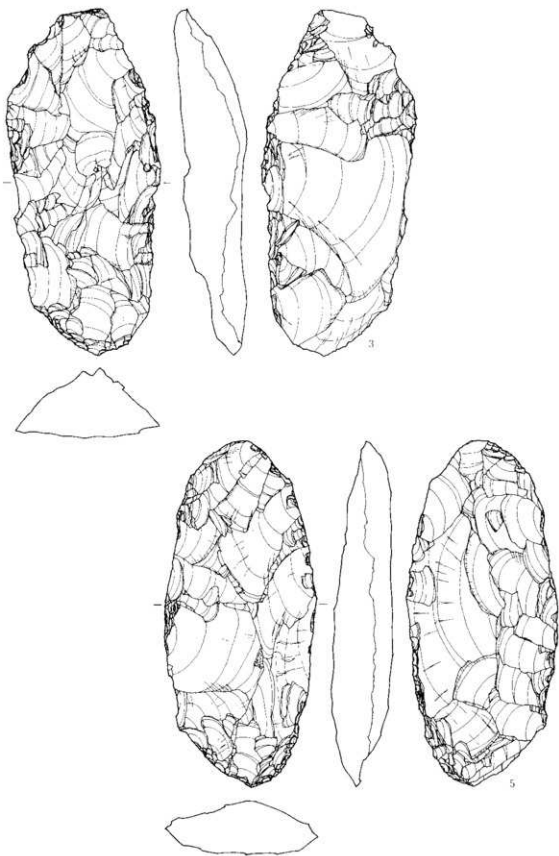
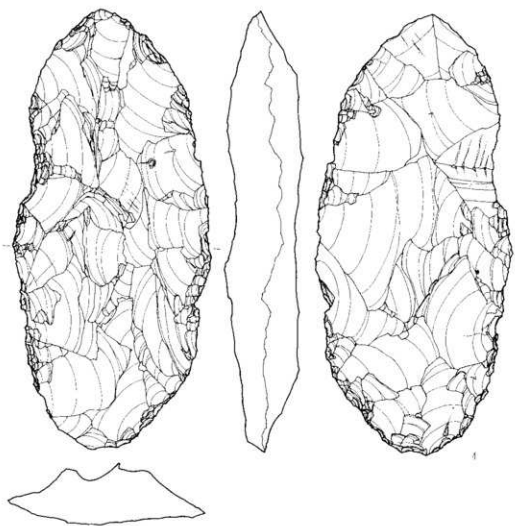
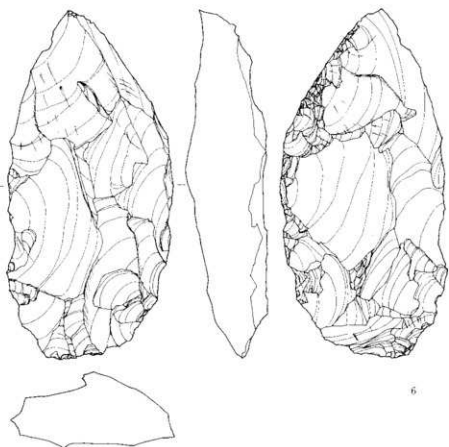


图111 第57号土坑出土遗物(2)



0 5cm

图112 第57号土坑出土遗物(3)



6

7

0 5cm

图113 第57号土坑出土遗物(4)

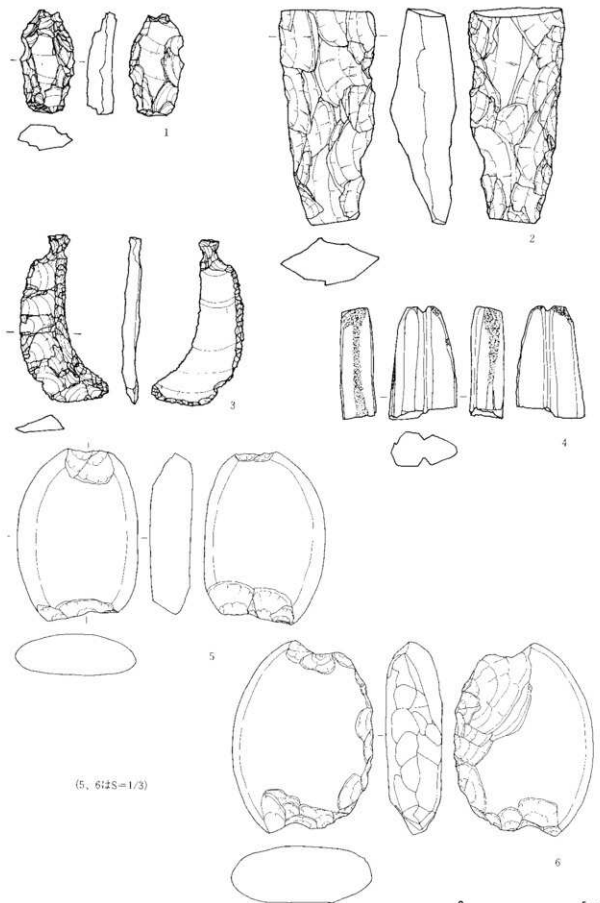
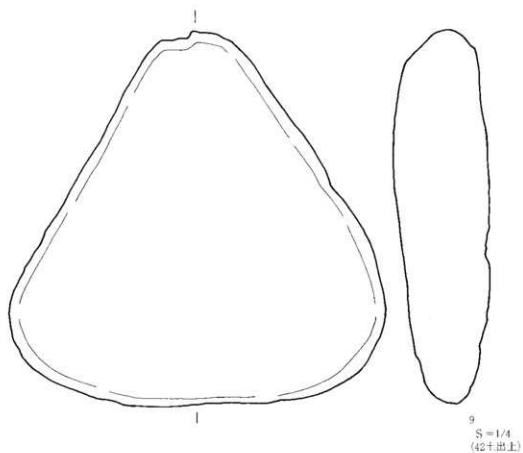
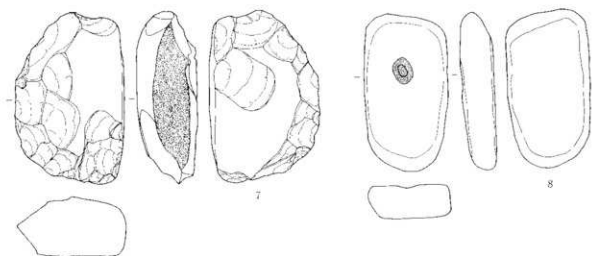


图114 第58号土坑出土遗物(1)



0 10cm

图115 第58号·第42号土坑出土遗物(2)

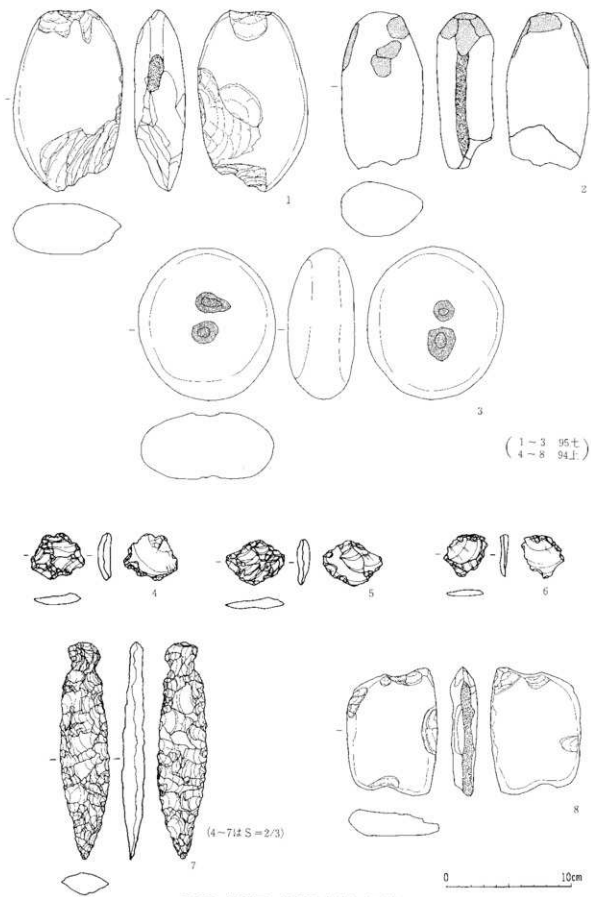
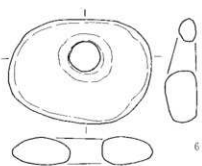
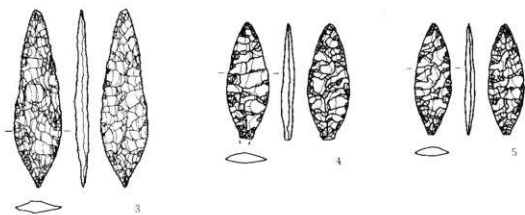
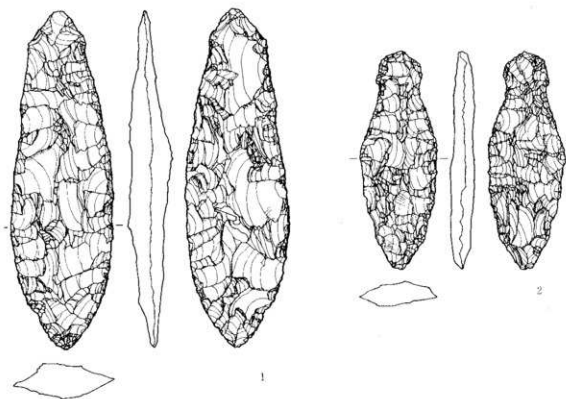


图116 第95号·第94号土坑出土遗物



(1. 2 67±)
 (3-6 68±)

0 5cm

图117 第67号·第68号土坑出土文物

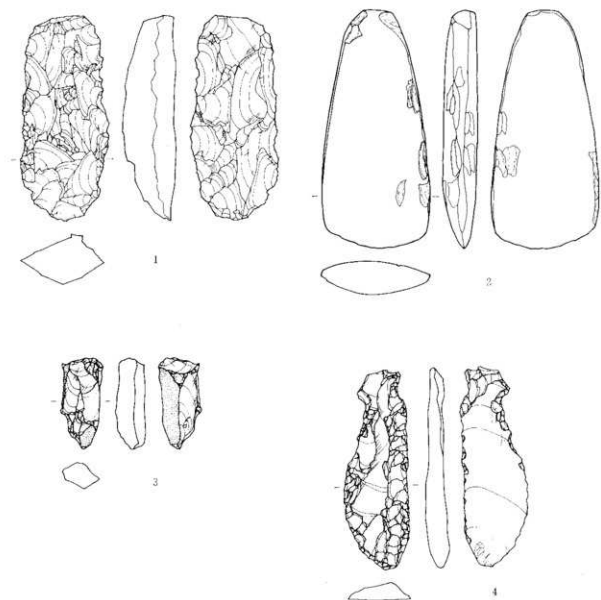


图118 第73号土坑出土遗物

3 溝状土坑

第1号溝状土坑(図119)

【位置】ⅡS・T-15・16グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸370cm、単軸44cm、底面で長軸373cm、短軸18cmの細長い溝状を呈し、確認面からの深さは97cmを計測する。

【長軸方向】

【壁・底面】壁は底面から開口部に向けてやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】11層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】遺物は出土していない。

【小結】形状から縄文時代の陥し穴と思われる。

第2号溝状土坑(図119)

【位置】ⅡS-19・20グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸347cm、短軸38cm、底部で長軸330cm、短軸8cmの細長い溝状を呈し、確認面からの深さは114cmを計測する。

【壁・底面】開口部に向けてやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】11層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】土器片及び石器が2点出土している。

【小結】形状から縄文時代の陥し穴と思われる。

第3号溝状土坑(図120)

【位置】ⅡQ・R-20グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸348cm、短軸40cm、底部で長軸332cm、短軸13cmの細長い溝状を呈し、確認面からの深さは118cmを計測する。

【壁・底面】開口部に向けてやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】10層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】なし。

【小結】形状より縄文時代の陥し穴と思われる。

第4号溝状土坑（図120）

【位置】ⅡS・T-19グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸342cm、短軸68cm、底部で長軸322cm、短軸10cmの両端のやや影らむ溝状を呈し、確認面からの深さは142cmを計測する。

【壁・底面】開口部に向けてやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】10層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】遺物は出土していない。

【小結】形状から縄文時代の陥し穴と思われる。

第5号溝状土坑（図121）

【位置】ⅡS-20グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸290cm、短軸42cm、底部で長軸260cm、短軸18cmの両端のやや影らむ溝状を呈し、確認面からの深さは135cmを計測する。

【壁・底面】開口部に向けてやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】8層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】なし。

【小結】形状から縄文時代の陥し穴と思われる。

第6号溝状土坑（図121）

【位置】ⅡQ-21グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】開口部で長軸307cm、短軸104cm、底部で長軸325cm、短軸14cmのやや幅広の溝状を呈し、確認面からの深さは132cmを計測する。

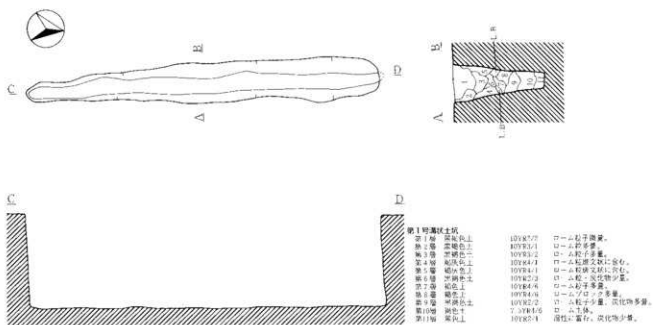
【壁・底面】開口部に向けてやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】15層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【施設】なし。

【出土遺物】なし。

【小結】形状から縄文時代の陥し穴と思われる。



115-20

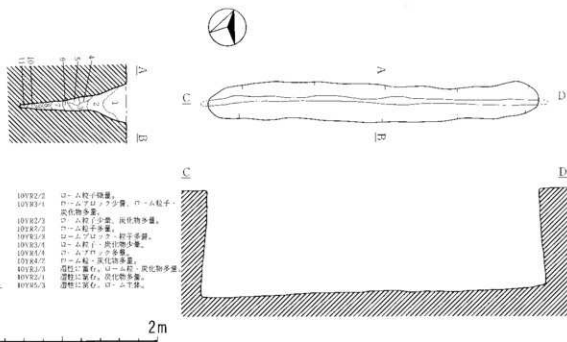
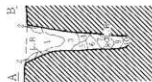
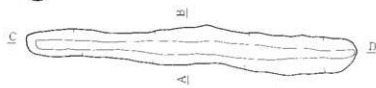
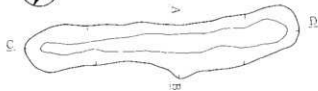
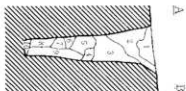


图119 第1号·第2号溝状土坑



第3号溝状土坑

第1層	黄褐色土	10YR7/3	砂—土砂子微量。
第2層	黄褐色土	10YR3/4	砂—土砂少量。炭化物少量。
第3層	黄褐色土	10YR3/4	砂—土砂少量。
第4層	黄褐色土	10YR4/2	砂—土砂—少量。
第5層	黄褐色土	10YR7/2	礫物に砂。砂—土砂少量。
第6層	黄褐色土	10YR3/3	砂—土砂少量。
第7層	黄褐色土	10YR3/3	砂—土砂少量。炭化物少量。
第8層	黄褐色土	10YR3/2	砂—土砂少量。炭化物少量。
第9層	黄褐色土	10YR4/2	礫物に砂。砂—土砂少量。
第10層	黄褐色土	10YR7/1	礫物に砂。炭化物少量。



第4号溝状土坑

第1層	黄褐色土	10YR1.7/2	砂—土砂子少量。
第2層	黄褐色土	10YR2/3	砂—土砂子—炭化物少量。
第3層	黄褐色土	10YR5/2	砂—土砂少量。
第4層	黄褐色土	10YR4/3	砂—土砂—礫物少量。
第5層	黄褐色土	10YR3/3	砂—土砂少量。
第6層	黄褐色土	10YR3/2	砂—土砂少量。
第7層	黄褐色土	10YR2/2	砂—土砂少量。炭化物少量。
第8層	黄褐色土	10YR2/3	砂—土砂少量。炭化物少量。
第9層	黄褐色土	7.5YR5/2	砂—土砂少量。炭化物少量。
第10層	黄褐色土	7.5YR5/4	砂—土砂少量。炭化物少量。



图120 第3号·第4号溝状土坑

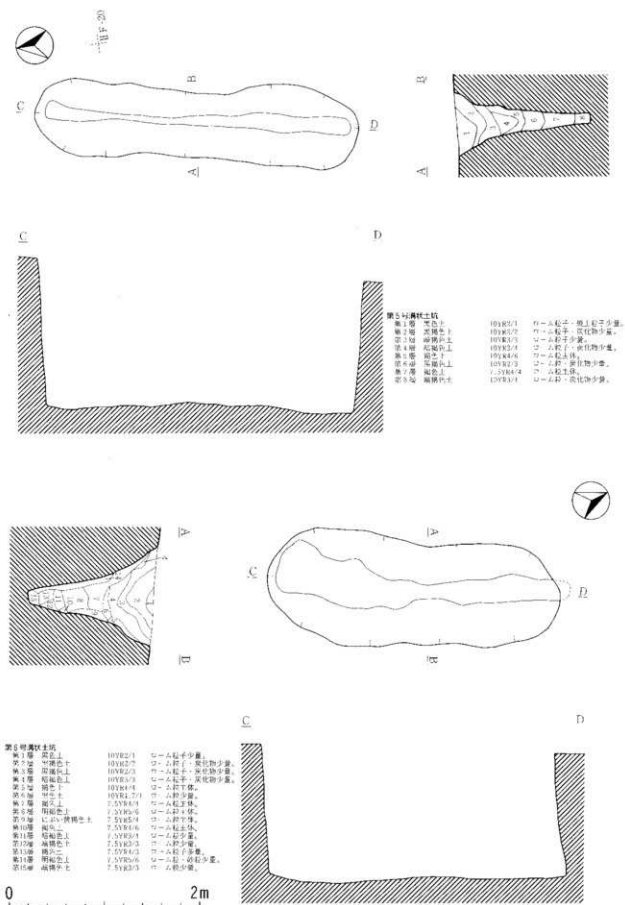


图121 第5号·第6号沟状土坑

4 土器埋設遺構

第1号土器埋設遺構

【位置】ⅡS-16グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】東西に長い楕円形の掘り方を有する。規模は長径62cm、短径41cm、深さ38cmを計測する。土器は掘り方に対して、横位状態で埋設されていたと思われる。

【堆積土】掘り方内は2層に分層されたが、埋設土器内は分層できなかった。

【出土土器】円筒上層a式と思われる。

第2号土器埋設遺構

【位置】ⅡS-17グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】小ピットと切り合い関係にあり、本址の方が新しい。

【形態・規模】ほぼ円形の掘り方を有する。規模は長径58cm、短径51cm、深さ45cmを計測する。土器は掘り方に対して、正立状態で埋設されていた。

【堆積土】埋設土器内及び掘り方内も分層できなかった。

【出土土器】円筒上層a式と思われる。

第3号土器埋設遺構

【位置】ⅡT-17グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】東西に長い楕円形の掘り方を有する。規模は長径81cm、短径49cm、深さ42cmを計測する。土器は掘り方に対して、横位状態で埋設されていた。

【堆積土】掘り方内は2層に分層されたが、埋設土器内は分層できなかった。

【出土土器】円筒上層a式と思われる。

第4号土器埋設遺構

【位置】ⅡS-16グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】ほぼ円形の掘り方を有する。規模は長径54cm、短径49cm、深さ42cmを計測する。土器は掘り方に対して、倒立状態で埋設されていた。

【堆積土】埋設土器内は3層に分層されたが、掘り方内は分層できなかった。

【出土土器】円筒上層a式と思われる。

第5号土器埋設遺構

【位置】ⅡU-12グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】ほぼ円形の掘り方を有する。規模は長径42cm、短径38cm、深さ39cmを計測する。土器は掘り方に対して、正立状態で埋設されていた。

【堆積土】埋設土器内及び掘り方内も分層できなかった。

【出土土器】口縁部を欠失する。

第6号土器埋設遺構

【位置】ⅡR-12グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】ほぼ円形の掘り方を有する。規模は長径39cm、短径36cm、深さ24cmを計測する。土器は掘り方に対して、倒立状態で埋設されていた。

【堆積土】埋設土器内及び掘り方内も分層できなかった。

【出土土器】円筒下層d式と思われる。

第7号土器埋設遺構

【位置】ⅡP-13グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】ほぼ円形の掘り方を有する。規模は長径45cm、短径41cm、深さ30cmを計測する。土器は掘り方に対して、倒立状態で埋設されていた。

【堆積土】埋設土器内及び掘り方内も分層できなかった。

【出土土器】円筒上層a式と思われる。

第8号土器埋設遺構

【位置】ⅡU-12グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】ほぼ円形の掘り方を有する。規模は長径38cm、短径34cm、深さ42cmを計測する。土器は掘り方に対して、正立状態で埋設されていたものと思われる。

【堆積土】埋設土器内及び掘り方内も分層できなかった。

【出土土器】口縁部を欠失する。

第9号土器埋設遺構

【位置】ⅡH-24グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】東西に長い楕円形の掘り方を有する。規模は長径71cm、短径42cm、深さ48cmを計測する。土器は掘り方に対して、正位状態で埋設されていた。

【堆積土】埋設土器内及び掘り方内も分層できなかった。

【出土土器】年筒下層d式と思われる。

第10号土器埋設遺構

【位置】ⅡH-24グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】明確な掘り方は確認できなかった。横位状態で埋設されていたと思われる。

【堆積土】埋設土器内及び掘り方内も分層できなかった。

【出土土器】胴部上半を欠失する。

第11号土器埋設遺構

【位置】ⅡU-12グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】東西に長い楕円形の掘り方を有する。規模は長径62cm、短径35cm、深さ31cmを計測する。土器は掘り方に対して、横位状態で埋設されていた。

【堆積土】埋設土器内及び掘り方内も分層できなかった。

【出土土器】円筒下層d式と思われる。

第12号土器埋設遺構

【位置】ⅡU-12グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【形態・規模】明確な掘り方は確認できなかった。倒立状態で埋設されていたと思われる。

【堆積土】分層できなかった。

【出土土器】胴部上半を欠失する。

第2節 弥生時代の検出遺構と出土遺物

今回の調査では、竪穴住居跡が2軒、土坑が1基、柱穴が多数検出された。以下遺構別に記述する。

1 竪穴住居跡

第1号竪穴住居跡（図122～126）

【位置】ⅢC・D-5・6・7グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】長軸800cm、短軸782cmの円形を呈し、確認面からの深さは22cmを計測する。

【壁・床面】壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

【柱穴】主柱穴と思われるピットは4個検出された。深さはP1が67cm、P2が70cm、P3が66cm、P4が42cmを計測する。その他柱穴及び壁柱穴と考えられる小ピットが多数検出された。

【炉】ほぼ中央部に1基検出された。石囲炉で中央に土器を置いた痕跡が見つかっている。

【特殊施設】なし。

【堆積土】6層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】覆土中より多数の土器・石器・礫が出土している他、P1からほぼ完形の壺形土器が出土している。1は壺形土器。6個単位の波状口縁を呈し、胴部中央に最大径をもつ。対峙した口縁中央部に2個1対の穿孔を有する。胴部上半は沈線により変形工字文を施文する。胴部下半は横走する細目のLR縄文を施文する。18は土偶。P24から出土している。うつ伏せの状態で見つかった。人為的に埋められた可能性も考えられる。

総数152点の石器類が出土している。内訳は石鏃Ⅰ類a 2点(1、2)、Ⅱ類b 1点(4)、Ⅱ類c 2点(3、5)、Ⅳ類1点(6)、不定形石器5点、礫石器Ⅲ群b 4点(12～15)、Ⅴ群3点、剥片、碎片121点である。また玉髄製の原石、剥片類が14点出土している。

【小結】出土遺物から弥生時代前期の竪穴住居跡と思われる。焼失家屋である。

第2号竪穴住居跡(図127~132)

【位置】ⅢA・B-4・5・6、ⅢC-5・6グリッドに位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】長軸900cm、推定短軸820cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは18cmを計測する。

【壁・床面】壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面はほぼ平坦である。

【柱穴】主柱穴と思われるピットは8個検出された。立て替えが行われた可能性が高い。深さはP1が68cm、P2が74cm、P3が61cm、P4が50cm、P5が61cm、P6が74cm、P7が71cm、P8が40cmを計測する。その他小ピットが多数検出された。

【炉】ほぼ中央部に1基検出された。石囲炉で中央に胴部上半を欠失する土器が見ついている。1は深鉢形土器の胴部下半。外面はRL縄文を縦位に施文する。

【特殊施設】南東側に出入口が検出された。また、壁周溝が2重に巡っている。

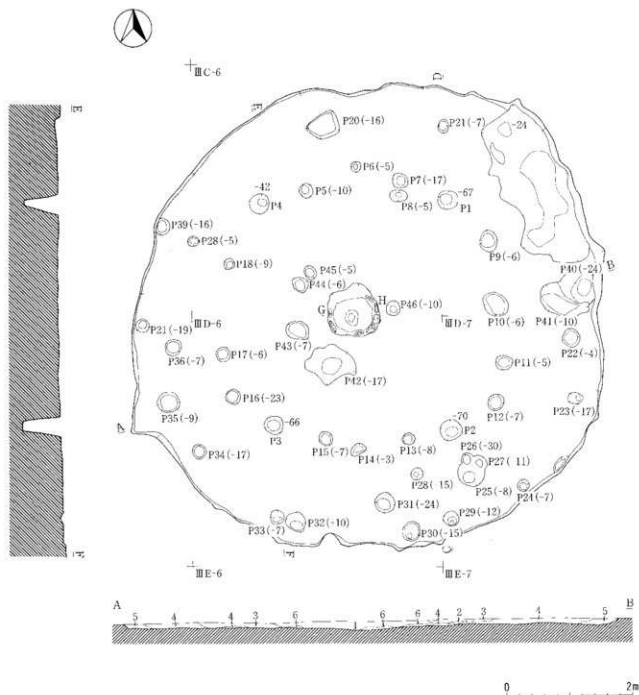
【堆積土】6層に分層された。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】覆土中より多数の土器とともに石器、礫、土製品が出土している。2は付け浅鉢形土器。8個単位の小波状の口縁を呈し、口縁部はRL斜縄文を施文し、内面には3条の沈線を施文する。体部上半は沈線により変形工字文が施文され、反転部の直上あるいは直下に2個単位の列点文を施文する。体部下半はかなり磨滅しているため縄文が施文されていたかどうかは分からない。台部は3条の平行沈線を施文する。胎土は粗い砂粒を多量に含み、焼成はそれほど良くはない。6は小型の壺形土器。口縁部の一部を欠失する。口縁上部に1条と頸部から胴部上半にかけて9条の平行沈線文が施文される。口縁部に2個1対の穿孔を有する。胎土は2同様粗い砂粒を多量に含み、焼成はそれほど良くはない。

石器類総数170点。内訳は石鏃Ⅰ類a 2点(5、6)、Ⅰ類b 2点(2、3)、Ⅱ類a 1点(4)、Ⅱ類b 1点(1)、石槍1点(7)、不定形剥片石器4点、礫石器Ⅲ群c 類5点、剥片類63点である。玉髓製の原石、剥片類は91点出土している。

1号・2号住居址について共通していることは、縦長剥片を利用し、連続的な二次調整を施した石器が目立つことである。組成の面からいうと、石鏃と不定形Ⅰ類に礫石器第Ⅲ群c類、という組成を基本としているように思われる。

【小結】出土遺物から弥生時代前期の砂沢式に後続する竪穴住居跡と思われ、第1号住居跡が焼失後に立て替えられた可能性も考えられる。



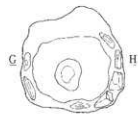
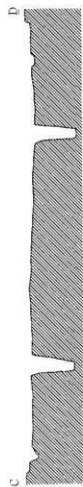
第1号居住区

第1层 褐色土
第2层 灰褐色土
第3层 灰褐色土
第4层 褐色土
第5层 褐色土
第6层 褐色土

107W1.71 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.72 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.73 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.74 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.75 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.76 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.77 灰褐色土，炭化物少量。

第1号居住区剖面

107W1.71 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.72 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.73 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.74 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.75 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.76 灰褐色土，炭化物少量。
107W1.77 灰褐色土，炭化物少量。



0 1m

图122 第1号居住区



图123 第1号竖穴住居跡出土遺物(1)

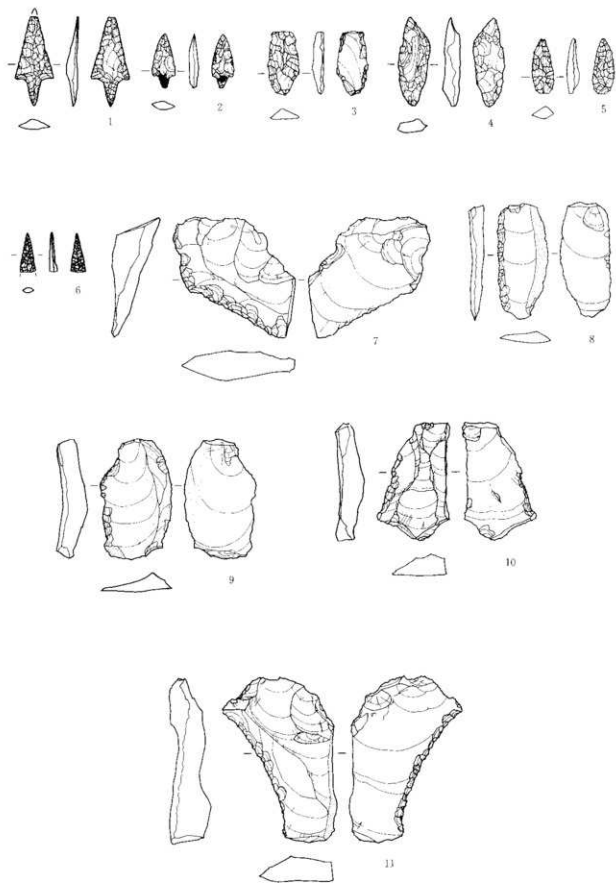


图124 第1号竖穴住居跡出土遺物(2)

0 5cm

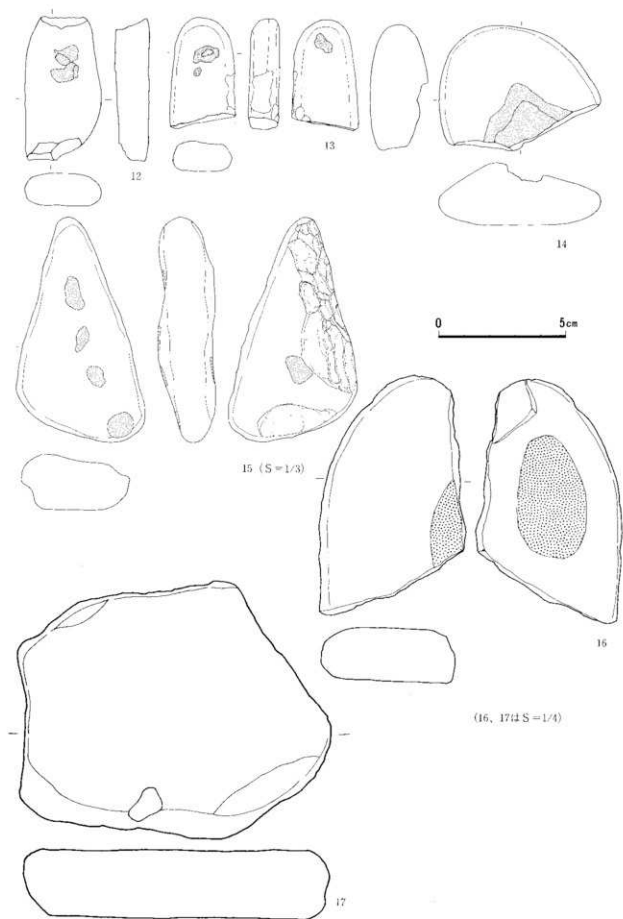


图125 第1号竖穴住居跡出土遺物(3)

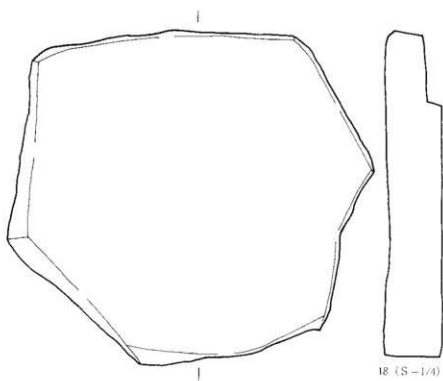


图126 第1号竖穴住居跡出土遺物(4)

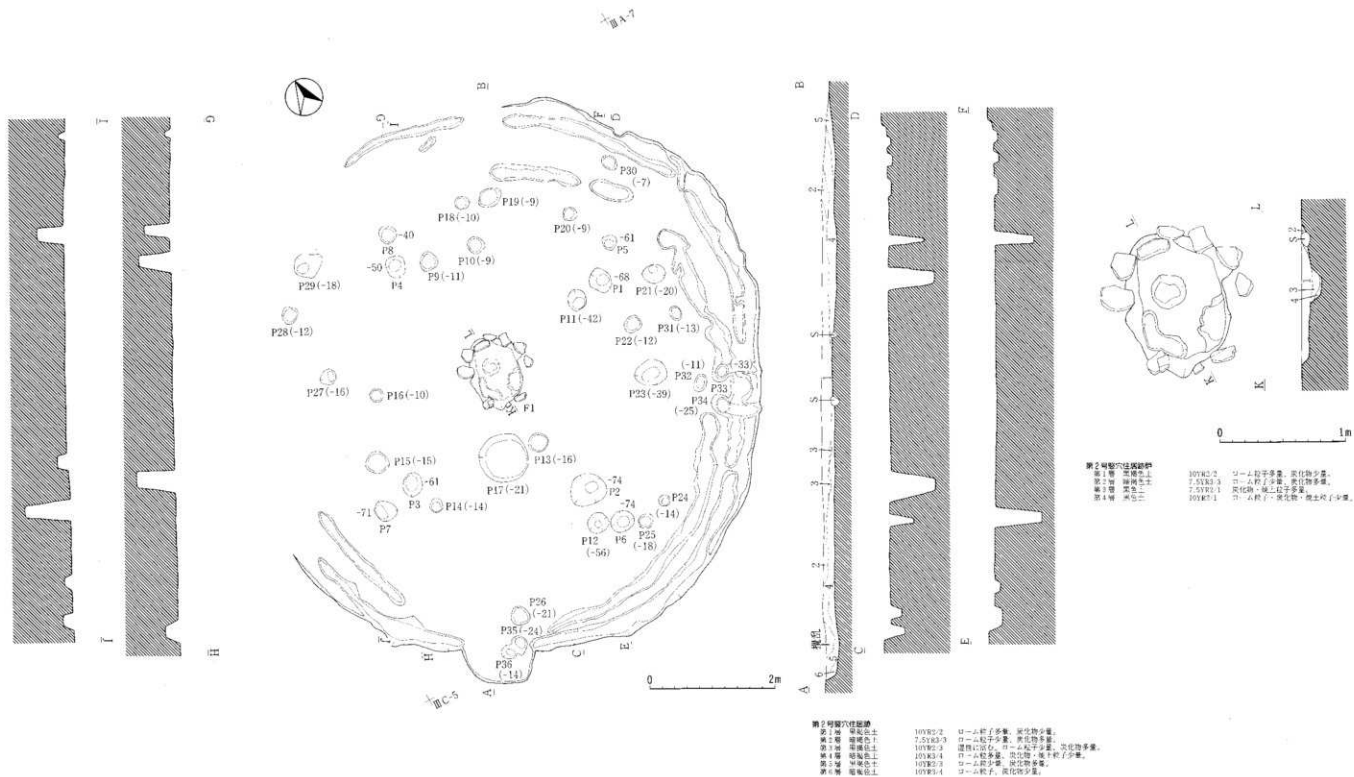


图127 第2号竖穴住居跡

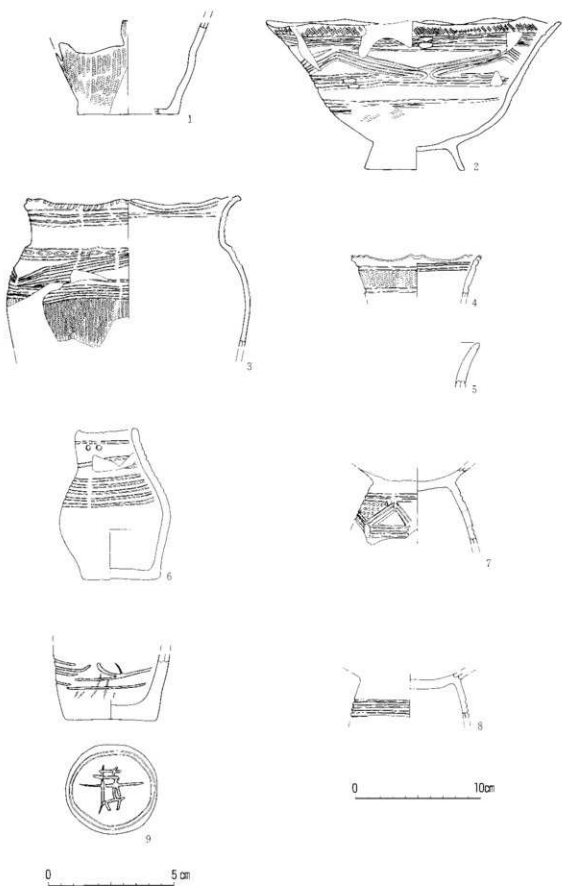
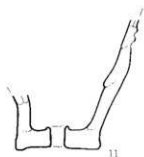
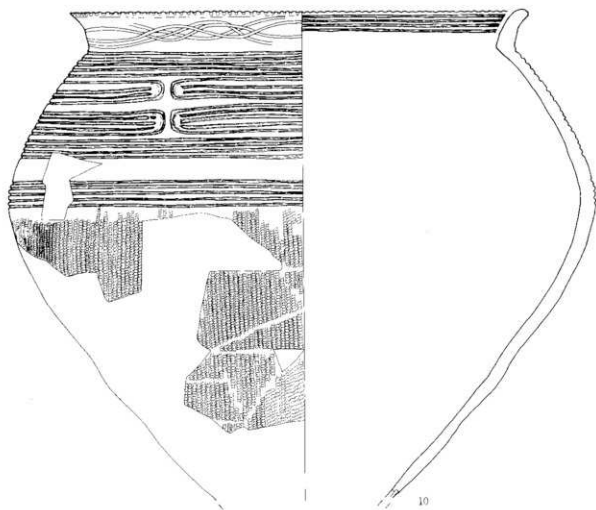


图128 第2号竖穴住居跡出土遺物(1)



0 5 cm



0 10cm

图129 第2号竖穴住居跡出土遺物(2)

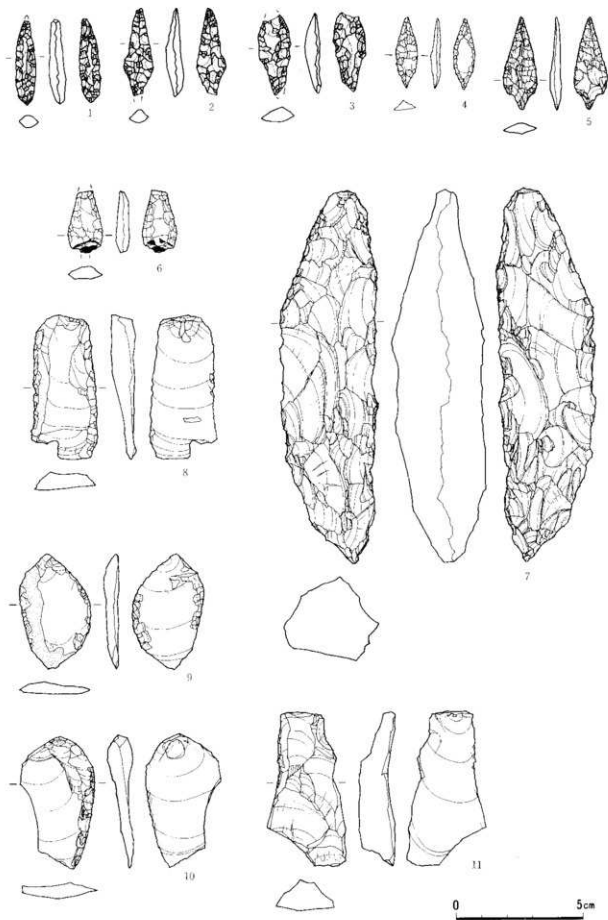
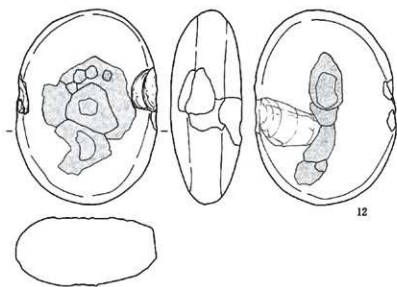
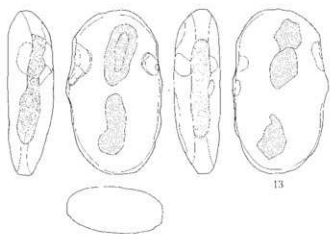


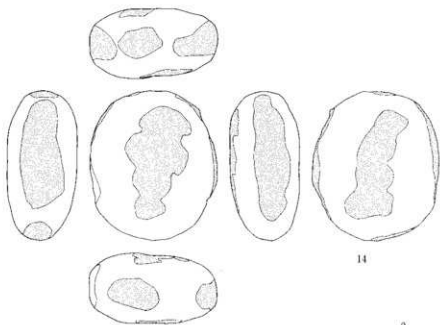
图130 第2号竖穴住居跡出土遺物(3)



12



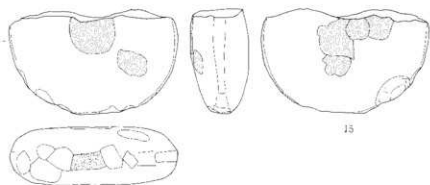
13



14

0 10cm

图131 第2号竖穴住居跡出土遺物(4)



15

16

0 10cm

图132 第2号竖穴住居跡出土遺物(5)

2 土 坑

第4号土坑 (図133・134)

〔位置〕 III E-4 グリッドに位置する。

〔確認〕 III a 層上面で確認した。

〔重複〕 一部後世の攪乱を受けている。

〔平面形・規模〕 長軸210cm、短軸150cmの楕円形を呈し、確認面からの深さは28cmを計測する。

〔壁・底面〕 壁は底面から緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 6層に分層された。人為堆積の様相を呈する。

〔出土遺物〕 覆土中より土器、石核、剥片が出土している。石器の内訳は石器類9点、凹み石1点である。

〔小結〕 形状及び出土遺物から弥生時代前期の土窟墓と思われる。

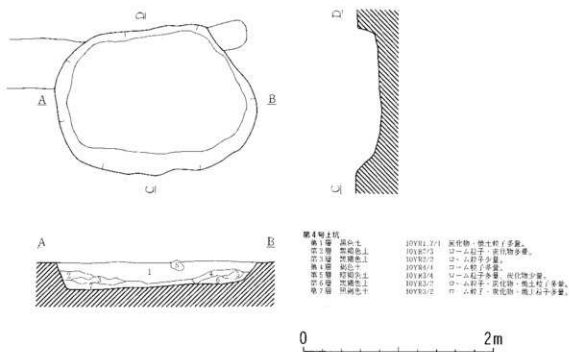


図133 第4号土坑



图134 第4号土坑出土遗物

3 柱穴群 (図135・136)

【位置】ⅢX-3～ⅢE-6グリッドにかけて位置する。

【確認】Ⅲa層上面で確認した。

【重複】なし。

【平面形・規模】直径20cm～34cmのほぼ円形を呈し、確認面からの深さは24cm～42cmを計測する。

【壁・底面】壁は底面からやや急に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

【堆積土】1層から3層に分層される。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】柱穴内から土器片が数点出土しているほか、エリア内から蓋形土器と土偶が検出されている。1は蓋形土器。倒皿形を呈し、袴部に4条の平行沈線を施文する。上面は2同様周縁部に同心円の沈線を1条巡らし、中心から4つの区画に「L」字状の沈線を施す。焼成は2程良くはない。胎土に砂粒を多量に含み、海綿骨針を少量含む。2も蓋形土器。円盤形を呈し、周縁部に3条の同心円の沈線を施文し、中心から4つの区画に「L」字状の沈線を施す。また、周縁部にLR斜縄文を施文する。2個1対の穿孔を有する。全面赤色塗彩が施される。焼成は良好で胎土に砂粒を多量に含み、海綿骨針を少量含む。3は土偶。大型の中空土偶で、足を除く胴部下半を欠失する。頭部正面は波状に貼り付けられた粘土紐で飾られ、背面は粘土紐を交互に組み合わせ貼り付けている。眉及び鼻部を粘土紐を貼り付けて表現し、両目は浅い沈線により表現する。片方を欠失するが、耳部に穿孔を有する。かなり磨耗しているが、鼻部を除く隆帯上に刻み目を有していたものと思われる。胴部上半は正面、背面とも2本1組の平行沈線を施文し、接合はしないものの粘土粒の貼り付けによる乳房部を有する。足部は中央部に穿孔を有し、踝部にも小さな穿孔を有する。指は6本指である。右足踝部にアスファルトの痕跡を有する。全身に赤色塗彩が施されていたものと思われる。胎土は砂粒を多量に含み、焼成はそれほど良くはない。



0 10cm

图135 弥生柱穴群出土遺物(1)

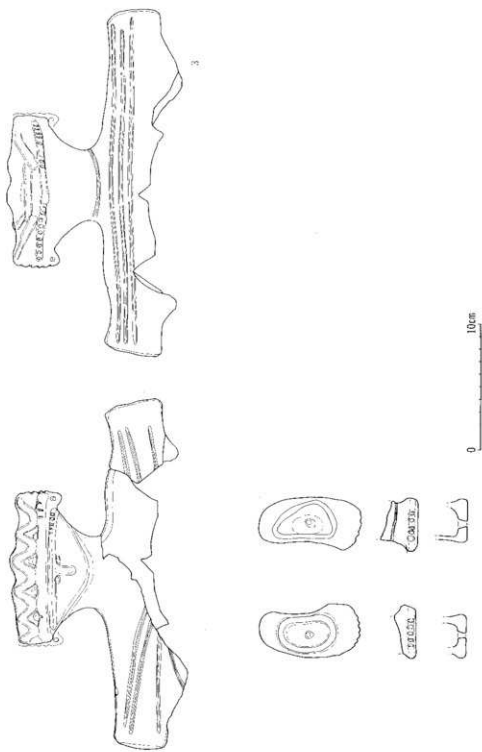


图136 弥生柱穴群出土遺物（2）

第3節 平安時代の検出遺構と出土遺物

本遺跡で検出された平安時代の遺構は、竪穴住居跡が2軒である。

第6号竪穴住居跡（図137・138）

〔位置〕 II I・J-27・28グリッドに位置する。

〔確認〕 III a層上面で確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 確認面からの深さは25cmを計測する。主軸方位はN-82°-Eである。

〔壁・床面〕 壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面は凸凹している。

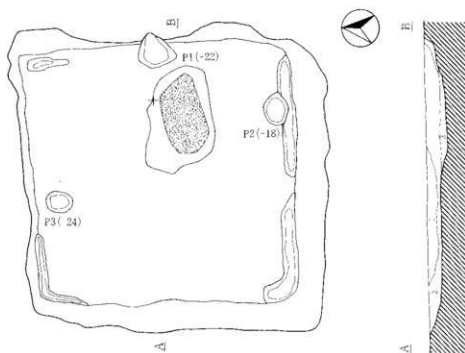
〔周溝〕 北及び南壁際で検出された。幅16~24cm、深さ4~12cmを計測する。

〔柱穴・ピット〕 小ピットが3基検出された。床面からの深さはP1が22cm、P2が18cm、P3が24cmを計測する。

〔カマド〕 東側に検出された。削平を受けており全容をうかがうことはできない。

〔堆積土〕 3層に分層された。第2層中に白頭山火山灰（第V章第1節参照）を含む。自然堆積の様相を呈する。

〔出土遺物〕 覆土及び床面より土師器が出土しているが図示し得たのは6点である。1は土師器甕。底部を欠失する。外面は頸部下部を除き縦位のヘラナデ調整。胎土に小石を多量に含み焼成は良好。2は土師器甕。胴部下半を欠失する。口縁及び胴部外面に細目の工具による削り痕を明瞭に残す。胎土に小石を多量に含む。焼成は良好。3は土師器甕。胴部の2/3を欠失する。口縁部は横ナデ、胴部内外面は匏ナデ調整。胎土に大きめの砂粒を多量に含む。焼成は良好。4は土師器甕。口縁外面に指頭押圧痕を明瞭に残す。胎土に大きめの砂粒を多量に含む。焼成は良好。5は土師器甕の底部片。外面は縦位、内面は横位のヘラナデ調整。6は土師器坏。轆轤調整で底部は回転糸切り。焼成は良好で、胎土に海綿骨針を多く含む。



第6号竖穴住居跡

第1層 赤褐色土
 第2層 灰褐色土
 第3層 粘褐色土

1979.2.2
 1979.2.2
 1979.3.2

穴内物少量
 土中少量炭化物少量
 1-1土粒炭化物少量

1979.2.27

0 2m

图137 第6号竖穴住居跡

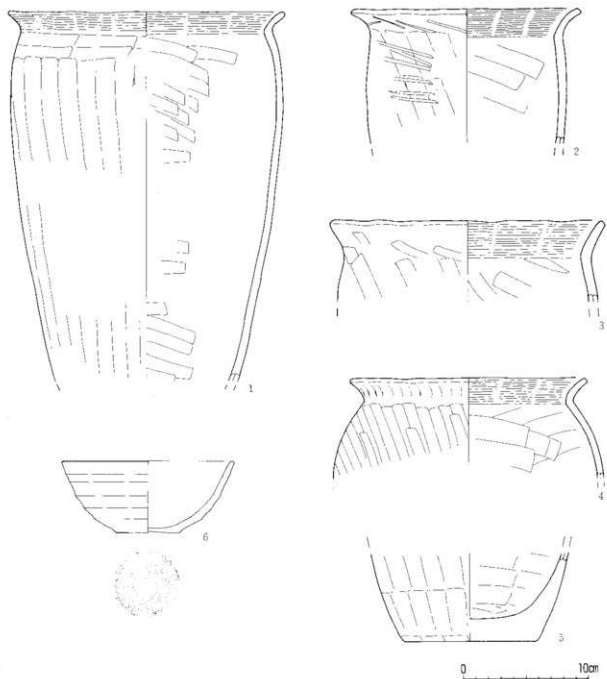


图138 第6号竖穴住居跡出土遺物

第11号竪穴住居跡（図139・140）

【位置】 I・H-28・29グリッドに位置する。

【確認】 IIIa層上面で確認した。

【重複】 第96号土坑と切り合い関係にあり、新旧関係は本址の方が新しい。

【平面形・規模】 確認面からの深さは25cmを計測する。主軸方位はN-79°-Eである。

【壁・床面】 壁は底面から緩やかに立ち上がり、床面は凸凹している。

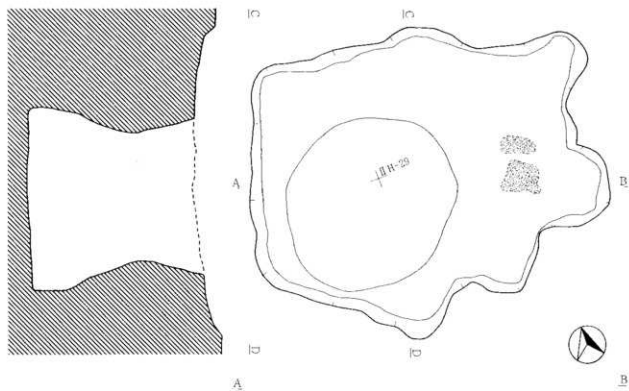
【周溝】 検出されなかった。

【柱穴・ピット】 検出されなかった。

【カマド】 東側に検出された。かなり削平を受けており全容をうかがうことはできない。

【堆積土】 4層に分層された。第3層中に白頭山火山灰（第V章第1節参照）を含む。自然堆積の様相を呈する。

【出土遺物】 覆土及び床面より土師器・須恵器が出土している。2は須恵器壺の口縁部。内外面及び口唇部の一部に自然釉が認められる。



第11号竖穴住居跡

第1号 赤褐色土
 第2号 灰褐色土
 第3号 灰褐色土
 第4号 暗褐色土

1019K/2 石-土粒多量
 1019K/3 土-土粒多量
 1019K/2 石-土粒多量、炭化物
 1019K/3 土-土粒多量

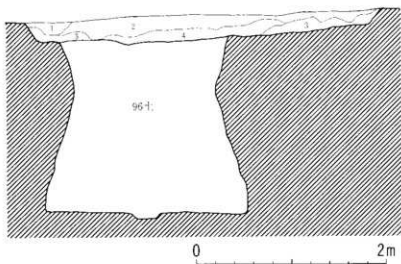


图139 第11号竖穴住居跡

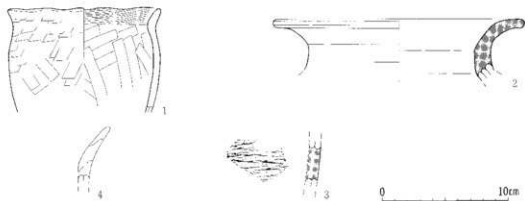


图140 第11号竖穴住居跡出土遺物

第4節 遺構外出土石器

調査区からは2,563点の石器、石片類が出土した。そのうち遺構外からの出土は948点である。

分類

石鏃

I類 有茎の一群。

- a、茎部の作り出しが顕著で、肩の張りが強いもの。(1-5)
- b、aより肩の張りが弱いもの。(6-7)

II類 尖基のもの。

- a、木葉形で器厚が薄く、剥離が精緻なもの(8-15) (68土出土の1群を含む)。
- b、aより器厚が厚く、ずんぐりとした感じのもの。(16-19)
- c、bに類似するが、基部付近に最大幅を持つもの。(20)

III類 無茎のもの。

- a、凹基のもの。(21-22)
- b、平基、円基のもの。(23)

IV類 欠損により形状の不確定なものと、未製品と考えられるもの。

石槍(25)

器体に両面調整を施したもので、長軸のどちらか片方に尖頭部の作り出しが見られるもの。

石鏃(24・26-27)

器体に荒い両面加工が施されるが、尖頭部の作り出しに意識がかけており、長軸端部に刃部を作り出すか古い剥離面を残しているもの。

石匙 原則的に二対の抉りによりつまみ部を作り出したものをまとめた。なお光沢が見られるものについては観察表に記入した。

I類 両面調整を施しているもの。

- a、両面調整を施しさらに尖頭部を作り出しているもの。(28-30)
- b、尖頭部の作り出しが顕著ではないもの。(31)

II類 縦型のもの。

- a、表面中央まで剥離が及ぶもの。(32-33)
- b、両側縁に刃部を作り出しているもの。(34-38)
- c、片側縁に刃部を作り出しているもの。(39-43)
- d、刃部の作り出しがあまり見られないもの。(44-45)

III類 縦型と横型の中間的なもの。(46)

IV類 横型のもの。

- a、つまみ部が刃部に直行するラインより右へ寄るもの。(47)
- b、つまみ部が刃部に直行するラインより左へ寄るもの。(48)
- c、つまみ部の抉りが長軸の両端にあるもの。(49)

両面加工石器 上記以外で器体に両面調整を施したものをまとめた。

- I 類 石槍に類似しているが尖頭部の作りが顕著ではないもの。(50)
- II 類 大型の両面加工石器 (57上出上の一群)
- III 類 その他の類
 - a、石槍の欠損品と思われるもの。(51-54)
 - b、石筥の欠損品と思われるもの。
 - c、その他のもの。(55)

不定形石器 連続的な調整剝離を器体の一部に施しているもの

- a、三側縁に刃部を作っているもの。(63-64)
- b、器体の二側縁に刃部を作っているもの(57)。
- c、一側縁に刃部を作っているもの。(56-58-59-62-65)

磨製石斧

刃部の平面形状により大別を行った。

- a、刃部が器体の長軸に対して直角になるもの。(67-69)
- b、その他 (68)

礫石器

便宜的に(2)~(6)群に分類を行った。

第I群

基本的に長軸の両端に打ち欠きによる挟りが入っているもの。楕円形の礫が多用されている。

- a、第2群の基本形態であり、通常石錘と分類されているものである。平面形は礫の形のものに近い。(1-14) b1-2、d 類については擦り石とも分類可能な石器である。
- b、aの片方の側縁に擦り面を持つもので2つのグループに分かれる。
 - b1、擦り面を切る形で器体に加工を施しているもの。(15-24)
 - b2、擦り面と器体の加工とに時間差を見いだせないもの。(25-30)
- c、aの片側縁に表裏両面からの連続的な剝離を施したもの。(31)
- d、cの非加工面に擦り面を持つもの。

第II群

器体の側縁に両面からの連続的な加工を施し刃部を直線的に仕上げたものである。通常半円状扁平打製石器と呼ばれるものはこの分類の範疇に入る。また、板状節理により割れる石材を多用する傾向がある。

- a、器体の全周に加工が及んでいるもので、刃部の反対側の側縁を弧状に仕上げているもの。
(32-39)
- b、長軸端部に挟りを持つもので、3つのグループに分かれる。
 - b1、aの長軸端部に弱い挟りを持つもの。(40-47)
 - b2、挟りの強いもの。(48-50)
 - b3、刃部を片側からの剝離のみによって形成しているもの。(51)
- c、片側縁にのみ刃をつけているもの。(52-58)

d、その他（上記の分類以外のもの）（59～62）

第Ⅲ群

主として楕円礫を素材とし、その表面や側面に敲打痕または凹みの見られるもの。通常敲き石及び凹み石とされているもので、3つのグループに分かれる。

a、上下あるいは片方の端部付近に敲打によるものと思われる器面の荒れが観察されるもの。

通常敲き石と呼ばれるもの。（63～66）

b、片面ないし両面に数個の凹みや敲打痕を持つもの。（67～71）

c、器体表面や側面に凹みや敲打痕を持つもの。（72～81）

第Ⅳ群

器体の側縁に擦り痕を持つもの。（82～84）

第Ⅴ群

石皿・台石の類（85～88）

第Ⅵ群

石製品（89～90）

石器類の分布について

剥片石器と礫石器の分布状況についてまずわかることは調査区ⅡLラインから南においてほとんどの石器が出土していることである。ⅡLラインから南には本遺跡で検出された遺構のほぼ8割が存在している。グリッド毎の石器分布と遺構配置図を重ねると概ね遺構存在する付近のグリッドから石器が出土していることがわかる。

剥片石器については際だった特徴のある分布状況を示してはいない。しかしながら土坑が多数存在するエリアに比べると調査区南側にあたる住居址の存在するエリアの方が石器は多く出土しているようである。

礫石器については、それほど際だつてはいないものの、第Ⅰ群と第Ⅲ群の分布にややまとまりがみえる。第Ⅰ群は9号住居址付近を中心にやや濃い分布が見られる。また、第Ⅰ群c類、d類にあつては1点をのぞいてすべて遺構内からの出土である。第Ⅲ群は1、2号住居址、ピット群の付近に分布の中心を持つようである。また、遺構内の遺物に目を向けると第Ⅲ群b・c類は1、2号住居址でままとって出土しており、その他の住居址においてはほとんど出土していないことが注目される。

玉随製石器の分布

玉随製の石器及び剥片類は調査区より209点出土した。そのうち遺構内出土のものは128点である。2号住居址の91点が飛び抜けておりその次に1号住居址の14点が続く。2号住居址から出土したものの内訳は剥片類81点、原石10点である（剥片類としたものの中には原石を1、2回割っただけ、あるいは割れた面を持つ原石に近いものを一括した。）割り方に特に特徴はないように思われる。

しかし全体的にいえることは拳大より一回りあるいはもっと小さいくらいのもので原石を適当に割っているという感が強い。定型の石器といえば、石鏃と石匙が出土しているのみであるが、見た目の感じでは同一母岩から作られたとは思われない。

遺構外での分布状況で特筆すべきことは調査区南側のピット群の付近と1号、2号住居址の付近に

特に集中が見られることである。これらの遺構は出土している土器等より弥生時代に帰属する遺構であると考えられている。したがってこれらの遺物はその大部分が弥生時代に帰属するものと考えられる。

また、遺構内からの玉随製剥片類の出土は、川内町板子塚遺跡（木村等1994）等で見られるが今後その意味合い等についての検討が望まれる。

黒曜石製石器の分布

黒曜石製の石器及び剥片類は調査区より28点出土した。出土した黒曜石は原産地同定の分析を行っていないため、原産地は不明であるが、見た目で漆黑のものと透明度の高いものの二つのグループに分けることが可能である。また漆黑のグループの中には赤い縞模様が入っているものが見受けられる。透明度の高いもののグループには気泡が多く混ざるものと、混ざりものが少なく、黒い縞が入るものに分かれる。ただこれらはあくまで見た目の分類である。定形石器としては石匙と石鏃と異形石器が出土している。石匙は2点をのぞいてすべてI類aであり、その中の1点をのぞいてすべて土坑内から出土している。また、I類aのものについてはすべて漆黑のグループが用いられている点に注意されることである。分布についてはほとんどが縄文時代の遺構に伴って出土しているが、遺構外にチップの類が実際にどれだけあったかは跡を掛けていないため定かではない。確認されているものについてもその分布は希薄である。遺構内については9号住居址において10点出土しているのが最多であり、その他は数点のみの出土である。定形石器以外のものを見ると小型の原石から1、2回剥片を得た痕跡のある石核様のものと、石器（おそらく槍状のもの）を製作した際に生じたチップが主体である。なお、石核様のものについては38土から、チップは第9号住居址、第94号土坑から出土している。

（茅野）

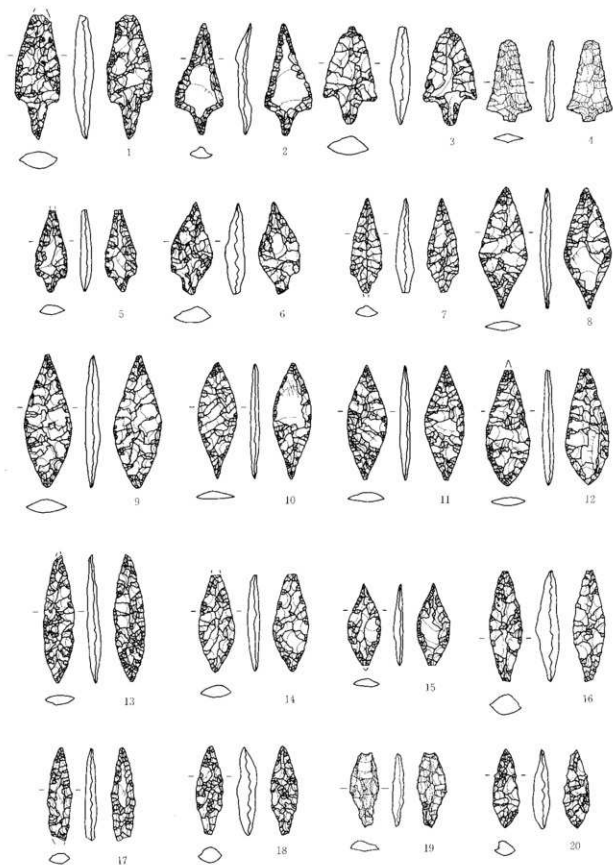


图141 遗構外出土石器(1)

0 5cm

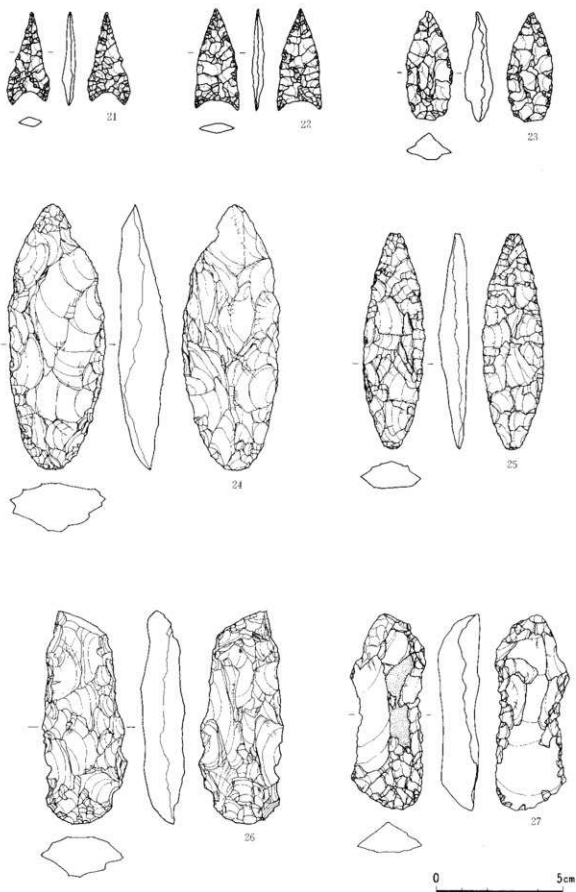


圖142 遺構外出土石器（2）

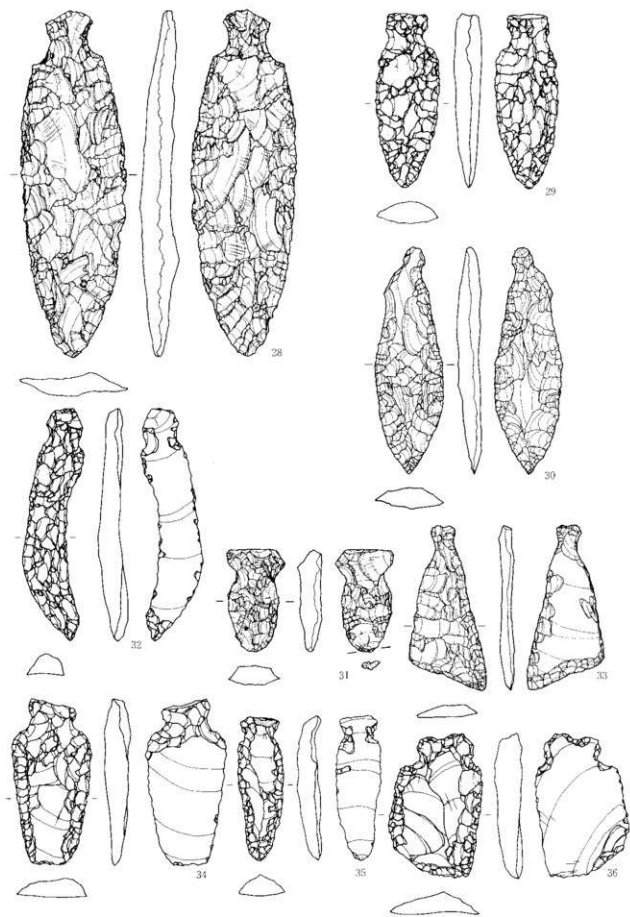


图143 遺構外出土石器(3)

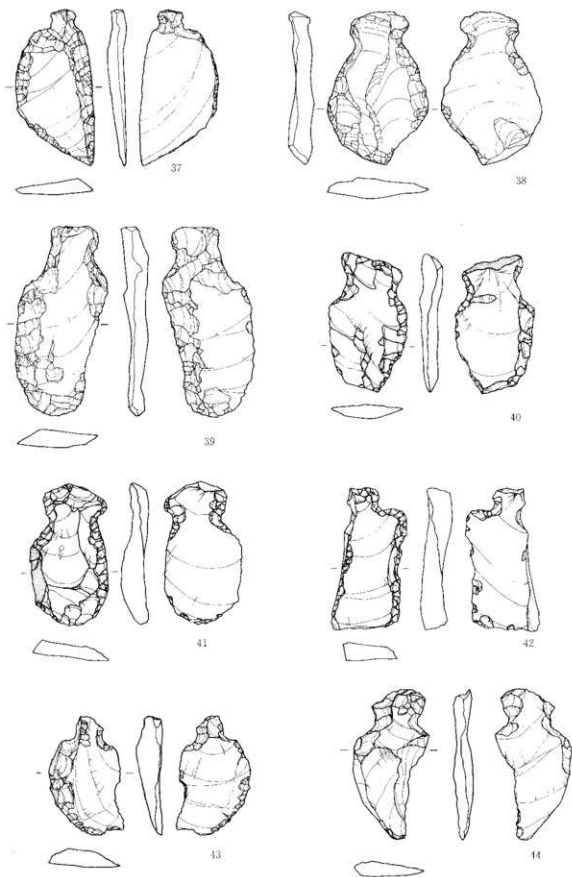


图144 遗物外出土石器(4)

0 5cm

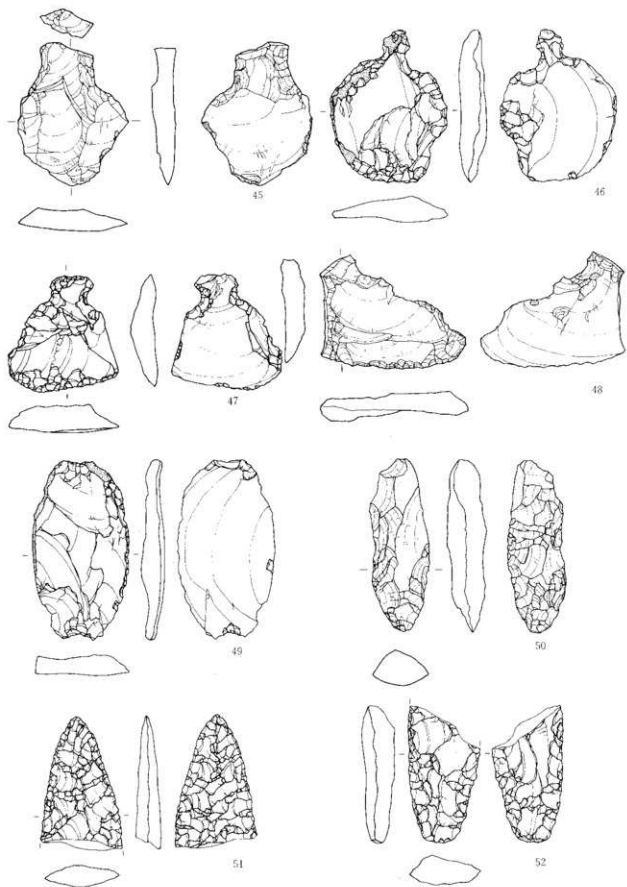


图145 遺構外出土石器（5）

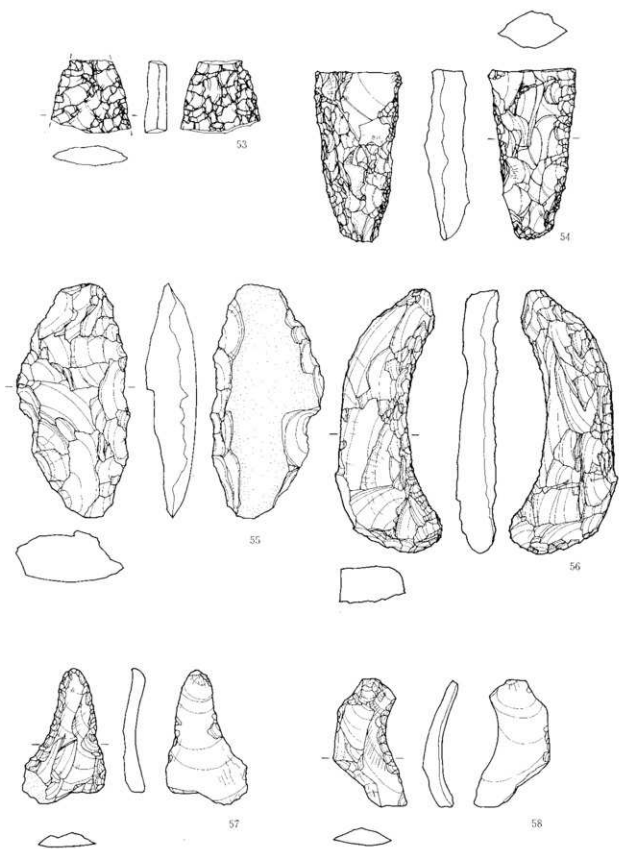


图146 遺構外出土石器(6)

0 5cm

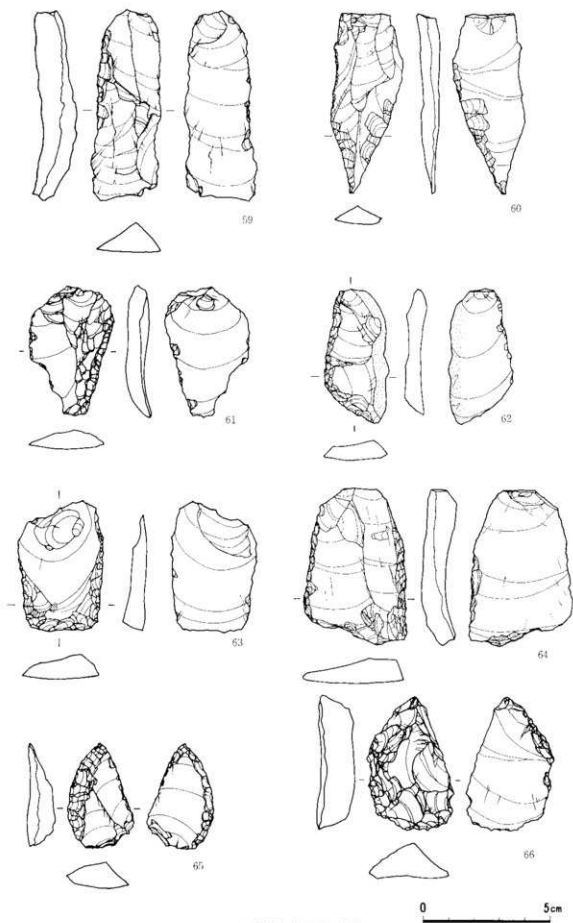
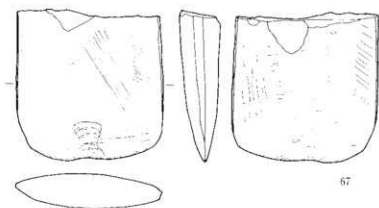
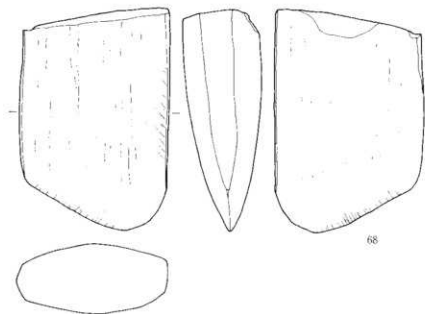


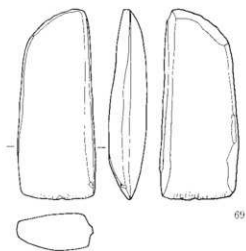
图147 遺構外出土石器(7)



67



68



69

图148 遺構外出土石器(8)

0 5cm

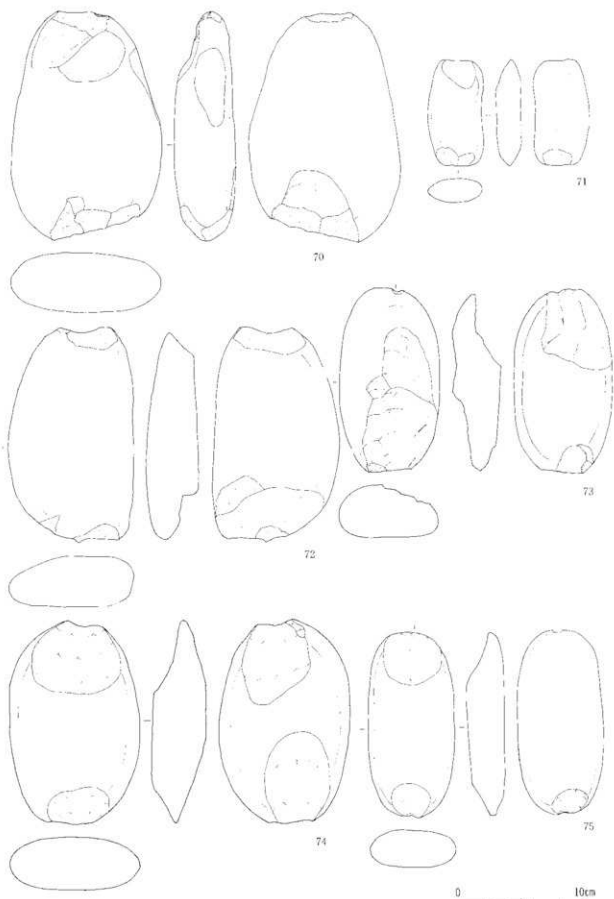


图149 遗構外出土石器(9)

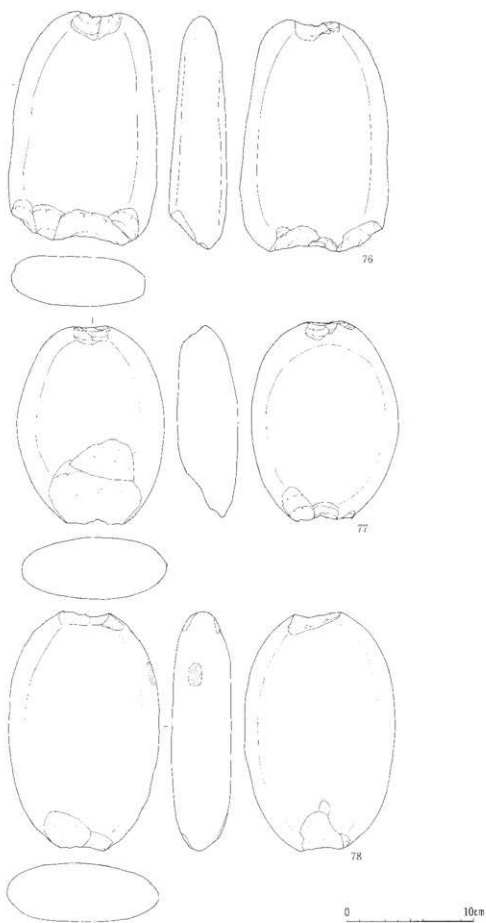


图150 遺構外出土石器 (10)

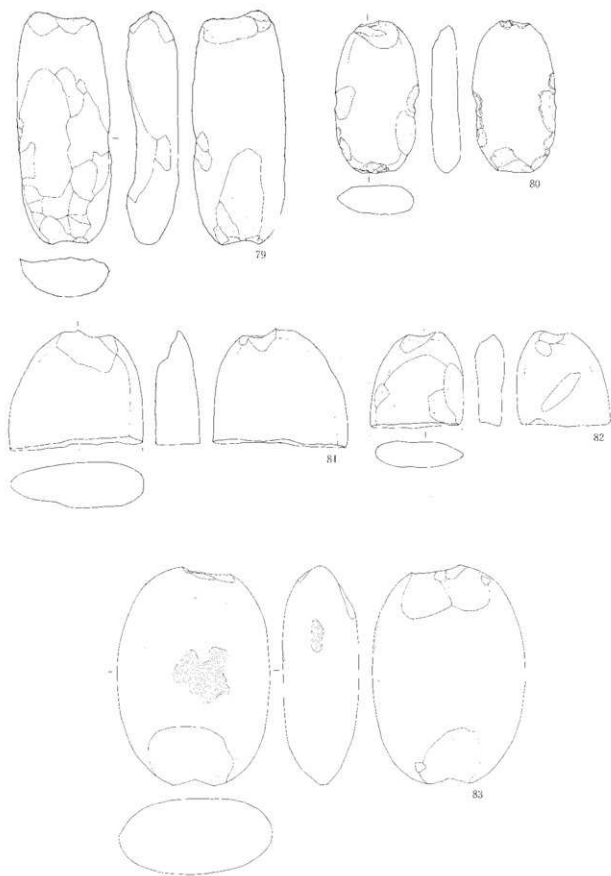
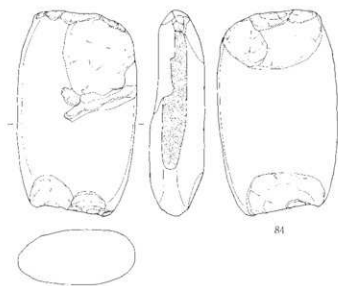
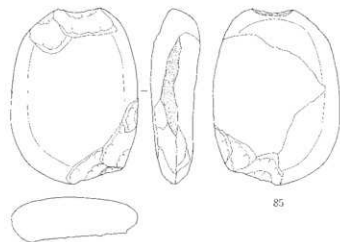


圖151 遺構外出土石器 (11)

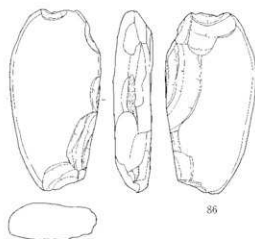
0 10cm



84



85



86

图152 遗構外出土石器 (12)

0 ————— 10cm



图153 遼構外出土石器 (13)

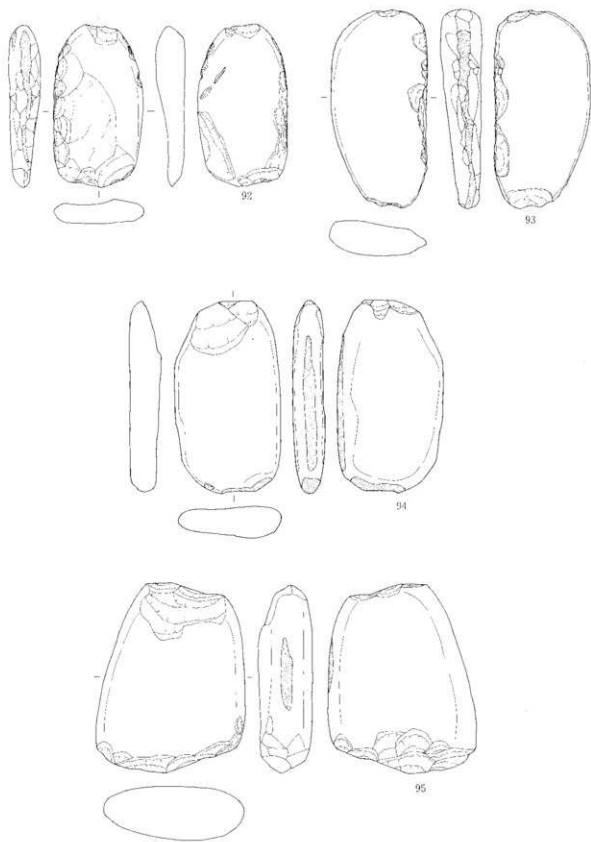


图154 遗構外出土石器 (14)

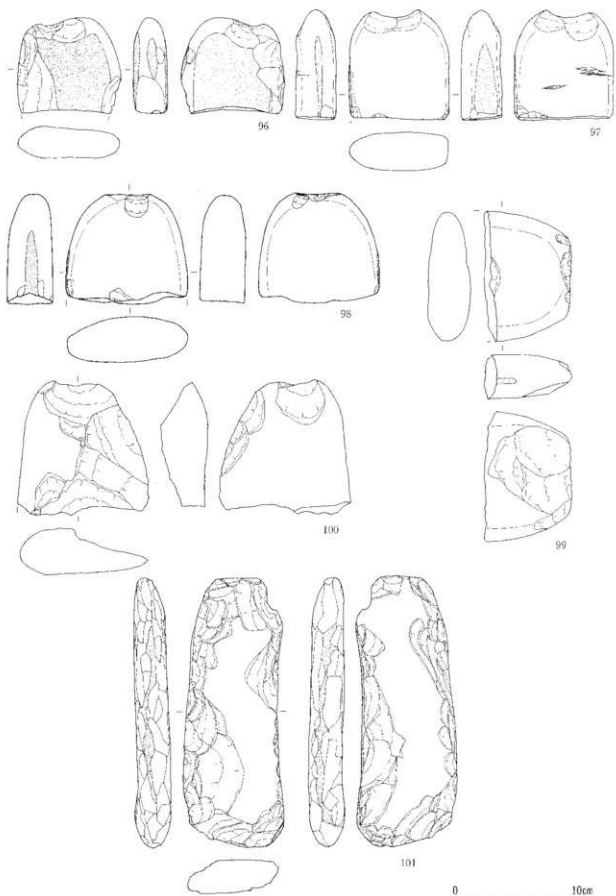


图155 遗構外出土石器 (15)

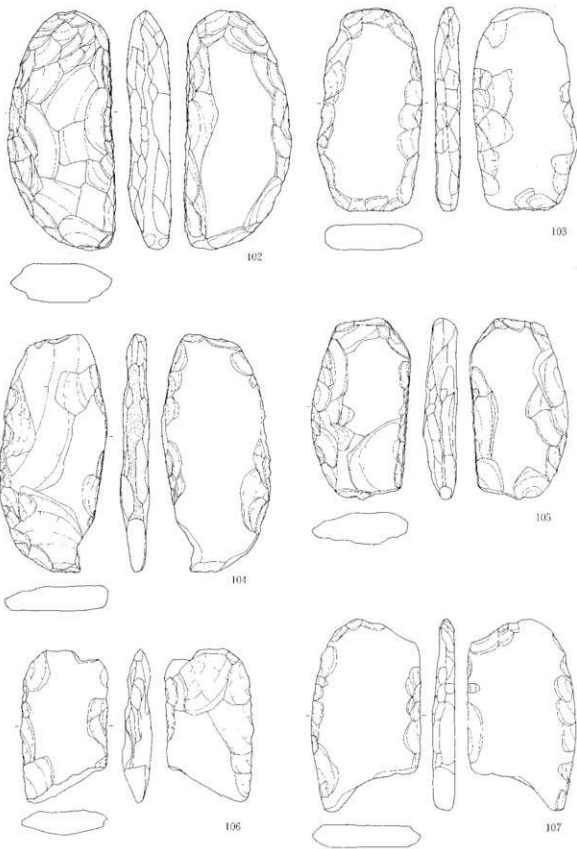


圖156 遺構外出土石器 (16)

0 10cm

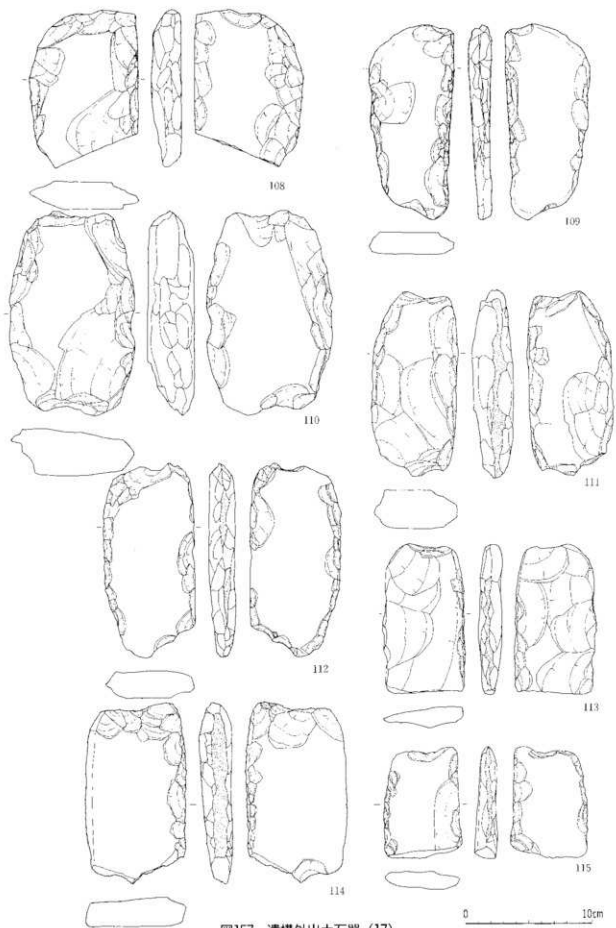
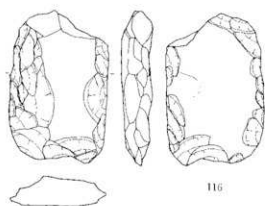
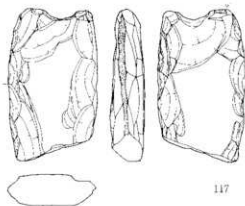


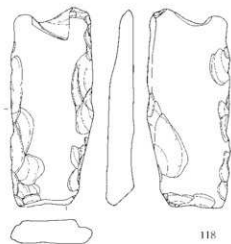
圖157 遺構外出土石器 (17)



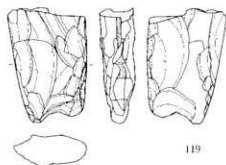
116



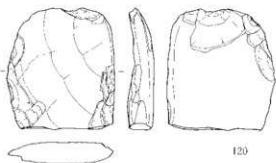
117



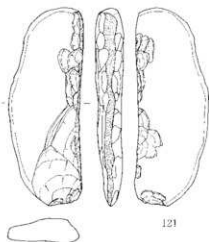
118



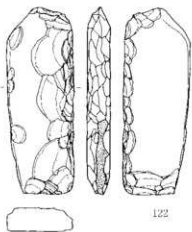
119



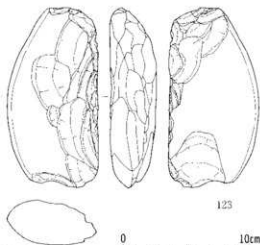
120



121



122



123

0 10cm

图158 遺構外出土石器 (18)

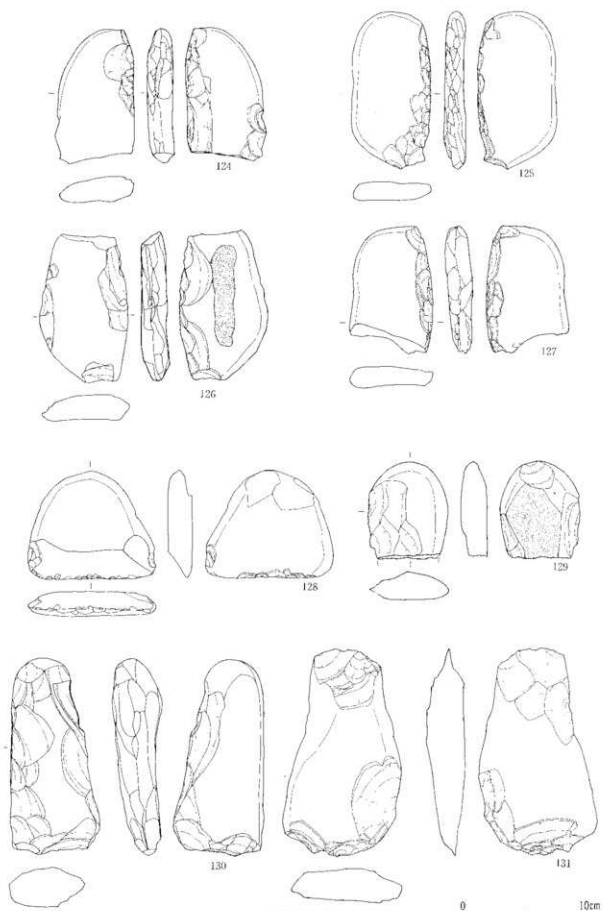


图159 遺構外出土石器 (19)

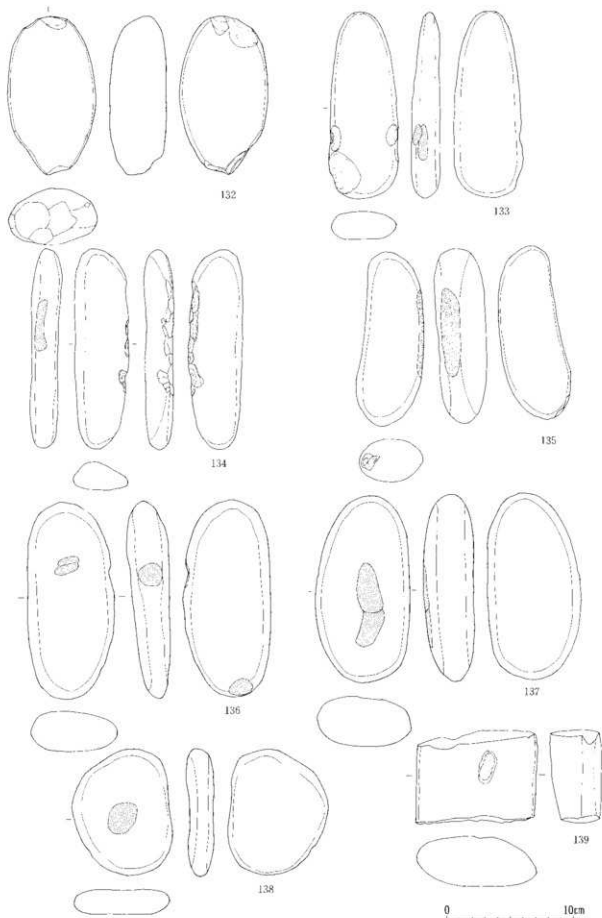


图160 遗構外出土石器 (20)

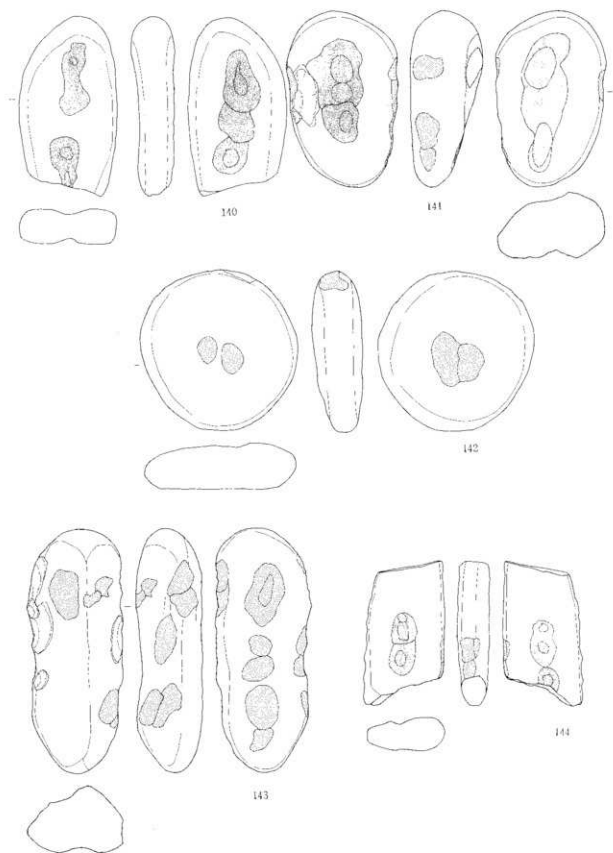


图161 遼構外出土石器 (21)

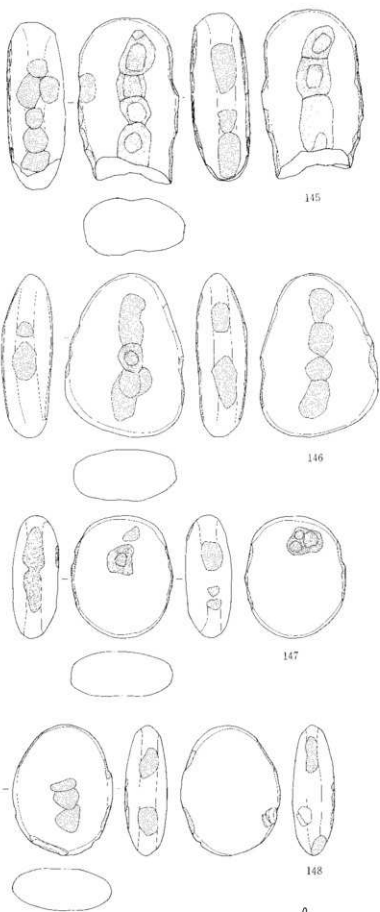


图162 遗構外出土石器 (22)

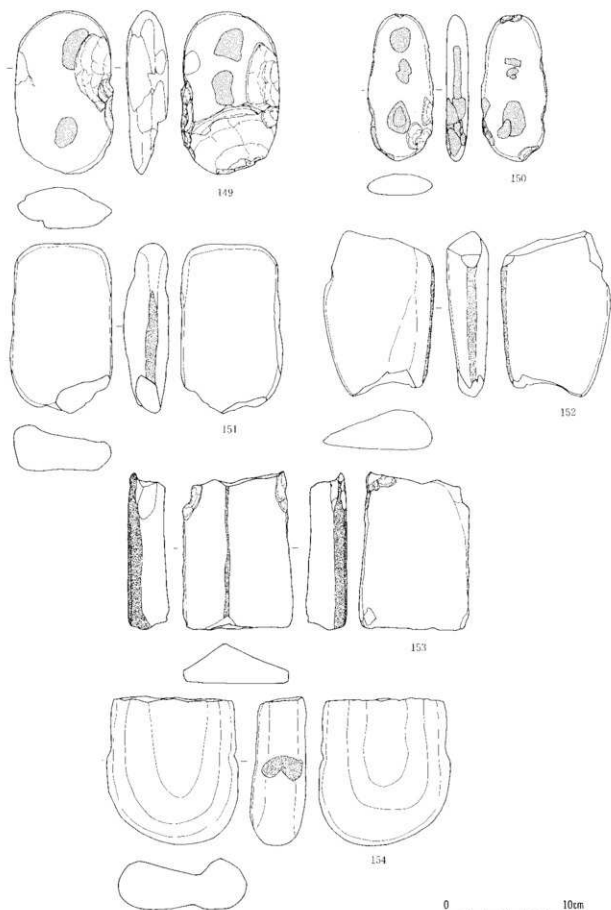
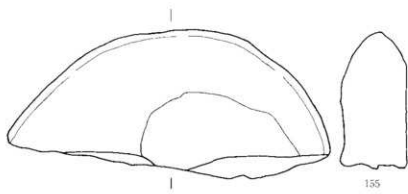
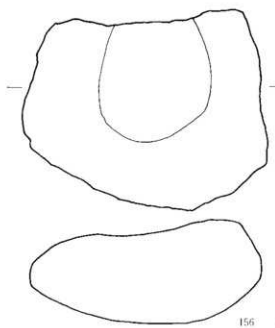


圖163 遺構外出土石器 (23)

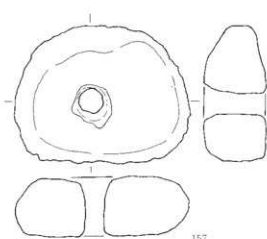


155

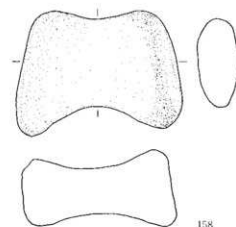


156

(155・156)
(S-1/4)



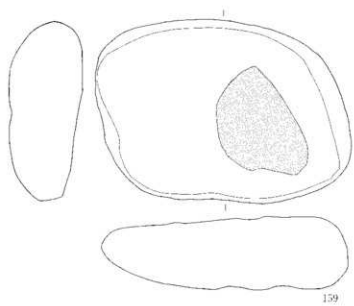
157



158

0 5cm

圖164 遺構外出土石器 (24)



0 10cm

図165 遺構外出土石器(25)